

町田の教育

2013

町田市教育委員会

はじめに

町田市教育委員会では、教育目標を掲げ、その実現に向け教育行政を進めておりますが、より効果的に推進していくためには、市民の皆さんをはじめ、町田の教育にかかわる方々のご理解とご協力が何にも増して必要となります。そのためには、より多くの方々に教育行政の動きを知っていただかなければなりません。教育委員会では、あらゆる機会をとおしてお知らせしているところですが、その一つとして、町田の教育行政のあらましをまとめた「町田の教育」を発刊しています。町田の教育行政の一端を知っていただければ幸いです。

2013年（平成25年）9月

町田市教育委員会

町田市教育委員会教育目標

町田市教育委員会は、子どもたちが知性と感性をはぐくみ、心身ともに健康で人間性豊かに成長し、互いの人格を尊重するとともに社会の一員としての自覚をもって地域にかかわる人間に育つことを目指します。

また、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を目指します。

目次

【教育委員会】		5. 教育センター	35
1. 町田の教育のあゆみ	2	(1) 施設概要	35
2. 教育プラン	8	(2) 研究・研修部門	35
3. 教育目標	9	(3) 教育相談部門	36
重点施策及び重点事業	13	(4) 小学校適用指導教室「けやき教室」	38
4. 教育委員会	15	(5) 情報教育部門	38
(1) 教育委員会の委員	15	(6) 庶務部門	38
(2) 教育委員会の開催	16	(7) 不登校による長期欠席の児童・生徒への支援体制	40
(3) 2012年度教育委員の主な活動状況	19	(8) 教育センターの新たな取組	41
(4) 学校支援地域理事	21	6. 就学相談・特別支援学級	42
(5) 教育委員会の組織と事務分掌	22	(1) 児童・生徒の就学	42
5. 教育予算	24	(2) 特別支援学級	42
主な事業と予算（2013年度）	25	(3) 連合行事	45
		(4) 進路一覧	45
【学校教育】		7. 児童・生徒の文化・スポーツ活動	46
1. 児童・生徒数	28	(1) 連合行事の開催	46
(1) 学級編制	28	(2) 町田市公立小・中学校作品展	46
(2) 学級数及び児童・生徒数	28	(3) 各種大会への参加助成	47
(3) 児童・生徒数の推移	28	8. 教育のための支援	49
(4) 通学区域緩和制度（旧学校選択制度）	29	(1) 就学援助	49
2. 学習指導	30	(2) 通学費補助制度	50
(1) 教科指導	30	(3) 校外学習への補助事業	51
(2) 領域指導	30	(4) 奨学金制度	51
(3) その他	31	(5) 特別支援学級の就学奨励	52
3. 学校図書館	32	9. 研修・研究	53
(1) 学校図書館の役割	32	(1) 研修	53
(2) 町田市取組	32	(2) 研究	54
(3) 学校図書館蔵書状況	33	10. 学校保健	59
4. 生活指導	34	(1) 各種診断・検査	59
(1) 進路指導	34	(2) 学校環境衛生の確保	62
(2) 禁煙・薬物乱用防止にかかわる指導	34	(3) 町田市学校保健会	62
(3) 生活指導補助者派遣	34	(4) 日本スポーツ振興センター	63
		11. 学校給食	64
		(1) 学校給食の指導目標	64
		(2) 学校給食の栄養内容	64
		(3) 学校給食の衛生管理	64

(4) 学校給食施設の整備	64	(5) 障がい者サービス	96
(5) 町田市学校給食問題協議会	65	(6) 視聴覚サービス	97
12. 学校施設	67	(7) 児童サービス	97
(1) 学校施設の現状	67	(8) ヤングアダルトサービス	97
(2) 学校施設の整備	67	(9) ホームページ上でのサービス	97
(3) 学校新設事業・増改築事業	68	(10) 相互利用サービス	98
		(11) 行事	98
		(12) 町田市立図書館協議会	99
		(13) 町田市子ども読書活動推進計画	99
		(14) 第二次町田市子ども読書活動推 進会議	100
【生涯学習】			
1. 生涯学習	70	5. 町田市民文学館	101
(1) 生涯学習審議会	70	(1) 施設概要	101
(2) 社会教育委員	70	(2) 施設内容	101
2. 歴史・文化財	71	(3) 利用案内	101
(1) 自由民権資料館	71	(4) 各種機能	101
(2) 考古資料室	72		
(3) 文化財の保護	73	【資料編】	
3. 生涯学習センター	78	1. 町田市教育委員	108
(1) 施設概要	78	2. 各種委員一覧	109
(2) 施設貸出	78	3. 小学校一覧	111
(3) 学習活動の支援	79	4. 中学校一覧	113
(4) 団体活動への援助	80	5. 児童・生徒・学級数の推移	114
(5) 学校施設「特別教室」の開放	81	6. 学校施設一覧	115
(6) 各種講座等の開催	82	7. 学校施設新增改築のあゆみ	117
(7) 家庭教育支援事業	83	8. 小・中学校配置図	120
(8) ことぶき大学	83	9. 社会教育施設配置図	122
(9) 障がい者青年学級	83	10. 年表	124
(10) まちだ市民大学 HATS	84	11. 問い合わせ先一覧	132
(11) 相模原・町田大学地域コンソー シアム	85	12. 私立学校等一覧	133
(12) 町田市生涯学習センター運営 協議会	85	13. 町田市子ども憲章	134
(13) 事業一覧 (2012 年度)	86		
4. 図書館	91		
(1) 貸出サービス	92		
(2) 移動図書館サービス	95		
(3) リクエストサービス	95		
(4) レファレンスサービス	96		

教育委員会



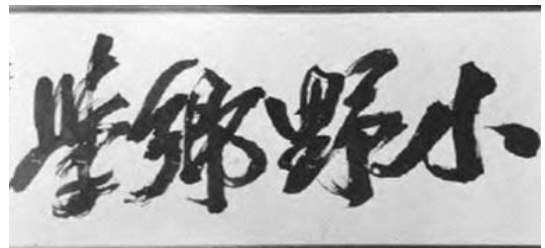
1. 町田の教育のあゆみ

学制発布前後（明治前期）

明治5（1872）年の学制発布以前は「読み・書き・そろばん」が庶民の教育で、寺子屋や私塾・家塾等の私設の教育施設と、郷学校等の村や地域・有志等が設立した公共的性格をもった学問所があった。町田市域には相原地区の円山塾ほか合計で36を上まわる寺子屋ないしは私塾があったとみられている。

明治維新の後、政府と各府県は公教育の確立のため郷学校の開設を奨励した。そして、町田市域に開校したのが小野郷学である。

明治4年8月、神奈川県は前年に出た太政官の達しをもとにして、県下における郷学校設立の触れを出した（廃藩置県から町田市域は神奈川県へ編入。東京府に移るの明治26年）。



小野郷学の扁額

小野郷学は、これに先立つ同年1月、小野路村寄場組合を訪問した県吏員の勧めから近隣の村落が結集し、翌2月に開校していた。学制発布に基づく小学校の設置までの2年余と短命であり、就学率も高いとはいえなかったが、9歳から66歳までと幅広い層の就学者と、その半数近くを20歳代・30歳代が占め、成人を含めた教育機関の様相であったこと、授業料は徴収せずほとんどを有志の寄附でまかなったこと、すべてが村民の手で運営されていたこと等、村民の教育の普及にかけた意気込みとそれを可能にしたエネルギーの存在を示し、教育史上評価に値するものといえる。

明治5年8月、政府は学制を発布、学校制度が始まった。しかし、校舎、教科書、教員等、制度を支える条件の整備は未解決であった。町田市域では明治6年5月までに、19の小学校舎が開設されたが、校舎には、寺院を充てた例が圧倒的に多かった。開曠学校（現南一小）は独立校舎をもち、明治12年までには11校の新築をみたが、いずれも草または板葺き、障子張りの簡単な建物にすぎず、建坪も少なかった。例えば大蔵村の育英学校は32坪（105.8㎡）であった。



明治23年 成瀬学校（現南二小）開校式

また、校舎の建設から教員の給与など、すべてが民費負担であり、学制の実施には財政上の無理があった。例えば大谷村の真敬学舎では、開校半年で本町田村の昭明学舎へ吸収合併し廃校とする案が出ているほどである。

当時、町田市域の就学率は全国より高いものであったが、農作業の手伝いを失うことや月謝は大きな負担であり、困窮、奉公等を理由に不就学を届け出る者もまだ多くいた。

政府は、こうした地方財政の窮状により、明治12年に学制を廃し、新たに教育令を公布して条件を緩和した。しかし、このことが学校の縮小や寺子屋式教育への回帰を招き、就学率が低下したため、翌年には改正令を発布、中央による統制強化に再転換した。あたかもこの時期、神奈川県下三多摩地方には自由民権運動の波のうねりが起こりつつあった。

明治中・後期

明治 22 (1889) 年、町村制が施行され、町村合併から、町田市域には、町田・南・鶴川・忠生・堺の五つの村が誕生した。この合併は、すでに明治 17 年 7 月より実施していた連合戸長役場制をより強化し、村の力をつける目的で行われたものである。こうして財政的基盤の確立が急がれる一方、小学校令の公布 (明治 19 年) 等による制度的な進展もあり、20 年代の初めには日本の近代教育の原型がほぼ整えられるようになった。小学校の教科が、国語 (読書・作文・習字)・算術・地理・歴史・理科・図画・体操・唱歌・裁縫・修身となったのも、14 年の文部省通達のと、19 年に「小学校の学科及びその程度」が制定されてからのことである。

極東の小国であった日本が、列強の中で生き抜くためには、産業を興し国富を増やすと共に国民の知識水準をあげることが絶対に必要とされ、その努力が急ピッチで行われた。これは、清国、帝政ロシアへの対応の必要性が現実のものとして国民の間に強く意識されたからである。そのために明治中期以降の教育が、質実剛健の気風を高めつつも、知育強化に傾いていったのは自然の勢いであった。明治 41 (1908) 年になると修業年限が変更され、義務教育の尋常小学校を 4 年間から 6 年間に延伸し、これに伴って 4 年間だった高等小学校を 2 年間とした。

市域の小学校が村ごとに統合をみたのはこの前後の明治 34 年から 45 年 (大正元年) である。例えば鶴川地区では尋常 5 校と高等 1 校を統合して、鶴川尋常高等小学校が 41 年に発足した。最終的に市域の 22 の小学校は 7 校になった。

この時期の町田市域の教育の様子は、開曠小学校長を務めた坂本龍之輔の伝記小説『小説教育者』 (添田知道著、昭和 18 年新潮文芸賞のうち大衆文学賞受賞) に生き生きと描かれている。

本著は坂本の半生を教え子の添田が書いたもので、以下のような内容となっている。坂本は明治 27 年 10 月から 33 年 9 月までの 6 年間、開曠小学校に校長として赴任した。日清、日露の戦雲が急を告げる一方、市域には過激な政治運動を行う三多摩壮士もいる状況の中で、教育予算の確保のために頭を悩ませつつ、地域と子どもの実情を直視し、それにこたえる実用教育の建設に全力を投入した。本書が描く彼を取りまく状況の中に、明治中・後期の市域の教育の姿の一端をうかがうことができる。

大正期

この時期の日本は、第一次世界大戦、米騒動、関東大震災とたてつづけに大きな試練に出あうが、大正時代は明治期と一種違った、いわゆる大正デモクラシーの時期でもあった。これが教育界にも個性尊重、個別学習重視の『八大教育主張』に象徴される新風を呼び込んだのである。

知識重視の注入主義が真に身についた学力にならなかったことの反省は、既に明治の後期から指摘されていた。こうした機運を反映して、政府が設置した諮問機関の臨時教育会議は、大正 6 (1917) 年「不必要ナル記憶ノ為ニ児童ノ心カヲ徒費スルノ弊風ヲ矯正スルノ必要アリト認ム」と答申した。



大正時代の小学校

こうした情勢の中で、文部省は国定教科書の内容を日常語化する等の手直しを進めたが、このような教育思潮の変化が町田市域の学校教育にどのような具体的影響を及ぼしたかについては、はっきりしたことは判っていない。子どもたちの昼食は依然として日の丸弁当であったし、履物は手作りの草履であった。先生の教えも厳格だったし、一律の知育重視の教育であった。しかし、新しい様相が全くなかったわけではない。例えば、大正後期から昭和初期にかけて、町田市域の各学校で、運動競技、特にバスケットボールが盛んになって、対抗試合が目立って頻繁になった。南小学校には優勝旗が20本もあったというし、鶴川小学校では女子が膝丈位の着物を着て、竹の皮草履の音をびたびたさせながら、忠生小学校までバスケットボールの練習試合に出かけたという。また、町田小学校は800mリレーなどの陸上競技で他校の大会に参加しては優勝旗を獲得して、学校の教材室を所狭しと飾ったそうである。

明治初頭以来、体育は健全な精神と肉体を育成するために重視され推進されてきていた。こうした努力がこの時期になって、次第に実を結んでくるようになった。例えば、日本がオリンピックに初めて参加したのは大正元年、初めての金メダル獲得は織田幹雄の三段跳で昭和3年のアムステルダム大会であった。

大正期の新教育の一つの方向は、固定の教科の枠を越えて、自由に学習領域を広げようとしたことであるといわれているが、そこには学校行事や教科外活動を正課と認めて指導すべきであるという主張もあった。市域の小学校における運動の興隆は、こうした社会状況と大正期の新教育の傾向とが交互に作用して現われたものと理解することができる。

学校行事といえば、遠足や運動会は明治期より行われている。遠足地は、市域内では薬師池が多く、近隣地では百草園や八王子等で、紺緋の着物を着て、地下足袋を履き、風呂敷包みにくるんだ弁当を背負い歩いていった。横浜線が敷かれてからは、鶴見の花月園や江ノ島、鎌倉等がこれに加わっている。また、昭和の初め、町田の常設館（現在の原町田四丁目にあった）で南部4か町村（町田・南・鶴川・忠生）の連合音楽会が開かれたが、こうした行事も大正期の教育の一点景といえよう。

義務教育の就学率は、大正の初期に98パーセントを突破した。市域の場合、明確な数字が出ていないが、明治の終わりから大正の初めにかけて児童数が急増したことや、女子の卒業生が男子を上まわる年があることなどの事実から同じような率の向上があったものと推察される。

大正期の義務教育は、質の問題が残されたとはいうものの、国民の間に十分浸透したといつてよいようである。なお、こうした情勢をうけて大正期には市内各校で校舎の増改築が進行している。

昭和前期

昭和前期の教育は、一口に言って戦時体制下の教育である。大正15年、青年訓練所令が公布施行されて、小学校卒業者に4か年の軍事教練を含む公民教育を行うことになったが、その教場は小学校であった。男性の教員の多くは、並行して開設されていた補習学校の普通学科や修身公民科の指導に当たったのであった。

昭和12（1937）年7月、日中戦争が勃発すると国内の戦時体制は急速に強化された。

教育もその影響を色濃く受けて、昭和16（1941）年3月には国民学校令が公布されるに至った。町田市域の小学校は4月1日を期して一斉に〇〇国民学校と名称を変更した。

これに伴って高学年男子には剣道及び柔道が、同女子には薙刀なぎなたが正課として加わることとなった。日本の教育はもともと精神主義的傾向が強かったが、この時代にはそれが極端に尊重された。小学生に軍人勅諭を暗唱させたり、毎朝の朝礼に「海行かば」を歌わせたりする一方、連帯責任ということが強調された。

戦争が激化し、とくに太平洋戦争（第二次世界大戦）が始まると、出征した兵士のあと、働き手を失った農家への勤労奉仕が高学年の日課となった。町田郵便局や軍需工場への動員も始まり、学校へ登校することはなくなった。

こうして子どもたちの影がうすくなった市域の各学校へ、昭和 19 年 8 月、空襲の危険をさけて区部から 689 名の児童が疎開してきた。

しかし、学校の実情は勉強どころではなかった。特に疎開の受入れ先の教師達は、食糧や物品の確保と児童の健康維持に身をすり減らす日々を送っていた。戦争の激化は教育をも次第に追いつめていったのである。

なお、昭和初期には、玉川学園、町田女学校・町田高等女学校（後の都立町田高校）、原町田幼稚園と私立の学校が開設された。



東雲寺の疎開児童

戦後

昭和 20（1945）年 8 月、終戦と同時に日本の学校教育は、占領政策の規制をうけて、その制度が根底から改革されることになった。

文部省は、同年 9 月には新しい教育方針と「終戦ニ伴フ教科用図書取扱方ニ関スル件」を發し戦時教育を一掃する姿勢を見せ、同 22 年に、教育基本法及び学校教育法の制定、学習指導要領・一般編（試案）を公布し、新教育の具体的学習活動が進められるようになった。

なお終戦後すぐの学校の様子について、教科書の墨塗りや焼却処分、MP（米軍憲兵）の巡検があったことなどが学校日誌に残っている。

こうして 6・3・3・4 制が実施され、同 22 年より新制中学が発足することになり、ふたたび市民の浄財と奉仕によって、それぞれの町村に中学校が設置された。

また、この時期すでに町田市域には住宅進出が始まっていて、人口増加が進みつつあった。町田小（現町田一小）では昭和 26 年 4 月の児童数が 2,980 余名、学級数が 60 となり、教室の増設が急務とされ、昭和 27 年に町田二小、町田三小、昭和 30 年に町田四小が開校した。他の地域でも忠生二小、南三小等、分校が独立するなどしている。

高度経済成長期、東京への人口集中の波が町田にも押し寄せ、昭和 40 年頃から大規模な団地建設が進むと、団地人口の急増は児童・生徒の増加となり、さらに学校建設に追われた。終戦時に 7 校であった小学校は、昭和 59（1984）年 4 月には 44 校となり、中学校は 5 校から 20 校にとふくれあがった。

市の人口増加に伴って、公私立の高校、大学が住宅都市に進出したのも戦後の特徴である。高校の進出は昭和 21 年の桜美林学園の創設に始まり、大学は昭和 22 年の玉川大学の認可が最初である。

現在、市域の高校は都立7校、私立5校、高等専門学校1校で、大学は短大を含めて9校を数える。

児童・生徒の急増、学校の増設は教職員の意識を変えた。区部の学校を経験した教師の増加や1割を超す新採用教師の加入は、教育活動を活発にした。また、町田の子も色々な地域や学校から転入してきた児童・生徒の影響を受け、生活が大きく変わっていった。

戦後の新学制は、社会科や特別活動の新設、学校給食の実施、児童・生徒の自治活動の重視等教育内容を大きく変えた。その実施にあたって、当初は少々の混乱があったが、一世紀近い近代教育の積み上げがものをいい、急速に定着し安定に向かっていった。そのころから、人口の都市集中と歩を合わせるように受験戦争が激化し、学習塾や進学塾に通う小・中学生が増えた。子どもたちの生活にも都市化傾向がみられるようになり、様々な問題行動が発生し、教育関係者の悩みの種となっていた。

一方、障がいのある児童に対する小学校での特別な教育は、昭和20年代後半から徐々に試みられてきたが、町田市が学級を設置したのは昭和34年である。以来、父母の要望とこれに積極的に応える学校の具体的な実践、人的・物的条件の整備に手を尽くす行政の施策等により、子どもたちの教育環境が整備され充実して、他地域にはみられない取組により、障がい児教育の先進市としての評価が高まっていった。

児童・生徒の急増は子どもの生活を大きく変え、さまざまな問題行動が見られるようになった。青少年の健全育成が市民の関心事となり、市は昭和41(1966)年に青少年の健全育成都市宣言を発した。生活指導の強化が求められるとともに、子どもの心の指導を要請する声が大きくなっていった。

平成

都市型社会の影響からくる地域力の低下は著しく、社会規範の弱体化は憂慮すべき問題であった。平成11(1999)年以降、都内の青少年の不良行為(飲酒、喫煙、深夜徘徊等)件数は増加傾向にあり、そのため、衰えた地域力を補うものとして、学校での規範教育を求める声が高まっていった。

また、地域と学校の連携を図り、地域に根ざし、開かれた学校づくりを進めるため、平成14(2002)年から、「学校運営協議会」「学生教育ボランティア制度」が始まった。平成19(2007)年には、「ボランティアの参画拡充」を本市の中期経営計画に位置づけて「小・中学校支援ボランティア推進事業」を実施している。

また、地域の教育力を活用するため、平成20(2008)年10月に地域人材を広く募集し、目的に応じ適材適所を考慮して登録し、学校の実情やニーズに対応して紹介、派遣することのできる窓口として「学校支援センター」を新設したほか、平成15(2003)年「道徳授業地区公開講座」、平成17(2005)年「セーフティ教室」とさまざまな形で地域とともに学校教育を進めていく施策を行っている。平成21(2009)年度からは学校支援地域理事を設置し、地域に根ざした特色ある学校運営のため活動を行なっている。

平成16(2004)年度からは小・中学校の新1年生を対象に、自ら希望し指定校以外の入学を選択できる「市立小・中学校選択制度」を開始した(2013年度より「通学区域緩和制度」に名称変更)。同じく平成16(2004)年に、教育相談所・教育研究所が移転し、「町田市教育センター(旧忠生第四小学校跡)」を開所した。高度情報化社会の進展を踏まえ、平成17年(2005)度にこの教育セ

ンターを拠点として情報教育を強化していくために市立小・中学校全校と教育センターを結ぶ学校LANの整備を行った。デジタル教材、モデル授業の共有等、ネットワークを生かした活用が行われている。同年9月には全中学校2年生の一斉職場体験事業を実施した。子どもたちの「生きる力」を育むキャリア教育の一環であり、フリーターやニートの増加を懸念しての教育施策である。

平成17(2005)年4月には、町田市としては21年ぶりの新設校として「小山ヶ丘小学校」が開校した。小山ヶ丘地区のマンション建設などによる人口増加に対応するものであり、その後も平成22(2010)年4月に「小山中央小学校」が開校し、平成24(2012)年4月には中学校としては28年ぶりに新設校として「小山中学校」が開校した。敷地の段差を活かし、南側に保存緑地を擁した自然豊かな多摩丘陵の眺望と木々の緑の景観を楽しめる教室配置となっている。

また、かねてより要望のあった中学校給食の導入を開始した。毎年4校ずつ開始し、平成21年度に全校実施となった。給食の方法は「弁当併用外注給食方式」とし、希望者のみ配送している。

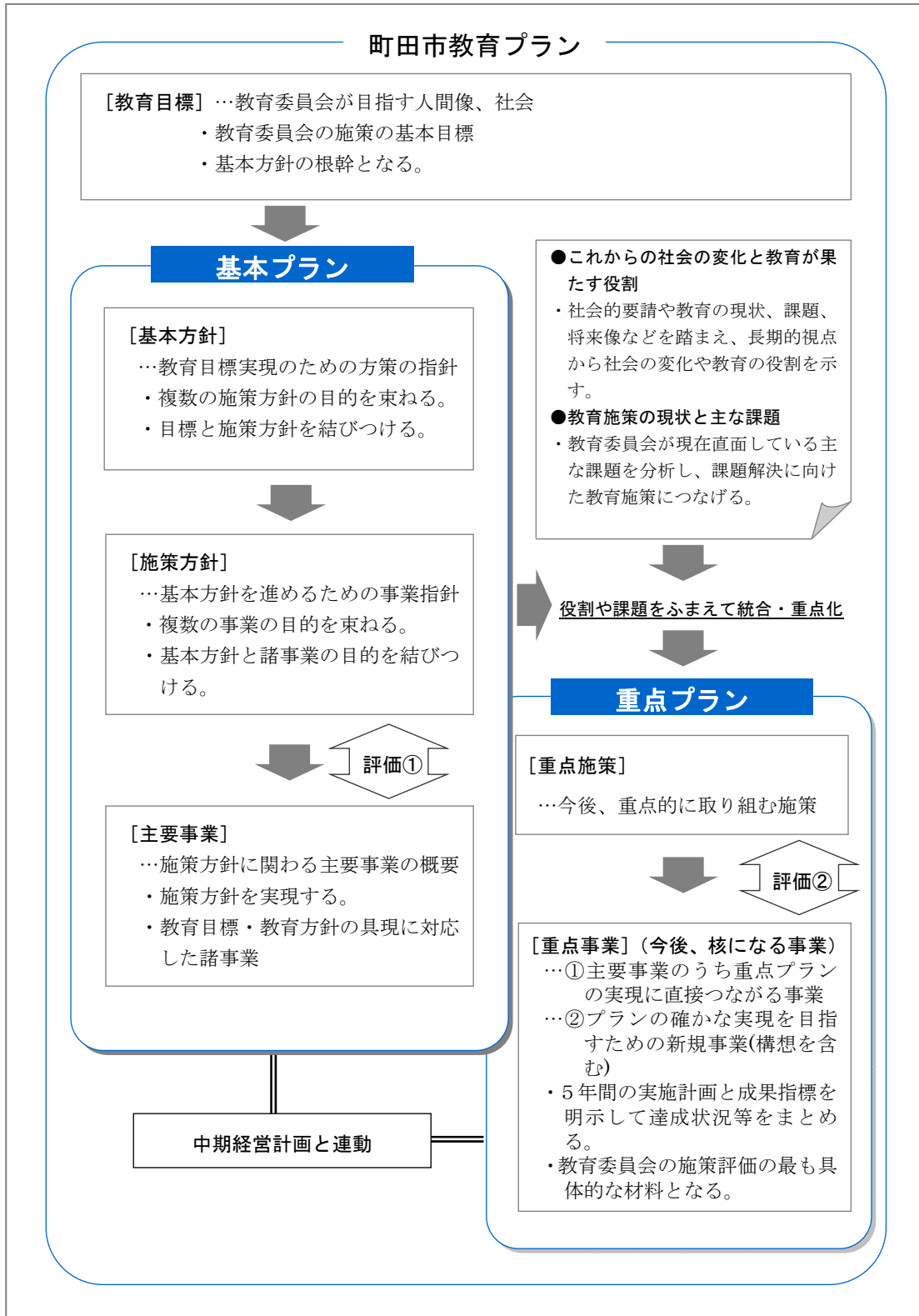
平成18(2006)年に、約60年ぶりに教育基本法が改正されたことをうけ、平成21(2009)年3月に教育委員会として初となる「教育の振興のための施策に関する基本的な計画」、『町田市教育プラン』が策定された。

平成20(2008)年4月から、市立全小・中学校を本市独自重点カリキュラムでつなげる全市型の小中一貫「町田っ子カリキュラム」(規範教育、キャリア教育、英語教育、食育の4領域)が始まった。規範意識やコミュニケーション能力を高めながら、働くことの大切さを実感し、心身ともに健康で進んで社会に関わろうとする児童・生徒を育成することをねらいとしている。

平成24(2012)年4月には、大戸小学校と武蔵岡中学校を対象に、町田市で初めての合同校舎型小中一貫校「ゆくのき学園」が開校した。学校と地域が一体感を持って取り組む地域協働の学校づくり・市民協働の街づくりの実現を目指す。また、同年7月、町田市役所が移転し、一部の業務を除き、15の施設に分散していた行政機能が1箇所に集約された。8月末には、3カ年にわたる普通教室への空調設備設置が全校で完了した。

2. 教育プラン

教育委員会では、教育関係の法改正などを踏まえて、2007年度末に教育目標と基本方針を大幅に改定しました。教育プランは、その目標と方針に沿って、今後、教育施策をどのように進めていくかをまとめたもので、2009年度を計画の初年度として策定されました。教育目標や基本方針を軸として諸事業を体系化した教育施策の全体計画である「基本プラン」と、これからの社会の変化と教育が果たす役割や課題などを背景として、今後の教育施策の方向を示した重点計画である「重点プラン」の2つで構成されています。計画期間はおおむね10年間としています。



3. 教育目標

町田市教育委員会は、子どもたちが知性と感性をはぐくみ、心身ともに健康で人間性豊かに成長し、互いの人格を尊重するとともに社会の一員としての自覚をもって地域にかかわる人間に育つことを目指します。

また、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を目指します。

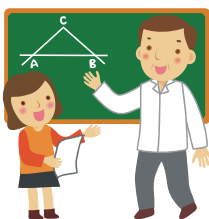
基本方針及び施策方針

基本方針1 子どもたちの生きる力と健やかな精神の育成

日本国憲法及び教育基本法の精神を基盤とし、人権尊重を柱とする町田市子ども憲章の趣旨を生かして、次代を担う子どもたちに、将来の職業や生活を見通して社会の中で自立的に生きる力や生涯にわたって学び続ける意欲、健やかな精神や豊かな心をはぐくみます。

施策方針

- (1) 人権尊重の精神、男女平等の意識、平和を愛する心、生命を尊重する心及び自然を大切に
する心などをはぐくむ教育を進めます。
- (2) 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた郷土を愛するとともに、公共の精神、社会
貢献の精神をはぐくむ教育を進めます。また、異文化理解を基盤とした国際理解の教育を進
めます。
- (3) 障がいのある人や高齢者などすべての人が社会の一員として、明るく平等に活動できる社
会を目指し、お互いを理解し、連帯感をはぐくむ教育を進めます。
- (4) 基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらの活用を重視するとともに、言葉を大切に
してコミュニケーション能力を高め、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれ
た教育を進めます。
- (5) 個性や創造性を伸ばし、自主・自律の精神を養うとともに、自己の生き方についての考え
を深め、望ましい勤労観・職業観を身に付ける教育を進めます。



基本方針2 学校の教育力の向上

様々な教育課題に対応し、子どもたちにとってよりよい教育を進めるために、教育環境を充実・整備し、教師の指導力を含めた学校の教育力の向上を図ります。

施策方針

- (1) 学校が自校の教育目標の実現に向けて、学習指導要領に則った教育課程、教育活動を計画的に進めることができるよう支援します。
- (2) 教師が指導力や様々な教育課題に対応する力を高めるため、研修する機会・内容の充実を図ります。
- (3) 学習集団を弾力的に編成し、少人数集団における指導、指導補助者を活用した指導など、子ども一人一人の理解や学習内容の定着の状況に応じた指導の充実を図ります。
- (4) 障がいのある子ども一人一人の教育ニーズを把握し、適切な指導や必要な支援を行うために、専門家等による助言や支援者による指導補助などを通して、特別支援教育を進めます。
- (5) 子どもたちが情報を正確に処理する力や正しく判断する力、情報を効果的に活用したり発信したりする力を高めるために、情報機器や図書館などを活用した授業ができる環境の充実・整備を進めます。
- (6) 子どもたちが健康で安全な生活を送ることができるよう、学校施設や教育環境の充実・整備を進めます。



基本方針3 家庭、地域、学校が連携した教育の推進

保護者や地域、関係諸機関と学校とが連携した健全育成などの教育の取組を進めるとともに、情報発信や公開、学校評価を充実し、信頼される学校づくりを進めます。

施策方針

- (1) 家庭教育の重要性を踏まえ、家庭と学校との密接な連携により、規範意識の向上、あいさつや食事などの基本的な生活習慣、家庭学習などの習慣の形成に努めます。また、小学校と中学校との連携を強化し、小中一貫校はもとより、義務教育9年間を一貫した理念・計画のもとで、効果的に指導する体制づくりを進めます。
- (2) 子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、危機管理の視点からも、学校、家庭・地域、関係諸機関と一体となって、非行・問題行動や犯罪被害・交通事故の未然防止、防災教育の推進、心身の健康の保持増進に取り組みます。
- (3) いじめは、すべての学校・学級で起こりうるという認識のもと、学校、家庭・地域、関係諸機関との密接かつ日常的な連携により、その解消を図るとともに、対応力の向上を図ります。また、いじめ・不登校などの教育課題、就学や進路に関する悩みなどに対応する教育相談の機能を高めます。
- (4) 学校が充実した教育活動を進めることができるよう、授業や生活指導、部活動、学校図書館などへの保護者や地域の方々の積極的な参加ができる仕組みづくりを進めます。
- (5) 保護者の組織や市民、学校支援地域理事や学校支援ボランティア等と連携した「開かれた学校経営」を行い、積極的に評価を受け、改善を図ることで信頼される学校づくりを進めます。また、地域に開かれた公開授業や研究等に取り組むとともに、積極的に説明責任を果たします。



基本方針4 生涯学習の推進

市民が生涯にわたって、いつでもどこでも自由に学び続けることができる社会を目指し、学習の場や機会の充実、環境の整備を進めます。

施策方針

- (1) 市民が自らに適した学習活動を行えるよう、講座や講演会、展示会、発表会等の情報を積極的に提供するとともに、学習をさらに深めるための相談機能の充実を図ります。
- (2) 図書館では図書その他の資料の充実・サービスの向上を図り、生涯学習センターや市民文学館では、多様化する市民の学習ニーズに応える講座等を開催し、市民が誰でも自由に学習できる環境の整備を進めます。
- (3) 地域の教育力の向上を図るために、学校と地域の連携・交流を深める仕組みづくりを進めます。また、地域の大学や生涯学習事業を行っているその他の機関との連携を図ります。
- (4) 市民が自らの学習成果を地域等様々な場で発揮できるよう支援します。また、市民が学習の場を十分確保できるよう社会教育施設の整備を図るとともに、学校が地域の拠点となるよう校庭、体育館、教室の開放を進めます。
- (5) 市内の貴重な文化財の維持・保全に努め、市民が文化財に親しめる機会を提供します。
- (6) 「町田市文化芸術振興施策の基本方針」や「町田市スポーツ振興計画」、「町田市子どもマスタープラン」等の施策展開に対して、積極的に参画・連携します。



重点施策及び重点事業

基本方針	施策方針（主なキーワード）	主要事業（取組を含む）
1 子どもたちの生きる力と 健やかな精神の育成	(1) 人権尊重、男女平等、 平和・生命尊重、自然愛	規範教育の推進（小中一貫）
		人権教育推進委員会
		道徳教育の充実
	(2) 伝統・文化、公共の精神、 社会貢献、国際理解	国際理解教育推進事業
		英語教育の推進（小中一貫）
		日本の伝統・文化理解教育の推進 芸術・文化に触れる体験活動の推進
	(3) 相互理解と連帯感	特別支援教室整備事業
		就学措置事務
	(4) 確かな学力と豊かな人間関係	研究・研修奨励事業
		授業力・教育課題研修会(大学連携)
		科学教育センター事業
		児童・生徒の体力の向上推進 新教育課程編成資料作成
	(5) 個性や創造性、自主・自律、 望ましい勤労観・職業観	中学生職場体験事業
		部活動推進事業
		キャリア教育の推進（小中一貫）
2 学校の教育力の向上	(1) 教師の研修の充実	研究・研修事業
		授業力向上プログラム
		授業力・教育課題研修会(大学連携)
		町田市教育情報ネットワーク
	(2) 適正な教育課程、計画的な 教育活動の実施	適正な教育課程編成への支援
		週の指導計画の作成
		学校訪問
	(3) 個に応じた指導の充実	学校支援ボランティア推進事業
		少人数指導の推進
	(4) 特別支援教育の推進	特別支援教育推進事業（人材派遣）
		特別支援教育推進事業（教員研修）
		特別支援事業（支援員派遣）
		自立活動支援事業 幼小保す養連絡協議会
	(5) コンピュータネットワーク、学校図書館等 情報活用環境の充実・整備	ネットワーク整備事業
		町田市教育情報ネットワーク
		学校図書館と公立図書館の連携
	(6) 健康で安全な学校施設や教育 環境の充実・整備	学校施設耐震補強事業
		学校施設リファイン計画
		学校運営物品管理事務
		強化陶磁器食器導入事業
学校新設事業		
児童・生徒急増対策事業 中学校給食事業		

基本方針	施策方針（主なキーワード）	主要事業（取組を含む）
3 家庭、地域、学校が連携した教育の推進	(1) 家庭教育と学校との連携、 小中連携・一貫体制の推進	食育の推進（小中一貫）
		「東京都教育の日」講演会
		小中一貫指導推進校の指定
	(2) 関係諸機関や家庭・地域と連携した非行・問題行動、犯罪被害の防止	教育指導推進事業
		防犯対策事業
		学校・警察連絡協議会
		学校サポートチーム
	(3) いじめ・不登校への対応、 教育相談	セーフティ教室
		規範教育の推進（小中一貫）
		教育相談事業
	(4) 学校教育への保護者、地域参加の促進	eラーニング学習支援（大学連携）
		小学校適応指導教室事業
		生活指導補助者派遣事業
	(5) 開かれた学校経営の推進	学校支援ボランティア推進事業
		町田市教育情報ネットワーク
研究・研修奨励事業		
学校運営推進協議会		
4 生涯学習の推進	(1) 生涯学習情報の提供	学校評価（自己評価と関係者評価）
		学校ホームページ
	(2) 生涯学習情報の提供	ホームページや広報紙での情報提供
		生涯学習NAV Iや情報コーナー
		生涯学習関連団体の情報提供
	(3) 社会教育の充実	公民館事業
		市民大学事業
		図書館資料貸出し・閲覧事業
		各施設閲覧、展示、利用普及等事業
	(4) 地域の教育力の向上	地域学習ネットワーク事業
		地域協働の学校づくりの支援
		共催・連携事業
	(5) 社会教育施設の整備	社会教育関係団体講師派遣事業
		図書館利用環境の充実
公民館施設貸出事業		
(6) 文化財の維持・保全・活用	埋蔵文化財保護事業	
	古民家保存事業	
	文化財活用事業	
(7) 文化・スポーツ振興への参画	町田市子ども読書活動推進計画実施	
	「スポーツ振興計画」策定への参画	

4. 教育委員会

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地方公共団体が教育、学術、文化に関する事務を処理するために、市長から独立した行政委員会として設置された合議制の執行機関です。

(1) 教育委員会の委員

教育委員会は、5人の委員で組織されています。委員は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、市長が議会の同意を得て任命するものです。任期は4年です。

委員長は、委員のうちから選挙によって選ばれ、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会を代表します。任期は1年ですが、再選が可能です。

委員長職務代理者は、委員長に事故があるとき、または委員長が欠けたときに委員長の職務を代行します。

教育長は、委員のうちから教育委員会が任命し、教育委員会の指揮監督の下に、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり、事務局の事務を統括し、所属職員を指揮監督します。



佐藤委員長



岡田委員



井関委員



高橋委員



渋谷教育長

教育委員会委員（2013年4月現在）

職名	氏名	任期
委員長	さとう のぼる 佐藤 昇	2012.4.1～2016.3.31
委員長職務代理者	おかだ えいこ 岡田 英子	2010.10.28～2014.10.27
委員	いせき たかよし 井関 孝善	2010.10.28～2014.10.27
委員	たかはし けいこ 高橋 圭子	2012.7.1～2016.6.30
教育長	しぶや ともかつ 渋谷 友克	2010.4.1～2014.3.31

(2) 教育委員会の開催

教育委員会の会議は、「町田市教育委員会会議規則」の定めるところにより、毎月1回定例会が開催されるほか、必要に応じて臨時会が開催されます。また、これらの会議とは別に、教育行政全般について協議するために協議会が開催されます。2012年度には、定例会12回、臨時会5回が開かれ、下表の議案が付議され、可決されました。



月日	会議名	付議案件
4/2	第1回臨時会	委員長職務代理者指定選挙
4/13	第1回定例会	議案第1号 教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 議案第2号 学校歯科医の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 議案第3号 町田市立学校結核対策委員会委員の委嘱（解職）の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 議案第4号 町田市公立学校教職員の新規採用に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 議案第5号 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 議案第6号 町田市立学校施設の開放に関する条例施行規則の一部を改正する規則について 議案第7号 町田市民文学館運営協議会委員の解職及び委嘱について 議案第8号 教育委員会職員の人事異動の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
5/11	第2回定例会	議案第9号 町田市立学校学校支援地域理事の任命について 議案第10号 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 議案第11号 都費負担教職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 議案第12号 2012年度町田市人権教育推進委員会委員の委嘱について 議案第13号 第28期社会教育委員の委嘱について 議案第14号 第1期生涯学習審議会委員の委嘱について 議案第15号 子ども向けブックリスト等作成協力者への感謝状の贈呈について 議案第16号 第1期町田市生涯学習センター運営協議会委員の委嘱について
6/15	第3回定例会	議案第17号 町田市教育委員会事務局設置規則の一部を改正する規則について 議案第18号 町田市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規程の一部を改正する規程について 議案第19号 町田市立学校学校支援地域理事の任命について 議案第20号 町田市通学区検討委員会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 議案第21号 学校医の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 議案第22号 町田市学校給食問題協議会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 議案第23号 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 議案第24号 町田市東京都立高等学校等入学者選抜に係る成績一覧表調査委員会委員の委嘱について 議案第25号 町田市情緒障がい学級（不登校）入退級相談委員会委員の委嘱及び任命について 議案第26号 町田市障がい児就学相談委員会委員の委嘱・任命及び解嘱・解任について 議案第27号 第二次町田市子ども読書活動推進会議委員の委嘱及び解嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
7/20	第4回定例会	議案第28号 町田市立学校学校支援地域理事の任命について 議案第29号 教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 議案第30号 都費負担教職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 議案第31号 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて

8/3	第 5 回定例会	議案第32号 議案第33号 議案第34号 議案第35号 議案第36号 議案第37号 議案第38号 議案第39号 議案第40号	2012年度町田市教育委員会の施策等に関する点検及び評価（2011年度分）について 町田市立学校学校支援地域理事の任命について 町田市立学校設置条例の一部を改正する条例（案）について 条件附採用期間にある教育職員の正式採用決定に係る内申について 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 2013年度使用教科用図書（小学校）の採択について 2013年度使用教科用図書（中学校）の採択について 2013年度使用教科用図書（特別支援学級用）の採択について 町田市立図書館設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例（案）について
9/4	第 6 回定例会	議案第41号 議案第42号 議案第43号 議案第44号 議案第45号 議案第46号 議案第47号 議案第48号	町田市教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正する規則について 教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 町田市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について 学校薬剤師の委嘱（解嘱）について 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 第 1 期町田市生涯学習センター運営協議会委員の委嘱について 町田市立図書館設置条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則について
10/1	第 2 回臨時会	議案第49号 議案第50号 議案第51号	教育委員会職員の人事異動の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 校長の任命（新任）に係る内申について
10/12	第 7 回定例会	議案第52号 議案第53号 議案第54号 議案第55号 議案第56号	町田市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について 都費負担教職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の復職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 町田市立図書館運営規則の一部を改正する規則について
11/2	第 8 回定例会	議案第57号 議案第58号 議案第59号	町田市教育プラン改定方針について 教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
11/2	第 3 回臨時会		委員長選挙
12/14	第 9 回定例会	議案第60号 議案第61号 議案第62号 議案第63号 議案第64号	町田市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について 学校歯科医の委嘱（解嘱）の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 町田市指定有形文化財の指定について まちだ市民大学HATSプログラム委員の委嘱について
1/18	第 10 回定例会	議案第65号 議案第66号 議案第67号 議案第68号 議案第69号 議案第70号 議案第71号 議案第72号 議案第73号	2013年度町田市教育委員会教育目標、基本方針及び施策方針について 教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 教育委員会職員の休職に係る処分について 学校医の委嘱（解嘱）の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 町田市学校保健功労者の表彰及び感謝状の贈呈について 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の復職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の服務事故に係る処分について 町田市国史跡高ヶ坂石器時代遺跡保存管理計画策定検討委員会委員の委嘱について

2/1	第 11 回定例会	議案第74号 議案第75号 議案第76号 議案第77号 議案第78号 議案第79号 議案第80号 議案第81号 議案第82号	児童・生徒の表彰について 町田市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規程の一部を改正する規程について 町田市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について 教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 教育委員会職員の休職に係る処分について 町田市立学校の通学区域の変更について 都費負担教職員の復職の取消しに係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の勸奨退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 学校支援ボランティアへの感謝状の贈呈について
2/15	第 4 回臨時会	議案第83号 議案第84号	町田市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例（案）について 平成25年度町田市公立学校校長・副校長の人事異動及び統括校長の任用について
3/13	第 12 回定例会	議案第85号 議案第86号 議案第87号 議案第88号 議案第89号 議案第90号 議案第91号 議案第92号 議案第93号 議案第94号 議案第95号 議案第96号 議案第97号 議案第98号 議案第99号	町田市立学校文書取扱規程の一部を改正する規程について 教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 教育委員会表彰について 平成24年度教職員への感謝状の贈呈について 町田市教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正する規則について 町田市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について 町田市教育委員会職員の職名に関する規則に基づく教育委員会の指定に関する規程の一部を改正する規程について 町田市立学校の学級編制基準の一部改正について 学校医等の委嘱について 都費負担教職員の服務事故に係る処分内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 条件附採用期間にある教育職員の正式採用決定に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 平成24年度町田市公立学校教員の人事異動に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の復職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 都費負担教職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
3/29	第 5 回臨時会	議案第100号 議案第101号 議案第102号 議案第103号	教育委員会職員の3月31日付け人事異動の承認を求めることについて 教育委員会職員の4月1日付け人事異動の承認を求めることについて 町田市学校給食費徴収規則の一部を改正する規則について 児童・生徒の表彰に係る臨時専決処理に関し承認を求めることについて

(3) 2012 年度教育委員の主な活動状況

(2) で挙げた会議等のほか、以下のような活動を行い、教育委員会としての考えや思いを広め、更に、さまざまな活動を称え激励し、また現場の状況や生の声を把握することにより、教育行政の一層の充実に努めています。

<p>○儀式・表彰式、市議会、教育委員会連合会、校長会等への出席 教職員の辞令交付式、学校支援ボランティア感謝状贈呈式、定例校長会・副校長会、町田市議会定例会本会議、東京都教育施策連絡会、全国都市教育長会協議会 東京都市町村教育委員会連合会の総会・理事会・研修会、東京都市教育長会の会議・研修会 関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会の総会・研修会ほか</p>
<p>○学校への訪問 市教委訪問 (15 校)、指導主事訪問 (14 校)、道徳授業地区公開講座 (21 校)、研究発表会 入学式・卒業式、運動会・体育祭、学習発表会等学校行事、合唱コンクール 周年記念式典など</p>
<p>○市や学校の連合団体等が主催する研修会等への参加 夏季休業中の授業力・教育課題研修、小・中学校教育研究会の総会・研究発表会 学校支援ボランティアコーディネーター研修会、小中一貫モデル校報告会 町田市教育講演会ほか</p>
<p>○教育機関の事業や生涯学習施設の展示会・講座等への参加 小・中学校科学教育センター事業、公民館障がい者青年学級開級式・成果発表会 市民大学の講座、生涯学習センターまつり、文学館まつり、ひなた村・創作童話作品発表会 文学館・自由民権資料館・国際版画美術館等の企画展内覧会やオープニングセレモニーほか</p>
<p>○市や市民団体等が主催する文化・スポーツ等の行事・式典への参加 子ども教育委員会、小学校合同音楽会、中学校連合音楽会、中学校連合演劇発表会 町田市公立小・中学校作品展、二十祭まちだ (成人式)、社会を明るくする運動町田大会 町田市新体操選手権大会、町田市こどもマラソン大会、町田市中学校対抗陸上競技大会 中学生東京駅伝、スポーツ祭東京 2013 関連行事ほか</p>
<p>○PTA や市民団体等との懇談 公立小学校 P T A 連絡協議会の総会・懇談会、中学校 P T A 連合会の総会・懇談会 市議会議員との意見交換会、障がい児保護者団体との懇談会ほか</p>
<p>○その他教育に関連した活動 都立町田の丘学園訪問、全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムほか</p>

※市教委訪問 ・ 教育長以下、学校教育部の全管理職が学校を訪問するもので、各学校が抱える教育上の諸課題について、その実態を把握し、解決の方途を見出すために実施するものです。全学級の授業参観や教職員との協議・懇談会等を通じて、児童・生徒の教育指導、指導内容・方法、教材・用具、施設・設備、教育環境、保健衛生等、広い視野から教育上の諸課題について話し合い、学校と市教委との連携を深めるねらいがあります。4年に一度は各校を訪問することになります。

※指導主事訪問 ・ 教育委員 (教育長を除く) と指導主事が学校を訪問し、各学校の状況に応じ、児童・生徒の指導上の諸問題を中心に、その学校のもつ課題について教職員とともに具体的な解決の方法を見出す目的で行なわれています。上記の市教委訪問と比較しても、研究推進と授業改善に比重をかけています。4年に一度は各校を訪問することになります。

※研究発表会 ・ 教育委員会が例示するテーマを参考にして、各学校が研究主題を決めて取り組むもので、ここ数年各学校の研究意欲は高く、研究推進校、研究校がその成果や知見を広く内外に公開発表しました。

※道徳授業地区公開講座・・東京都の「心の東京革命」の一貫として全都の公立学校で開催しているもので、各学校での道徳の時間の授業を保護者や地域の方々など、広く市民に見ていただいています。併せて、子どもの健全育成や子育てについての講演会を開催したり、授業後に意見交換会などを行ったりして、家庭・学校・地域社会が一体となった道徳教育を推進していくとともに、子どもたちの健全育成を図ることがねらいです。意見交換会の際は、教育委員が、参観した授業について講評し、また、道徳授業地区公開講座の主旨説明などを行っています。

(4) 学校支援地域理事

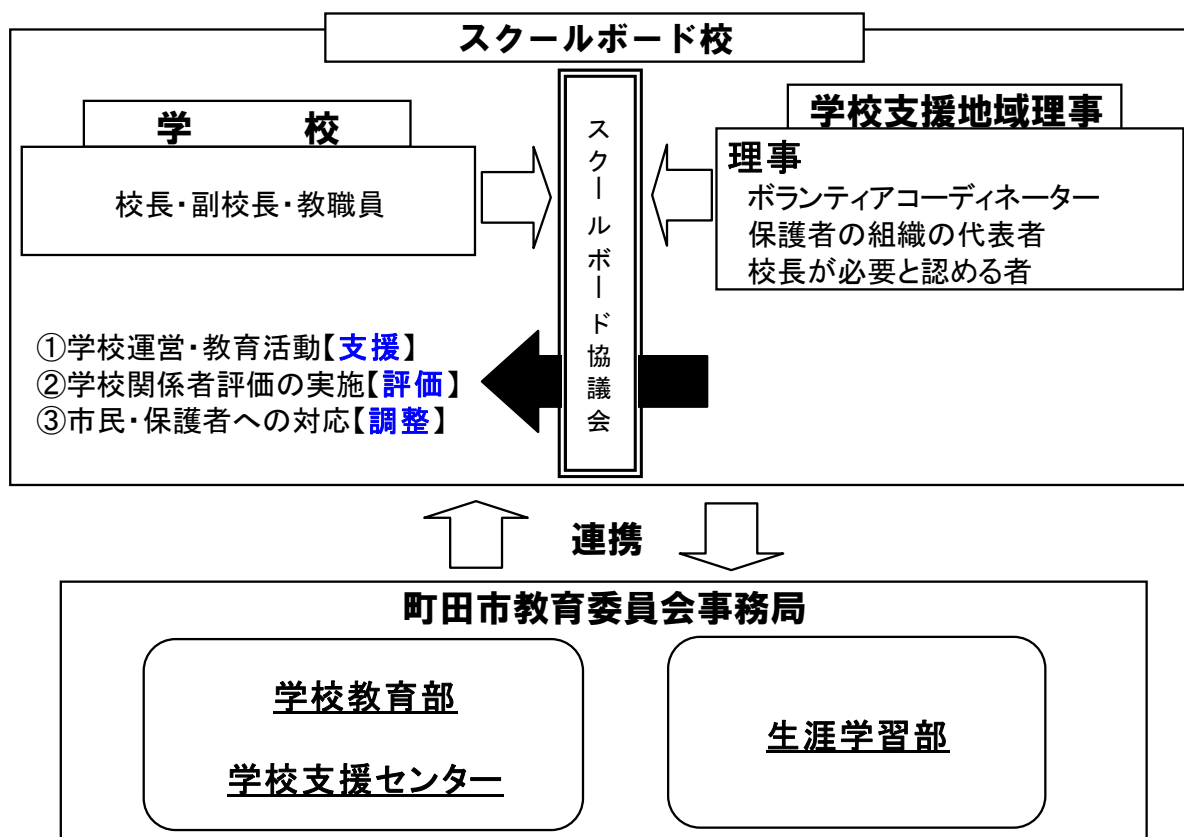
市立小・中学校において、保護者や地域住民の意向を的確に把握し反映させるとともに、その協力を得てより一層効果的かつ円滑な学校運営を行うことにより、地域や社会に開かれた特色ある学校づくりを推進するため、各校校長の推薦により選出された学校支援地域理事を設置し、全小・中学校がスクールボード校として運営しています。

○学校支援地域理事の主な活動

スクールボード協議会参加、学校活動への助言、学校評価、授業参観・運動会・学習発表会・周年行事など学校行事への参加ほか

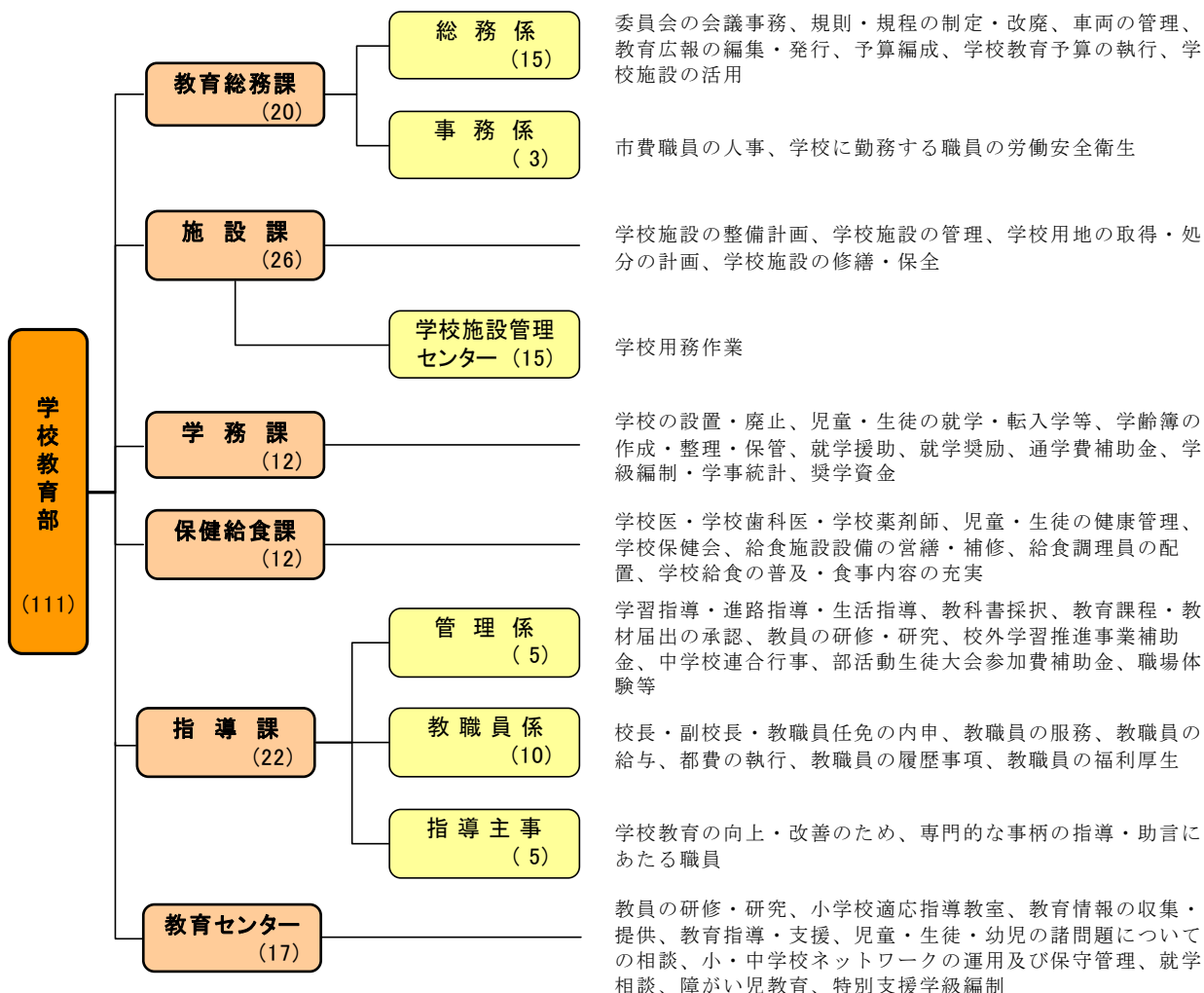
※スクールボード・・・アメリカにおいて州ごとに教育委員会が置かれる前に、市町村かそれ以下のコミュニティで学校を維持していくため、住民が自分たちの手で学校を運営していた時期があった。これがスクールボード（「学校委員会」又は「学区委員会」）であり、町田市のスクールボードは、その精神を大切にしていくものであり、学校支援地域理事の支援による学校運営形態を表す言葉とする。

※学校評価・・・学校が、学校としての教育機能をどのように、またどの程度果たしているかをできるだけ客観的、総合的に把握・分析し、その結果に基づいて教育活動全般についての改善策を立てること。



(5) 教育委員会の組織と事務分掌

教育委員会事務局及び教育機関は、教育長の指揮監督の下に、教育委員会の権限に属するすべての事務を処理します。



小学校 42校
中学校 20校
うち小中一貫校 各1校

市立学校に勤務する職員数 (2013年5月1日現在)

①教職員数 (都費職員)

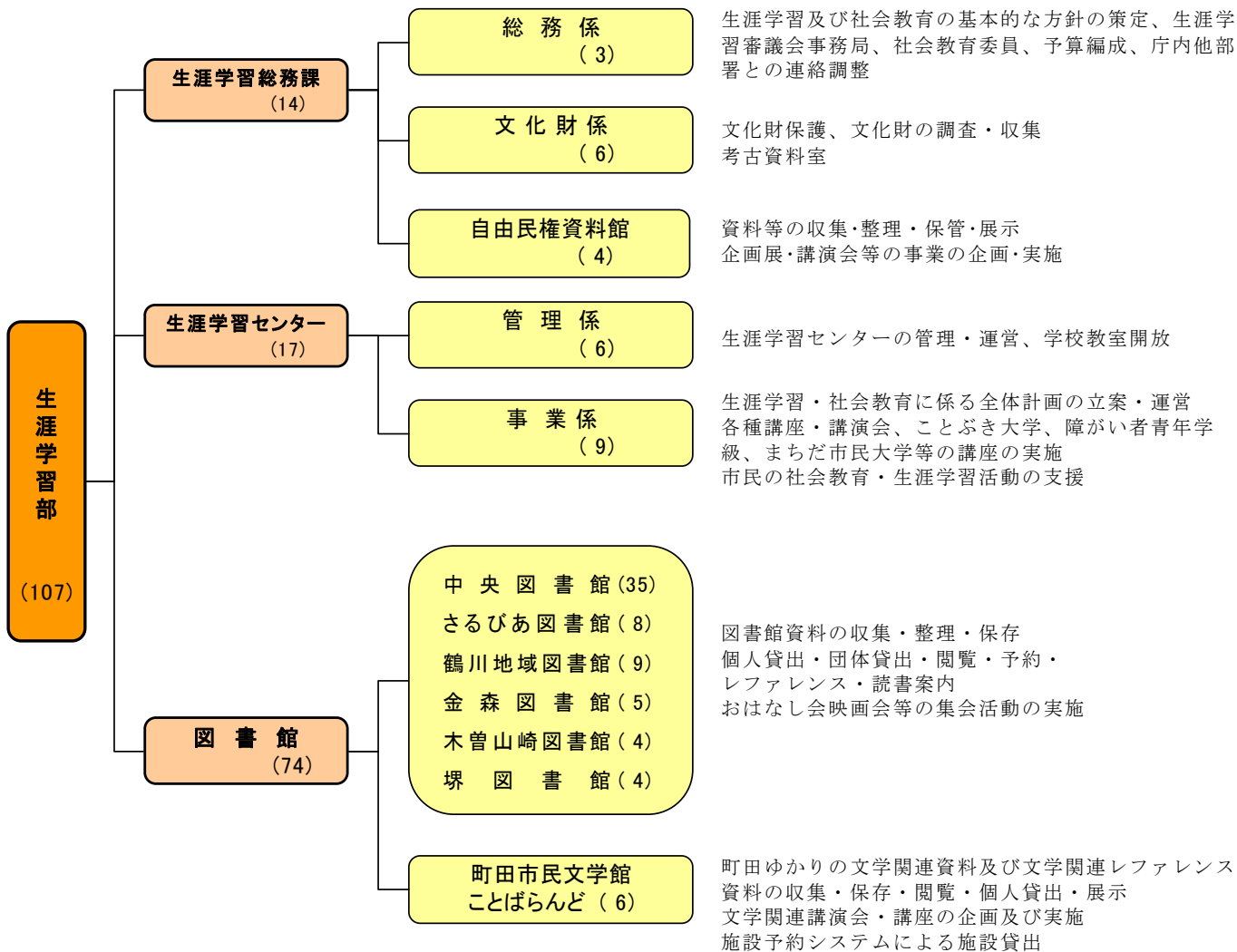
(人)

区分	教員						事務職員	栄養士	合計
	校長	副校長	教諭	栄養教諭	養護教諭	小計			
小学校	41	42	1,011	1	45	1,140	40	20	1,200
中学校	20	20	550	0	23	613	20	0	633
合計	61	62	1,561	1	68	1,753	60	20	1,833

②学校勤務職員数（市費職員）

（人）

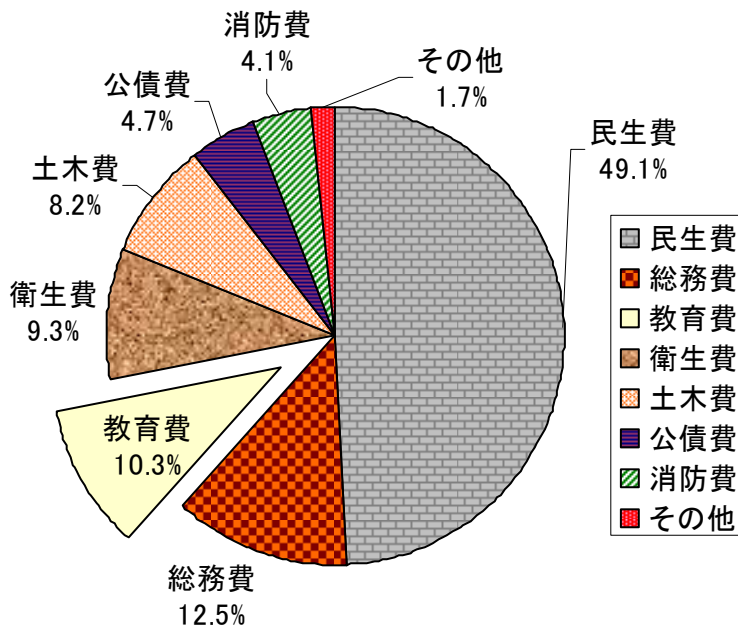
区分	学校事務	一般用務	給食調理	栄養士	合計
小学校	41	39	71	21	172
中学校	21	20	0	0	41
合計	62	59	71	21	213



5. 教育予算

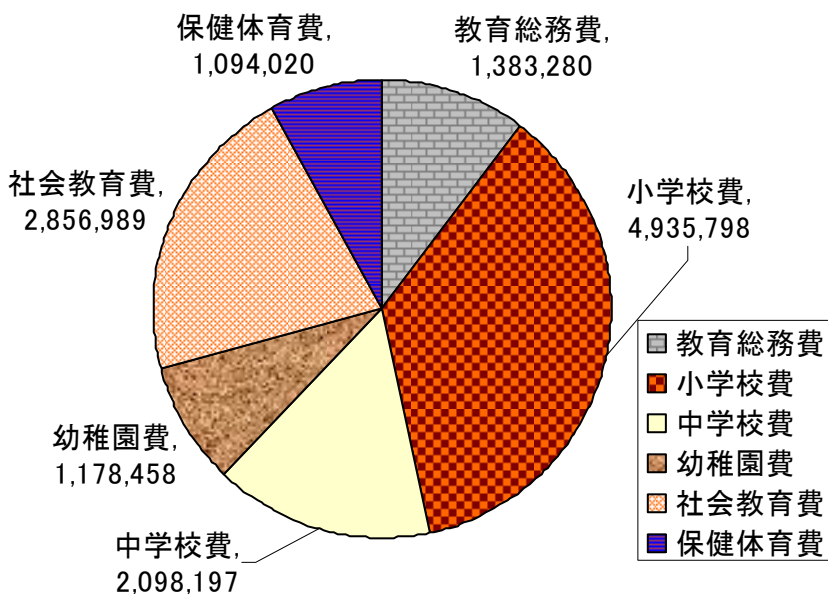
教育委員会では、教育行政を進めていく上での基本的な考え方として教育目標を設けています。この教育目標の実現に向け、予算が編成され、事業等が実施されています。2013年度の教育費に係る当初予算は、135億4,674万2千円となっています。

一般会計当初予算歳出にみる教育費の割合



款	予算額(千円)	比率
民生費	64,653,500	49.1%
総務費	16,488,044	12.5%
教育費	13,546,742	10.3%
衛生費	12,266,202	9.3%
土木費	10,857,427	8.2%
公債費	6,140,944	4.7%
消防費	5,430,589	4.1%
その他	2,266,106	1.7%
合計	131,649,554	100.0%

教育費当初予算歳出の内訳 (単位：千円)



項	予算額(千円)	比率
教育総務費	1,383,280	10.2%
小学校費	4,935,798	36.4%
中学校費	2,098,197	15.5%
幼稚園費	1,178,458	8.7%
社会教育費	2,856,989	21.1%
保健体育費	1,094,020	8.1%
合計	13,546,742	100.0%

主な事業と予算(2013年度)

【学校教育】

(単位：千円)

事業	内容	予算額
奨学金の支給	高等学校等に在学し、成績が優秀で経済的理由により修学が困難な方に月額8,700円を支給しています。	15,765
教育の研究	研究推進校(10校)研究校(10校)の研究を助成、小・中学校教育研究会への助成、校内研究会講師謝礼の支払い、国・都委託研究事業を実施しています。	10,938
学校の管理運営	小学校42校、中学校20校の教材備品の購入費、警備の委託料、光熱水費などです。	1,384,462
学校の維持	小・中学校62校の施設・設備を維持するため、修繕・補修工事等を行います。	124,102
特別支援学級の運営	小学校には、固定制として知的障がい学級を20校、肢体不自由学級を2校、情緒障がい学級を2校、通級制として弱視学級を1校、難聴学級を2校、言語障がい学級を1校、情緒障がい学級を7校、中学校には、固定制として知的障がい学級を10校、肢体不自由学級を1校、通級制として情緒障がい学級3校(1校は不登校)、難聴学級を1校設置しています。	295,444
就学の援助	市立小・中学校に在籍し、経済的理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に、学用品・通学用品費、夏季施設費、給食費などを補助しています。	389,447
特別支援学級在籍児童・生徒の保護者への補助	市立小・中学校の特別支援学級に在籍している児童・生徒の保護者に、学用品・通学用品費、給食費などを補助しています。(保護者の所得により、補助の内容が変わります)。	34,111
通学費の援助	町田市立小・中学校に在籍し、自宅から学校までの距離が小学校1.5キロメートル・中学校2キロメートル以上で、公共交通機関で通学している児童・生徒の保護者に、定期代の2/3の金額を補助しています(区域外就学者、指定校変更者(特認地区を除く。)及び通学区域緩和制度利用者は対象になりません)。	12,747
集団宿泊事業	小学5・6年、中学1・2・3年が実施する宿泊行事に対し、交通費の一部を補助し、看護師を派遣しています。(引率教員入場料も含まれる)	99,905
社会科見学の補助	小学3年生の社会科市内施設見学のバス代を補助しています。	6,426
生活指導補助者の派遣	小学校に入学したばかりの新1年生が学校生活になれるまでの約2ヶ月間、補助者を派遣します。	27,605
健康診断	学校保健法に基づき、定期健康診断を行っています。	71,599
小学校給食	単独校方式により小学校全校で完全給食を実施しています。	814,971
中学校給食	給食を希望する生徒に、業者が調理し学校に配送する弁当形式の給食(弁当併用外注給食方式)を提供するため、調理・配送等の委託をします。	121,865
学校ネットワーク	学校ネットワークの保守管理や拡張整備、インターネット通信費、教育用パソコンの整備などを行なっています。	342,070
学校施設の整備	校舎内部の改修や防音工事など、既存施設の整備を進めるとともに、老朽化した学校の改築を行うために基本・実施設計を行います。	1,091,864

【生涯学習】

(単位：千円)

事業	内容	予算額
自由民権資料館	自由民権運動や町田市域の歴史に関する史料を収集・整理・保管し、市民の方への公開・閲覧を行っています。また、常設展示に加えて企画展や講演会のほか、市民向け講座、図書の刊行を行っています。	24,467
文化財の保護	文化財保護審議会の運営、指定文化財（国・都・市）の保存・活用、無形民俗文化財の保護・育成、文化財図書刊行事業、埋蔵文化財の発掘調査、考古資料室の管理・市民への開放などです。	42,064
生涯学習センターの管理	施設の運営と維持・管理を行っています。	108,401
団体活動の援助	社会教育関係団体へ事業費の補助、及び講師費用の一部を補助します。	1,475
学校の教室開放	市民の生涯学習の場として、小学校3校、中学校1校の特別教室を市民団体に開放しています。	2,720
公民館事業	市民講座、市民企画講座などの各種講座、講演会を開催しています。	2,578
ことぶき大学	高齢者の学習と交流の場です。	1,216
障がい者青年学級	知的障がいを持つ青年が社会の中で豊かな生活を築くため、「生きる力、働く力」の獲得を大きな目標のもと「自治」「生活づくり」「文化の創造」の3つを柱として事業を展開しています。	8,299
まちだ市民大学 HATS 事業	通年、前期、後期に分け講座を開催しています。	5,040
さがまちコンソーシアム連携事業	(社)相模原・町田大学地域コンソーシアム(略称：さがまちコンソーシアム)に加盟し、講座の開催や地域情報紙の発行等を行っています。	5,500
家庭教育支援事業	家庭教育を支える担い手となる人材や団体の育成及び現役の子育て世代を対象に家庭教育に関する講座等を実施しています。	3,650
図書館の管理運営	中央図書館、さるびあ図書館、鶴川駅前図書館、鶴川図書館、金森図書館、木曾山崎図書館、堺図書館の管理運営費と図書購入費が主なもので、新規事業として、(仮称)忠生図書館用の資料購入費と、ICタグシステム導入の準備を行います。	690,737
文学館の管理	町田市民文学館ことばらんの維持管理及び施設の貸出を行います。	35,831
文学館の事業	4回の展覧会、講演会及び講座等を開催します。また、町田ゆかりの文学者に係わる資料等を収集すると共に資料の貸出・閲覧を行います。	18,858



学校教育



(1) 学級編制

市立小・中学校の学級編制については、毎年度、4月1日を基準日として、町田市教育委員会が定める「学級編制基準」に従い、行うことになっています。

町田市では、1985年度まで小・中学校全校において全学年が「45人学級」で編制されていましたが、小学校においては1986年度から、中学校においては1989年度から、それぞれ第1学年が「40人学級」となり、1991年度からは、小・中学校の全学年が「40人学級」で編制されることになりました。

以後、この「40人学級」での編制が続きましたが、2011年4月の「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の改正に伴い、東京都教育委員会の「学級編制基準」が改正され、2011年度より、小学校第1学年においては「35人学級」編制となりました。

また、2012年度から小学校第2学年、2013年度から中学校第1学年においても「35人学級」編制となりました。

(2) 学級数及び児童・生徒数

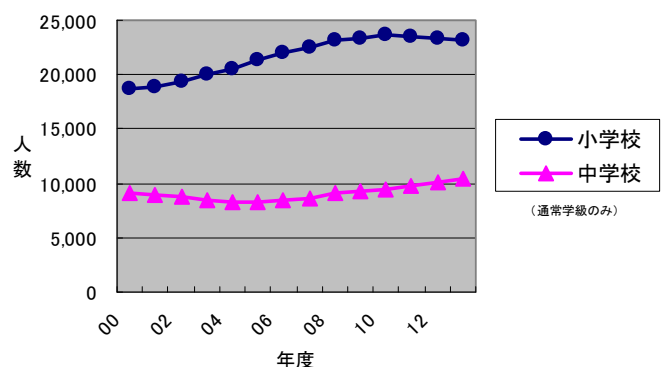
2013年度の学級数及び児童・生徒数は、5月1日現在、小学校においては、通常学級726学級、児童数23,259人、特別支援学級52学級、児童数331人となっており、中学校においては、通常学級291学級、生徒数10,398人、特別支援学級30学級、生徒数197人となっています。

(3) 児童・生徒数の推移

市制が施行された1958年は、人口60,957人、小学校12校で児童数8,766人、中学校6校で生徒数3,460人でした。その後、高度経済成長期を迎え、都心から郊外へと人口移動がみられる中で、町田市は都心から比較的近距离であり、交通の利便性のあるベッドタウンとして注目され発展しました。とりわけ1960年代後半から1980年代前半にかけては、大規模集合住宅が相次いで建設され、急激な人口増加を生み、児童・生徒数は年々増え続け、児童数は1980年に36,928人(41校)、生徒数は1985年に17,689人(20校)と、それぞれピークに達しました(児童・生徒総数のピークは1982年の51,769人)。

その後、出生率の低下等により、児童・生徒数は減少傾向となりましたが、マンション建設や宅地開発等により、児童数は2001年度、生徒数は2006年度から再び増加傾向となりました。さらに、区画整理事業による市内周

児童・生徒数の推移(各年度5月1日現在)



縁部の開発等により、地域によっては急激に児童・生徒数が増加してきました。

しかし、近年では児童数が再び減少傾向に転じています。

(4) 通学区域緩和制度（旧学校選択制度）

通学区域緩和制度（2013年度より名称変更）は、入学に際し、保護者やお子さんが指定校以外の小・中学校への入学を希望できる制度です。学校を希望できる対象学年は、翌年度に入学する新小学1年生、新中学1年生で、2年生以上の児童・生徒は対象になりません。町田市では2004年4月入学者から実施し、多くの児童・生徒がこの制度により希望の小・中学校に入学しています。

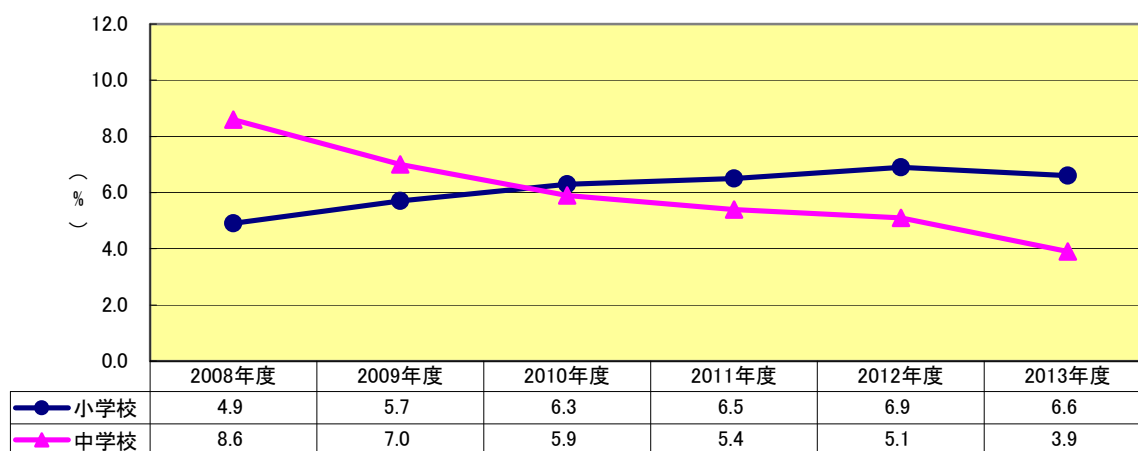
その後、2011年7月には「町田市立学校選択制度等検討委員会」を発足し、制度の在り方について再検討を行いました。

その結果、児童の通学上の安全を確保するために、小学校については、自由選択制から隣接区域選択制への変更等を行い、2013年度入学者より運用を開始しました。

通学区域緩和制度入学状況（各年度入学時点）（人）

区分		年度				
		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
新小学 1年生	入学児童数	3,844	3,891	3,715	3,732	3,742
	うち希望者数	219	246	241	259	246
新中学 1年生	入学生徒数	3,051	3,194	3,448	3,381	3,528
	うち希望者数	214	187	185	173	139

通学区域緩和制度利用率



情報化、国際化が進み、急激な社会変化の中をたくましく生き抜くことのできる児童・生徒を育てることが重要です。この変化に対応するためには、生涯を通して学び続けていこうとする学習意欲の育成が大切であり、学校教育では十分な基礎学力をつけるとともに、課題を自らの力で発見し解決する能力や学んだことを生活に生かす力を高める必要があります。

(1) 教科指導

① 理科教育—科学教育センター

児童・生徒の科学的態度・能力・技術の向上や創造力の育成を目的に、小学校は高学年を対象に、中学校は2年生から希望を募り、土曜日の午後に研究活動を行っています。

小学校は4月から翌年2月まで小山田南小学校を会場として実施し、中学校は6月から12月まで、指導教員の所属する学校で持ち回りによって実施しています。

閉講式には、それぞれ研究の成果を発表しています。2012年度の実施内容については教育センターのページで紹介しています。(p.37 参照)

② 外国語教育—外国語指導補助者の配置

英語教育の向上と国際理解教育の推進のため、外国語指導補助者（A L T）を1987年度から全中学校に配置しています。生徒は生きた英語とA L Tと交流することで、英語学習の効果を高めるとともに、他国の文化の理解に役立っています。また、小学校では2002年度から全校に配置し、年間を通してA L Tとふれあう体験活動を行っています。

2012年度 外国語指導補助者（A L T）活動実績

	A L T人数		時間数	1校あたり平均
小学校	12人		8,673時限	206.5時限
中学校	5人		2,655時限	132.7時限

(2) 領域指導

① 遠足（旅行）・集団宿泊的行事

町田市の宿泊施設である長野県川上村の自然休暇村や相原町の大地沢青少年センター等を利用して、移動教室を実施しています。恵まれた自然の中で体験を重視した様々な活動を行っています。

また、修学旅行や特別支援学級の宿泊訓練、教育課程に準じた活動として夏季休業中に林間学校等も行っています。



自然休暇村

② 安全指導

学校教育において、児童・生徒が安全でいきいきと活動できることが何よりも重要です。そのため、全教育活動を通して、生命の大切さを指導し、安全についての理解を図り、自ら進んで安全を守る能力と態度を育てるよう努めています。

○ 防災指導

市立小・中学校では、月1回の避難訓練日を教育課程に位置付け、学校生活のあらゆる時間帯での地震・火災等を想定して、避難の方法や行動の仕方を確実に身に付けさせるための訓練を行っています。なお、3月は大地震を想定した避難訓練です。

また、毎年9月1日の「防災の日」に、避難訓練を行っています。小学校では保護者への引き渡し訓練、中学校では下校計画に基づいて帰路の安全を確認の上、帰宅方面別に集団下校を行っています。

授業においては、「3.11を忘れない」（防災教育補助教材・東京都教育委員会作成）を活用した指導を当該学年で行っています。

○ 交通安全指導

交通安全に関する知識・理解・態度の育成を図るために、都教育委員会発行の「安全教育プログラム」等を活用するなどして交通事故の防止に努めています。

通学路の点検及び改善については学校、PTA、市教育委員会が協力して行い、児童・生徒の登下校における安全確保を図っています。

(3) その他

○ 環境教育

私たちの生活は、環境との調和の上に成り立っています。しかし、現在、さまざまな環境問題が地球規模で発生しています。この問題を自分のこととして受け止め、自分のことから解決の方策を探り、実践していくことが大切です。

市立小・中学校では、総合的な学習の時間、各教科、特別活動、道徳などの学習で環境について積極的に取り上げ、さまざまな活動に取り組んでいます。

市内の小・中学校において行った主な環境教育として次のような取組が挙げられます。

- ・ 人のいない教室の電気は消すなどの節電
- ・ 水道の出しっぱなしをしないなどの節水
- ・ 燃えるごみ、燃えないごみ等を分別
- ・ ごみの減量化（紙の回収・残飯の減量等）
- ・ 学校農園等で花や野菜などの栽培活動



節電の呼びかけ



緑のカーテン

学校図書館は、自由な読書活動の場として、学びの場として、子どもの成長を支える重要な拠点です。学校図書館をよりよいものとし、子どもたちの読書環境を充実させることで、豊かな知性や感性を養い「生きる力」を育てていきます。

(1) 学校図書館の現状

学習指導要領では、「思考力・判断力・表現力等の育成」のために「言語活動の充実」や「探求的な学習活動」が求められています。そこで、各教科・領域の授業の中で学校図書館の資料・機能を計画的に活用することがこれまで以上に求められています。

(2) 学校図書館の役割

① 「読書センター」としての役割

様々な本との出会いは、児童・生徒の知性や感性を育む上で大きな意味をもちます。

学校図書館は、児童・生徒が自由に好きな本を選び、静かに読みふける場所を提供したり、様々な本を紹介して読書の魅力を伝えたりできる、身近な読書センターです。

② 「学習・情報センター」としての役割

児童・生徒に「生きる力」を身に付けさせるためには、自ら課題を解決する学習を行うことが大切です。

学校図書館は、書籍や新聞などから必要な情報を収集し、自分の考えをまとめて、発表するなどの主体的な学習活動を支援するための拠点として、その威力を発揮します。



市内小学校の学校図書館



市内中学校の学校図書館

(3) 町田市の実践

① 学校図書館充実委員会の設置

学校図書館の充実を図るために、学校及び市立図書館、教育委員会が協働し「学校図書館充実委員会」を設置しています。

司書教諭と図書指導員の連携や教職員の研修のあり方、推薦図書について検討し、その内容が各学校に理解されるよう普及・啓発活動を行っています。

② 図書指導員の配置

学校図書館の充実を図るため、全校に図書指導員を配置しています。図書指導員は、蔵書管理、

図書館の環境整備、教育指導支援（読み聞かせ、ブックトーク、委員会支援、調べ学習支援など）等を行っています。

③ 教員等の研修の充実

学校図書館に関する研修を年4回開催しています。対象は、司書教諭、学校図書館担当教諭、初任者教諭及び図書指導員です。大学教授や市立図書館・文学館職員からの実践事例紹介や、ワークショップ、ブックトークの実演などを通じて学校ですぐに役立つ研修を行っています。



ワークショップの様子

④ 市立図書館との連携

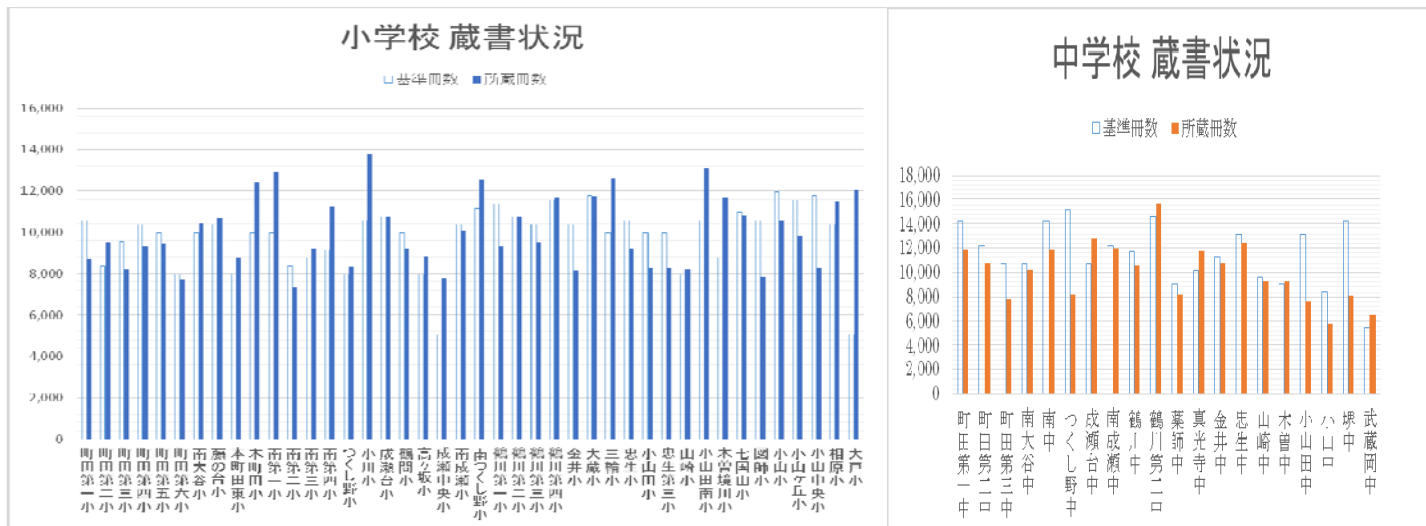
児童・生徒や学校の多様なニーズに応えるため、市立図書館が行っている学校図書館支援貸出を積極的に利用しています。

また、児童・生徒が図書館に行って調べ学習をしたり、市立図書館職員を学校に招き、授業で読み聞かせやブックトークをしたり、市立図書館の豊富な蔵書や知識・技能を有効活用しています。

(4) 学校図書館蔵書状況

文部科学省は平成5年に学校図書館図書標準を策定し、学級数に応じて整備すべき蔵書数を定めましたが、町田市の場合、2012年度末時点でこの学校図書館図書標準に達成している学校の割合は小学校42校中20校、中学校20校中5校にとどまっております、図書標準の達成が求められます。市立小・中学校の学校図書館蔵書状況は下記のとおりです。

学校図書館蔵書状況（2012年度末現在）



すべての児童・生徒が家庭、学校、地域でいきいきと活動し、相互に信頼し合う温かい人間関係を築くことが児童・生徒の健全育成にとって大切なことです。このような環境により、一人一人の児童・生徒のもつよさや可能性を最大限に伸ばし、人格のよりよい発達が図られます。学校では校長がリーダーシップを発揮しながら、教職員が一体となって「生活指導」の充実を図っています。

(1) 進路指導

児童・生徒が自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力と望ましい勤労観、職業観を身に付けることができるように指導内容、方法の改善、充実に努めています。中学校では、様々な職場を生徒が訪問し、そこで働く人から直接指導を受ける「職場体験」も実施しています。



和菓子屋で職場体験中の中学生

(2) 禁煙・薬物乱用防止に関わる指導

市立小・中学校では、健康教育の一環として、禁煙・薬物乱用防止に関わる指導に取り組んでいます。この時期の児童・生徒は心身ともに大きく成長します。その成長過程で喫煙することは、児童・生徒の健康を著しく害するばかりでなく、薬物乱用への足がかりとなる場合も少なくありません。

そこで各学校では、スライドやビデオを教材として、喫煙や薬物乱用が生命に関わる危険をはらんでいることを指導し、喫煙や薬物のない生活を送る態度を育てられるように配慮しています。



(3) 生活指導補助者派遣

小学校に入学したばかりの新1年生が、スムーズに学校生活に慣れることができるように約2ヶ月間、学級担任の補助者として生活指導補助者を派遣しています。登下校の指導、学校での約束事や学習規律の徹底、清掃・給食・安全指導補助など、学級担任と打ち合わせを行いながら必要な指導の補助を行います。

町田市教育研究所及び教育相談所は、個別にそれぞれの事業を行ってきましたが、町田市の教育を一層充実・発展させるため、指導課教育センター係として組織を整理統合しました。2004年6月、旧忠生第四小学校新館側校舎建物のリニューアル工事の完成とともに町田市教育センターとしてスタートしました。

(1) 施設概要

- 所在 町田市木曾東3-1-3
- 構造 鉄骨造 地上4階
- 施設面積 2,821.75㎡



(2) 研究・研修部門

① 調査研究

教育課程や課題についての各種調査や研究、統計処理等を行っています。また、小学校3・4年生が使用する社会科副読本『わたしたちの町田』の改訂に伴う統計資料等を収集し、編集委員会とともに改訂作業を行っています。

② 各種研修会の実施

小中学校教職員の資質や能力の向上のために、「授業力・教育課題研修会」、「特別支援教育に関する研修会」、「パソコン実技研修会」のほか、各種研修会を行っています。

[※2012年度実施状況は、p. 51、52に記載。]

③ 学校支援のための巡回訪問・指導の実施

新しい障がい教育・特別支援教育が2007年度から実施され、新年度への移行を円滑に図るため、特別な支援を要する児童・生徒に対するサポート体制の構築をしています。

これは、特別支援学校や特別支援学級に在籍する児童・生徒だけでなく、小中学校の通常学級に在籍するLD、ADHD、高機能自閉症等の児童・生徒も対象になります。

○ 特別支援教育専門家チーム

専門員(2~3名)による、授業参観後の事例相談や校内研修での特別支援教育についての講義などを開催しています。当該児童・生徒の発達障がいの状況や課題に関する意見や判断、当該児童・生徒に必要な支援、配慮等を踏まえた学習指導や生活指導の具体策、当該児童・生徒の保護者への支援にかかる方策、学校の組織的取組に関する改善策などについて指導・助言を行なっています。

○ 特別支援教育巡回相談員

通常の学級における特別な配慮を要する児童・生徒に関する各校の実態を把握し、該当児

童・生徒への指導や管理職、特別支援教育コーディネーター、担任等への助言や、相談を受けます。

また、特別な配慮や支援を要する児童・生徒への指導について、専門家チーム、関係諸機関への連絡・相談を円滑に行えるようにします。

○ 特別支援教育巡回指導員

心理系の大学院生や既卒者である指導員を月に 2～4 回学校に派遣し、通常学級に在籍する特別支援や配慮を要する児童・生徒に対する指導補助や心理的側面からの支援方法を協議します。

○ 特別支援学級専任相談員

通常学級に在籍し、特別な配慮が必要な児童・生徒への指導方法や対応についての助言を行います。また、特別支援学級の指導内容や方法について必要な助言を行います。

○ 教育アドバイザー訪問


初任から 4 年次までの全ての若手教員を対象に、授業観察を通じた訪問指導などを実施し、「授業力の向上」を図っています。



(3) 教育相談部門

① 教育相談の実施

市内の児童・生徒及び幼児の様々な教育上の問題について、専門の相談員が本人、保護者、学校・保育園・幼稚園関係者の相談に応じています。主な相談内容は、不登校、いじめ、体罰、集団不適応、友人関係、発達の問題、学習に関する事、生活面に関する事などですが、その他様々な子どもの教育に関するあらゆる相談に応じています。

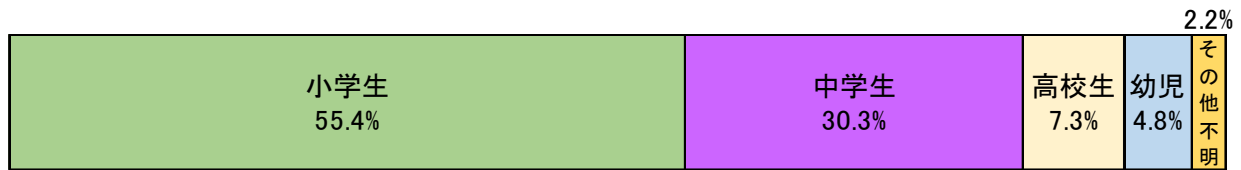
区 分	相談日時	場所	担当	問い合わせ・予約
来所相談	月～金曜日及び第1・第3土曜日 午前8時30分～正午 午後1時～午後5時 ※ 予約制	教育センター	教育 相談員 (心理)	7 9 2 - 6 5 4 6
出張教育相談	「広報まちだ」にてお知らせ ※ 予約制	市民センター (なるせ駅前、 南、鶴川、忠生*、 堺、小山)	教職 経験者	
電話による 教育相談	月～金曜日 午前9時～正午 午後1時～午後4時30分		教職 経験者	7 9 2 - 6 5 4 8

*2013年度は山崎小学校にて実施

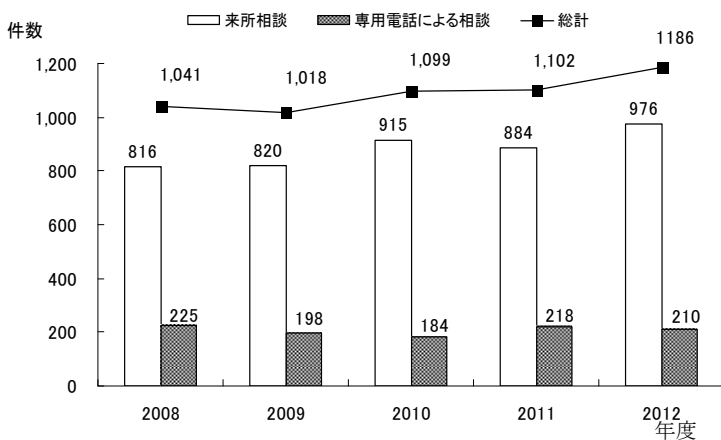
2012 年度 相談件数

相談内容	来所相談（出張相談含む）					電話 相談	合計 (件)
	就学前	小学生	中学生	高校生	その他		
不登校	4	133	172	41	10	48	408
発達障がい	15	159	46	2	2	18	242
育て方等	1	4	4	6	1	19	35
落ち着きなし	9	71	5	1	0	23	109
いじめ	0	11	3	0	0	14	28
学校等との関係	2	6	9	4	1	17	39
進路	3	6	6	1	1	10	27
知的発達	3	50	17	1	1	6	78
友人関係	0	7	1	0	0	9	17
反社会的行動	0	17	12	6	0	10	45
その他	12	74	23	4	9	36	158
合計	49	538	298	66	25	210	1186

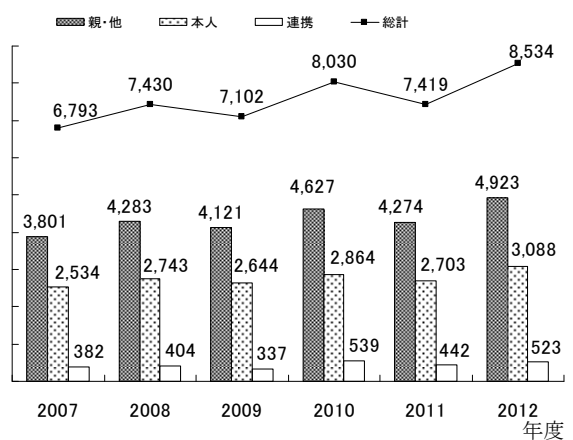
相談の対象年齢別割合（2012 年度）



相談件数の推移



相談回数（延）の推移



② 学校・関係機関との連携

学校、病院その他専門機関と連携を図り、相談活動を行っています。

子育て支援ネットワーク連絡会、町田第三中学校相談学級との連絡会など地域の各機関との連携を図るため、様々な会議に参加しています。

また、小・中学校の校内研修への教育相談員を講師として派遣しています。

(4) 小学校適応指導教室「けやき教室」

市立小学校に在籍する児童の中には、心理的な要因により学校へ行きにくい、または実際に登校できない状態にあるなどの児童がいます。そのような児童の学校復帰に向けた支援を目的として、2003年度に開設された教室です。

開設時間は、月曜日から金曜日の午前9時から午後3時までの間で、児童の状況によって保護者と相談の上、指導内容を決めていきます。指導内容は、社会性、協調性を育

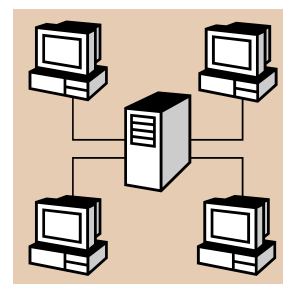
てるための体験的活動や学習内容の補充、生活リズムの調整、自信を取り戻すための励ましなど、一人一人の児童の実態に合わせて指導を進め、学校への復帰のための援助を行っています。

けやき教室通室児童数（正式入室児童）

年 度	人 数
2010年度	10
2011年度	12
2012年度	14

(5) 情報教育部門

2005年度を初年度として、全市立小・中学校と教育センターを結ぶネットワークシステムを構築し、学校におけるパソコン利用環境の整備を行っています。パソコンルームや教職員用パソコンなどの機器整備を始め、システム全体の運用管理及びシステムの利用サポートを行い、学校教育における情報通信技術の活用を推進しています。



(6) 庶務部門

① 帰国・外国籍児童・生徒の日本語指導

教育センターでは、市立小・中学校に在籍する外国籍児童・生徒及び帰国児童・生徒のうち、希望者に対して日本語指導を中心とする特別指導・相談を行っています。

2012年度外国籍児童・生徒に対する日本語指導

区 分	人 数	時間数
小学校	19	826
中学校	5	220

② 教育資料等の整備・貸出

教育図書、教育資料の整備・保存及び所蔵資料の分析と教育図書の市内小・中学校への貸出しを行っています。

③ 科学教育振興－科学教育センター

児童・生徒の科学的態度・能力・技術の向上や創造力の育成を目的に、小学校は高学年を対象に、中学校は2年生から希望を募り、土曜日の午後に研究活動を行っています。

運営及び内容については小学校と中学校の校長会が委託を受けて行っています。小学校は4月から翌年2月まで、小山田南小学校をメイン会場として、年に18回実施しています。中学校は7月から12月まで、指導教員の所属する中学校の持ち回りによって、年に10回実施しています。

閉講式には、それぞれ研究の成果を発表しています。

2012年度 第53回 小学校科学教育センター年間計画の抜粋

テーマ	回数	内容
開・閉講式、研究発表	3	オリエンテーション、研究発表会など
基礎研究	4	出前授業、研究課題の決定に向けての研究
自由研究	5	個人研究課題の追究
野外自然観察	6	大地沢、油壺、かしの木山などでの自然観察

2012年度 第50回 中学校科学教育センター年間計画の抜粋

テーマ	回数	内容
開・閉講式、研究発表	2	オリエンテーション、研究発表会など
物理分野	2	光センサ、レンズカメラ
生物分野	3	免疫について、カエルの解剖、植物の観察
化学分野	2	液体窒素、楽しい化学実験
地学分野	1	化石でアクセサリを作ろう



(7) 不登校による長期欠席の児童・生徒への支援体制

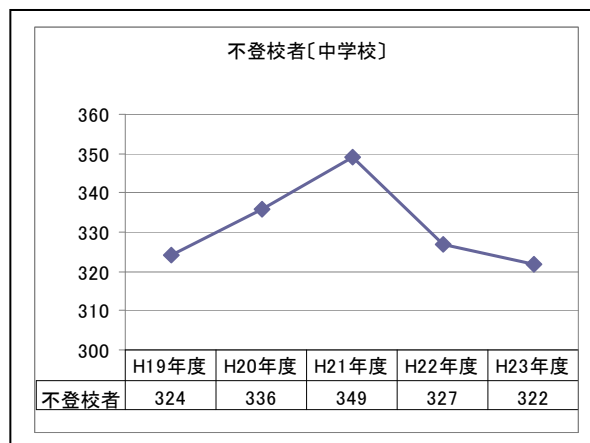
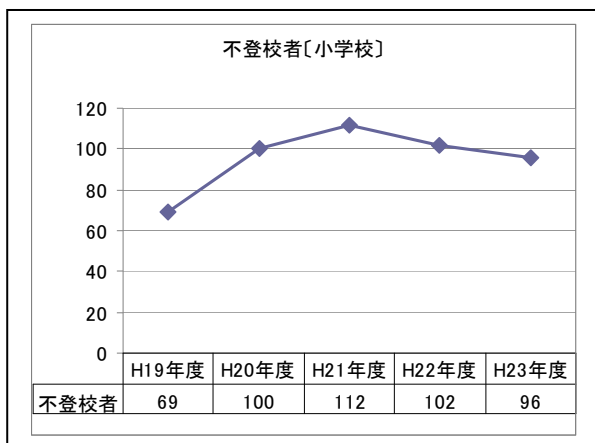
不登校問題は重要な教育課題の一つです。

教育センターでは、学校から送付された不登校と考えられる児童・生徒の欠席連絡シート等を基に学校との連携を密にし、不登校未然防止のために初期対応の徹底を図っております。各学校においては、全教師で共通理解するように努める一方、家庭との連携を深めるため、家庭訪問を積極的に行っています。

また、市教育委員会では大学と連携して、インターネットを活用した「e-ラーニング」による学習支援を行っています。さらに、教育センターでの相談活動を通して専門的助言を行うとともに、小学生を対象にした適応指導教室「けやき教室」（教育センター内）や中学生を対象にした通級指導学級「相談学級」（町田第三中学校内）とも連携するなど、学校への適応を図っています。



不登校児童・生徒数の推移（過去5年間）



○ 「e-ラーニング」による学習支援

不登校児童・生徒への対応のための事業として、2007年度から桜美林大学と連携して、e-ラーニングによる学習支援を行っています。これは、不登校の児童・生徒が自宅等のパソコンを使い、インターネット上のドリル学習を進めるプログラムです。また、学習の過程で困ったことや質問がある場合には、メールを使って大学生に相談することができます。

2012年度は、児童・生徒、保護者の希望により73名分のID・パスワードを配付しました。



(8) 教育センターの新たな取組

教育センターでは、2013年度より中学生を対象とした学校不適応生徒支援や不雑な教育上の問題解決のため、下記の新たな取組を開始しました。

① 中学校適応指導教室（くすのき教室）

小学校適応指導教室（けやき教室）に加え、新たに、心理的な要因により、不登校傾向にある生徒を対象とした適応指導教室を新たに開設し、個別指導及び小集団による体験活動を行うことで、当該生徒の居場所を作り、学校復帰に向けた社会性を向上させることで学校に復帰することを支援します。

② まちだJUKU

生徒が安心して学べる環境を確保するため、学習の妨げとなる暴力行為を繰り返す生徒に適切な指導措置を行なうために、問題行動を繰り返す生徒に対して、一定期間、個別の指導を行うことで、問題行動を改善して、健全な学校生活を送られるように支援します。

③ スクールソーシャルワーカー

支援の必要な児童・生徒に対して、家庭・学校・地域の連絡や橋渡しを行い、悩みや問題の解決へ向けた支援を行います。また、福祉的観点から、関係機関（医療・福祉等）の調整・働きかけ等、積極的アプローチを行うとともに、教職員に対して専門的助言や情報交換を行い、問題の解決を目指します。

障がいのある児童・生徒も、健常児といわれる児童・生徒と共に学ぶことで、学習への意欲や社会性などをはぐくみます。健常児もまた、同じ社会の一員として認め合い、育ち合うことの意味について理解し、思いやりの心も身に付けていきます。

人間尊重の精神を基本に学校教育を進めている町田市では、通常の学級で学ぶ児童・生徒、特別支援学級に籍を置いてその障がいや発達に応じた指導を受け、ある教科や給食などを通常の学級での交流学习をする児童・生徒、また、一定の時間に教師の訪問を受ける視・聴覚障がいの児童・生徒など、いろいろな形での指導が行われています。

(1) 児童・生徒の就学

障がいのある児童・生徒が、その程度や発達に応じた教育が受けられるよう、また、その就学手続きがスムーズに運ばれるよう就学相談を行っています。さらに、どのような教育が望ましいか、専門的、総合的立場から判断する機関として「町田市障がい児就学相談委員会」を設置しています。



① 就学相談

入学にあたり、児童・生徒の学校生活に不安を抱いている保護者から、毎年7～8月に就学相談会の申込みを受け付けています。また、就学後、その障がいの状況に変化が生じたときや、現在の学級に適応が困難となったときにも、保護者から随時相談を受け付けています。そして、就学相談委員会の所見をもとに、保護者や学校と連絡をとり、望ましい教育の場を考えていきます。

② 町田市障がい児就学相談委員会

学校、教育関係、福祉・保育関係、医療関係等の専門家により構成されています。児童・生徒の観察や診察、保護者との面接によって所見を出します。

(2) 特別支援学級

1959年に町田第二小学校に、1961年には町田第一中学校に知的障がい学級を開設しました。その後町田市では、障がい児教育を教育行政の重要課題の一つとして位置付け、その推進に積極的に取り組んできました。その結果、現在までに小学校29校、中学校13校に特別支援学級（知的障がい、情緒障がい、肢体不自由、弱視、難聴、言語障がいの6種別の学級）が設置されています。



これらの特別支援学級には、障がいの種別により、固定制、通級制、巡回制の3つの指導形態があります。知的障がい、情緒障がい、肢体不自由の固定制学級では、校内の通常の学級との授業や学校行事での交流、他校の特別支援学級や特別支援学校との連合行事も盛んに行われています。

① 知的障がい・情緒障がい学級〈固定制〉

知的な発達に遅れがある児童・生徒を対象とした固定制の学級です。

この学級では、児童・生徒の障がいや発達に合わせて、個別学習やグループ学習により、基礎的な能力を身に付ける学習や身辺自立の練習など、きめ細かい指導をしています。

また、卒業後のことも考えて、社会適応のための学習や自立活動も行っています。

なお、軽度発達障がいの児童・生徒や不登校の児童・生徒を対象とした通級制の学級も開設されています。

② 肢体不自由学級〈固定制〉

脳性マヒや進行性筋萎縮症などにより身体に不自由がある児童・生徒を対象とした固定制の学級です。

この学級では教科学習のほか、理学療法士、作業療法士による自立活動も行っています。

③ 弱視学級〈巡回制〉

治療をしても、メガネをかけても十分な視力を得ることができない児童を対象とした学級です。

児童は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、その児童の学校に弱視学級の先生が巡回訪問し、拡大鏡やレンズを使用して物の見方など、視覚をとおして物事を理解するための視知覚向上練習や、運動能力及び表現力を向上させるための練習などを行っています。

④ 難聴学級〈巡回制〉

補聴器を使用しても話し声の理解が難しい児童・生徒を対象とした学級です。

児童・生徒は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、その児童・生徒の学校に難聴学級の先生が巡回訪問し、補聴器を使用しての聴能練習、発音の指導やグループ指導を受けています。

⑤ 言語障がい学級〈巡回制〉

口蓋裂（こうがいれつ）、吃音（きつおん）、ことばの発達の遅れなどのある児童を対象とした学級です。

児童は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、その児童の学校に言語障がい学級の先生が巡回訪問し、ことばや発音の指導等にあたっています。

⑥ 情緒障がい学級〈通級制〉

情緒の不安定や社会性の未発達のため、対人関係や集団への適応に困難を示す、文字や計算など特定の分野に発達の偏りがある、などの児童・生徒を対象とした学級です。

児童・生徒は平常、在籍校の通常の学級で勉強していますが、週1日程度、指定の情緒障がい学級設置校に通い、コミュニケーション能力を伸ばす、社会性を養うなどの指導を受けています。

2013 年度特別支援学級

《小学校》

(2013 年 5 月 1 日現在)

区 分	学級数	人数	学 校 名			
知的障がい・ 情緒障がい学級 《固定制》	46	298	町田第一 藤の台 南つくし野 忠生 小山	町田第二 本町田 鶴川第二 小山田南 小山ヶ丘	町田第五 南第二 鶴川第四 木曾境川 小山中央	南大谷 南第四 金井 七国山 相原
肢体不自由学級 《固定制》	2	14	町田第六	山崎		
弱視学級《巡回制》	1	6	本町田東			
難聴学級《巡回制》	2	18	本町田東	山崎		
言語障がい学級 《巡回制》	3	41	本町田東			
情緒障がい学級 《通級制》	38	357	町田第四 忠生第三	成瀬台 函師	南成瀬 小山中央	鶴川第三

《中学校》

区 分	学級数	人数	学 校 名			
知的障がい学級 《固定制》	28	187	町田第一 成瀬台 山崎	南大谷 鶴川 堺	南 薬師	つくし野 忠生
肢体不自由学級 《固定制》	2	9	町田第一			
情緒障がい学級 《通級制》	11	91	町田第二	町田第三	小山	
難聴学級《巡回制》	1	5	町田第二			



(3) 連合行事

特別支援学級の児童・生徒は普段、少人数で指導を受けていますが、より大きな集団の中で交流することも必要です。そこで、いくつかの学級が連合して、宿泊学習、遠足、合同学習会等を実施しています。

2012年度実績

行事名	実施日	人数	場 所	備 考
町田の丘学園 交流会	2012年5月10日	250人	町田の丘学園 体育館	中学校の特別支援学級と町田の丘学園中学部の生徒が一堂に会し、スポーツで交流しています。
マラソン大会	2012年11月2日	250人	陸上競技場	中学校の特別支援学級と町田の丘学園中学部の生徒が、障がいの程度に応じて参加しています。
スポーツ交流会	2012年2月15日	200人	総合体育館	中学校の特別支援学級の生徒が一堂に会し、スポーツで交流しています。

(4) 進路一覧

中学校の特別支援学級で学んでいた生徒たちの中学校卒業後の進路一覧になります。

特別支援学級卒業生の進路一覧

進路 \ 年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
特別支援学校高等部	26	44	32	44	37	38	65	55
専修学校	3	1	1	2	0	3	3	7
職業訓練校	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉作業所	0	0	0	0	0	0	0	0
就職	0	0	0	0	0	1	0	1
高等学校	2	0	4	2	4	7	5	5
その他	0	0	0	1	3	2	1	5



7. 児童・生徒の文化・スポーツ活動 指導課

児童・生徒は学習活動や部活動等の時間における文化・スポーツ活動を通して日々自己を磨き、自己を高める活動を行っています。そして、その成果を各種大会で遺憾なく発揮し、優秀な成績を収めています。

(1) 連合行事の開催

児童・生徒が日ごろの活動成果を発表する場として次のような連合行事を開催しています。

連合行事（2012年度の実施内容）

行 事 名		実施日	場 所
小学校	合同音楽会	11/28～ 11/30	町田市民ホール
中学校	陸上競技大会	9/25	陸上競技場
	音楽会（吹奏楽）	7/25	町田市民ホール
	音楽会（合唱）	11/6	町田市民ホール
	演劇発表会	11/3～ 11/4	ひなた村



陸上競技大会

(2) 町田市公立小・中学校作品展

毎年1月～2月に国際版画美術館で、日ごろの学習活動の成果を発表しています。小学校については書写と図画工作、中学校については美術作品を展示しています。



2012年度 小学校図画工作展出品作品「恐竜」



2012年度 中学校美術展出品作品「トンボ」

(3) 各種大会への参加助成

町田市を代表して生徒が、関東、全国等の文化・スポーツの各種大会に参加・出場する場合、教育委員会では、その費用を助成しています。

2012 年度参加費助成一覧

種目	大会名	学校名
合唱	第 79 回 NHK 全国学校音楽コンクール 関東甲信越ブロック大会	鶴川第二中学校
	第 79 回 NHK 全国学校音楽コンクール 全国コンクール中学校の部	鶴川第二中学校
	平成 24 年度「こども音楽コンクール」 東日本大会	鶴川第二中学校 南中学校
	平成 24 年度「こども音楽コンクール」 文部科学大臣奨励賞授賞式	鶴川第二中学校
新体操	第 43 回関東中学校新体操大会	つくし野中学校
	第 43 回全国中学校新体操選手権大会	つくし野中学校
水泳	第 36 回関東中学校水泳競技大会	町田第一中学校
	第 52 回全国中学校水泳競技大会	つくし野中学校 小山田中学校
ソフトテニス	第 42 回関東中学校ソフトテニス大会	金井中学校
	第 43 回全国中学校ソフトテニス大会	金井中学校
体操	第 43 回関東中学校体操競技大会	南中学校
	第 43 回全国中学校体操競技選手権大会	南中学校
テニス	2012 関東中学生新人テニス選手権大会	鶴川第二中学校
	第 65 回関東中学生テニス選手権大会 (学校対抗の部)	鶴川第二中学校
	第 65 回関東中学生テニス選手権大会 (個人の部)	忠生中学校 南大谷中学校 町田第三中学校
	第 39 回全国中学生テニス選手権大会	町田第三中学校 鶴川第二中学校
バドミントン	第 43 回関東中学校バドミントン大会	鶴川第二中学校 小山田中学校
ハンドボール	第 21 回 JOC ジュニアオリンピックカップ ハンドボール大会関東地区予選会	南中学校
	第 21 回 JOC ジュニアオリンピックカップ	南中学校

陸上	第 40 回関東中学校陸上競技大会	南大谷中学校 南中学校 南成瀬中学校 金井中学校
	第 39 回全日本中学校陸上競技選手権大会	南中学校
	第 43 回ジュニアオリンピック陸上競技大会	南成瀬中学校

8. 教育のための支援

学務課

保護者の経済的負担を軽減し、教育の振興を図るため、各種の支援を行っています。

(1) 就学援助

就学援助制度は、経済的理由により就学困難な家庭の子どもたちも等しく教育が受けられるよう援助を行うものです。

対象は、小・中学校に在籍している児童・生徒の保護者で、生活保護受給世帯（要保護者）及びこれに準ずる程度に生活に困っている世帯（準要保護者）です。

2012 年度支給費目別支給額実績

支給費目	対 象					備 考
	要※	準※	学年	人数 (人)	支給額 (千円)	
学用品 通学用品費	×	○	小全学年	3,171	39,445	児童・生徒が通常必要とする学用品及び通学用品の購入費
			中全学年	1,787	40,169	
入学準備金	×	○	小1年	404	8,040	小・中学校に入学する児童・生徒が入学時に必要とする学用品及び通学用品の購入費
			中1年	524	12,023	
修学旅行費 (中学校)	○	○	中3年	636	28,720	生徒が修学旅行に参加するため直接必要な交通費、宿泊費、見学科、記念写真代、医薬品代、旅行傷害保険料などの経費
校外活動費	○	○	小全学年	3,193	7,558	児童・生徒が遠足、社会科見学等に参加するため直接必要な交通費、見学科などの経費
			中全学年	1,586	4,021	
夏季施設費	○	○	小5・6年	1,287	21,850	小学5年生（移動教室を含む）、6年生（夏休み中に実施のもの）、中学1・2年生の宿泊を伴うもので、援助対象は修学旅行と同じ経費
			中1・2年	710	24,589	
通学費	○	○	小全学年	60	1,426	通学距離が概ね小学校1.5km、中学校2km以上で、公共の交通機関を利用して通学している児童・生徒の保護者に交通費の実費（定期代を上限）を補助します。ただし、特別支援学級在籍の児童・生徒については、距離は問いません（指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除きます）。
			中全学年	94	4,565	
給食費	×	○	小全学年	3,161	124,807	児童・生徒の給食費として、保護者が実際に負担した経費
			中喫食者のみ	883	28,835	
医療費	○	○	小全学年	83	175	児童・生徒が結膜炎、中耳炎、う菌など学校保健安全法施行令第8条に規定する疾病の治療に要する経費
			中全学年	44	164	
体育実技 用具費	×	○	中全学年	178	333	中学校の体育の授業で使用する柔道着、または剣道用具の購入費

※要・・・要保護者

準・・・準要保護者

要保護・準要保護児童・生徒の推移と援助総額

年度	5月1日現在在籍 児童・生徒数(人)		認定者数(人)		受給率	援助総額(千円)
			要保護	準要保護		
08	小学校	23,387	300	3,040	14.3%	200,389
	中学校	9,231	194	1,549	18.9%	123,488
09	小学校	23,672	329	3,027	14.2%	196,348
	中学校	9,399	222	1,571	19.1%	131,480
10	小学校	23,968	388	3,192	14.9%	203,817
	中学校	9,626	232	1,733	20.4%	146,145
11	小学校	23,811	397	3,341	15.7%	202,638
	中学校	9,931	255	1,760	20.3%	146,532
12	小学校	23,672	357	3,131	14.7%	203,301
	中学校	10,258	270	1,767	19.9%	143,419

(2) 通学費補助制度

通学距離が概ね小学校1.5km、中学校2km以上で、公共の交通機関を利用して通学している児童・生徒の保護者に交通費の一部を補助します（指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除きます）。

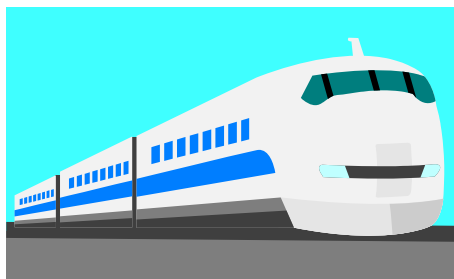
なお、1か月の定期代の2分の1だった補助率を、2013年度より3分の2に引き上げました。



(3) 校外学習への補助事業

校外学習で使用するバス借上料や修学旅行の交通費を補助しています。

区分	対象	補助内容
集団宿泊行事	小学5・6年生 中学1・2年生	移動教室等にバス借上料を補助しています。
修学旅行	中学3年生	修学旅行に交通費を補助しています。
社会科見学	小学3年生	市内施設等を中心とした社会科見学にバスを配車しています。



(4) 奨学金制度

町田市では、「町田市奨学資金支給条例」を制定し、有用な人材を育成するため、高等学校または高等専門学校へ進学する方に、修学上必要な学資金を支給しています。

制度の概要

資格	<ul style="list-style-type: none"> ・支給の日の1年前から引き続き市内に住所を有する保護者の子であること。 ・東京都内または神奈川県内に所在する高等学校等に在学すること。 ・成績優秀であること。 ・経済的理由により、修学が困難であること。 ・同種の奨学金を他から支給又は貸与等されていないこと。
支給	<ul style="list-style-type: none"> ・支給金額 (2013年4月1日現在) 8,700円以内 (月額) ・採用人員 50名以内

(5) 特別支援学級の就学奨励

小・中学校の特別支援学級に在籍している児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図るため援助を行っています。

保護者の経済状況により、支給費目が異なります。

2012 年度支給費目別支給額実績

支給費目	小学校		中学校		備 考
	人数 (人)	支給額 (千円)	人数 (人)	支給額 (千円)	
学用品 通学用品費	164	2,097	101	2,282	児童・生徒が通常必要とする学用品及び通学用品の購入費
入学準備金	20	398	31	710	小・中学校に入学する児童・生徒が入学時に必要とする学用品及び通学用品の購入費
修学旅行費 (中学校)	-	-	32	1,411	生徒が修学旅行に参加するため直接必要な交通費、宿泊費、見学科、記念写真代、医薬品代、旅行傷害保険料などの経費
校外活動費	159	517	97	295	児童・生徒が遠足、社会科見学等に参加するため直接必要な交通費、見学科などの経費
夏季施設費	50	785	32	1,147	小学5年生(移動教室を含む)、6年生(夏休み中に実施のもの)、中学1・2年生の宿泊を伴うもので、援助対象は修学旅行と同じ経費
通学費	176	1,744	112	3,525	通学にかかる費用の実費(ただし上限あり。)を補助します(指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除きます)。
給食費	162	6,467	65	1,848	児童・生徒の給食費として、保護者が実際に負担した経費
職場実習交通費 (中学校)	-	-	2	2	生徒が教育課程に従い学校長の管理のもとに、学校外の事業所等において職業教育のための実習に参加する場合の交通費
交流学习交通費	60	15	178	287	特別支援学校または他の小・中学校特別支援学級の児童・生徒と集団活動を行う場合の交通費
宿泊訓練費	288	2,707	200	3,659	特別支援学級の行事として行われる宿泊訓練に直接必要な交通費、宿泊費、見学科等
保護者付添通学費	9	529	2	65	通学に際し、児童・生徒に付添って保護者がバス・電車の交通機関を利用する場合の交通費(指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除きます)。
脳波検査料	3	1	1	4	医療機関において脳波検査を受けた場合の、保険診療の自己負担額

9. 研修・研究

指導課

「人格の完成」を目指す教育を支えているものは教員です。そのために、児童・生徒、保護者及び地域から信頼を得られるよう教師の資質の向上を常に図る必要があります。法令においても教員に対して絶えず自己研さんに励む責務を課すとともに、行政に対しても教員の研修の機会を付与する責務を課しています。町田市では、基本的な指導力及び専門的な指導力の向上を図るため、各種の研修を行っています。

(1) 研修

No.	研修名	回数	参加人数	研修の目的
1	校長研修	3	61	学校教育における諸課題を多角的に認識するとともに、その解決に必要な教職員の意識改革と管理職のリーダーシップの在り方や新しい学校づくりを目指した学校経営の在り方を探る。
2	副校長研修	3	62	副校長としての実務能力を高め、資質・能力の向上を図る。
3	新任・転任校長・副校長研修会	1	26	町田市教育委員会各課より施策の概要等を説明する
4	新任副校長研修	1	11	副校長としての実務能力を高め、資質・能力の向上を図る。
5	教務主任研修	4	62	主幹及び教務主任としての資質・能力の向上と教育課題への対応能力を育む。(2013年の度重点課題は学力向上とする。)
6	生活指導主任研修	10	62	主幹及び生活指導主任としての資質・能力の向上と校内における調整能力をはぐくむ。
7	研究主任研修	4	62	研究主任や研究担当としての資質・能力の向上を図り、校内研究の推進能力を身に付ける。
8	新任主幹教諭研修	2	16	主幹教諭としての役割を理解するとともに資質・能力の向上を図る。
9	新任主任教諭研修	1	84	主任教諭としての役割を理解するとともに資質・能力の向上を図る。
10	10年経験者研修	10 など	40	中堅教員としての資質・能力の向上を目指す。
11	授業力アップ研修 【4年次以上希望者】	8	10	授業における自己の課題を明らかにし、具体的解決策を研究する。
12	若手教員育成研修 【3年次】	3	120	2年次における研修内容を定着させるとともに、外部との連携・折衝力、学校経営力・組織貢献力について、講義や演習を通して学ぶ。
13	若手教員育成研修 【2年次】	4	120	1年次における研修内容を定着させるとともに、学習指導力、生活指導力・進路指導力を中心に、講義や演習を通して学ぶ。
14	若手教員育成研修 【1年次】	10 など	150	新任教諭に対し、幅広い知見をもたせて児童・生徒及び保護者の期待に応えることができるようにするとともに、実践的指導力を培い、教員として資質・能力の向上を図る。
15	人権教育研修	3	62	各校での人権教育推進に向け、人権に関する諸課題について研修を深める。
16	学校図書館担当者(司書教諭・図書指導員)研修	2	110	司書教諭及び図書指導員の職務についての理解を深め、学校図書館の充実に資する。
17	特別支援教育に関する研修 (教育センター)	13	62	特別支援教育を推進するため、コーディネーター、学級主任、学級担任の資質・能力の向上を図る研修を行っています。

18	授業力・教育課題研修	36	1300	授業力や新たな教育課題等への対応力を高める。
19	情報教育研修 (教育センター)	2	66	情報モラル教育の在り方とセキュリティ対策に関する知識・技術について理解を深め、教育の情報化を推進するための資質及び指導力の向上を図る。
20	パソコン実技研修 (教育センター)	17	各 20	コンピュータの操作技能を高め、授業での活用、教材作成等活用指導力の向上を図る。
21	熱中症予防対応研修	1	100	熱中症予防についての知識と具体的な対応策を理解する。
22	安全な水泳指導のための講習会	1	62	水泳指導の基本的な考え方や進め方について周知するとともに、市内小中学校における安全管理、教職員及びプール指導員等の指導力向上及び事故防止の徹底を図る。 ※水泳指導責任者が各校において伝達講習会を行い報告書を提出する。
23	市内施設視察見学研修 (教育センター)	1	150	町田市への転任者や初任者に対して、市内の諸施設を紹介し、学習にも活用できる研修を行っています。

(2) 研究

① 研究推進校・研究校・小中一貫教育モデル校

研究主題を掲げ、全校体制で実践、研究にあたる学校を研究推進校に指定し、その研究費を助成しています。また、各教科等の指導法や評価についての研究を進める学校や、文部科学省、東京都教育委員会等の研究指定を受けている学校等を研究校に指定しています。

また、町田市立小・中学校全体の学力向上を図るために2013年度「学力向上推進委員会」を設置するとともに、学力向上推進委員会の提案を受け、指導法の検討・開発を行う「学力向上パイロット校」を新たに設置しました。

2008年度から地域型小中一貫教育モデル校を指定し、小・中学校連携による、学習指導、生活指導に重点をおいた指導実践進めてきましたが、2013年度からは町田市立全小・中学校を中学校区を基本とした「小中一貫（連携）教育推進地区」として指定し、全市的に小・中学校が連携した教育活動を推進します。

なお、「小中一貫（連携）教育推進地区」の内5地区については、「学力向上モデル地区」に指定し、民間教育機関と連携した共同研究を通して、小・中学校9年間を見通した学力向上を図ります。

2013年度の研究推進校・研究校及び小中一貫教育モデル校は次表のとおりです。

2013 年度研究推進校一覧

学校名	研究教科・領域	研究主題
町田第二小学校	国語科	論理的に考え、書くことができる子供の育成
町田第五小学校	各教科等	自尊感情や自己肯定感を高め、進んで実践しようとする子供の育成 ～自尊感情や自己肯定感を高める視点を踏まえた各教科等の指導を通して～
南第四小学校	体育・保健を 重点に	運動の楽しさや喜びを味わい、意欲的に実践する力を身に付ける体育学習 陸上運動系 ～一人一人のよさをのばす陸上運動の指導の工夫～ 保健学習 ～よさをつなげ、実践にいかす保健学習の指導の工夫～
高ヶ坂小学校	算数科	自分の考えを伝え合い、学び合う子供の育成 ～算数科における言語活動を通して～
南成瀬小学校	社会科・生活科	一人一人が確かに考え、表現する授業の工夫 ～社会科・生活科の学習を通して～
鶴川第二小学校	音楽科・国語科 算数科・理科	論理的思考力・判断力・表現力を育てる学習指導課程 ～言語を充実した指導法の工夫～
七国山小学校	算数科	どの子にも「わかる・できる」授業づくり ～授業のユニバーサルデザインを取り入れた指導の工夫～
小山小学校	生活科・総合的な 学習の時間	地域に学び、地域に生きる小山っ子 ～探求的な学習における学習活動の工夫～
小山ヶ丘小学校	体育科 保健・食育	意欲的に運動に取り組み、できる喜びを味わう子の育成 ～技能の習得と体力の向上をはかる指導法の工夫～
ゆくのき学園	各教科等	同一校舎型の小中一貫教育 ～児童・生徒の基礎学力向上と体験的活動の充実～

2013 年度研究校一覧

学校名	研究教科・領域	研究主題
町田第三小学校	生活科・理科	科学的な見方や考え方を育てる指導法の工夫
つくし野小学校	体育科	生きる力を育む心と体の健康づくり ～運動の楽しさや喜びをあじわう体育学習～
小川小学校	体育科	心も体も健康な子ども ～体育科・健康教育を通して～
鶴川第一小学校	算数科	自ら学び、よく考える子供の育成 ～主に算数の学習を通して～
小山田小学校	国語科・算数科	考える子どもを育てる指導法の工夫
相原小学校	体育科	できる喜びを味わわせる体育科授業の工夫
町田第一中学校	各教科等	学び続ける学習意欲の定着を目指した「考える力」の育成 ～話し合い活動と学習習慣の定着の取組から～
つくし野中学校	各教科等	一人一人を大切にし、確かな学力をつける指導の工夫 ～学力と体力の向上を通して～
真光寺中学校	各教科等	家庭学習、サブリ、読書活動の充実に基づく学力向上の取り組み
木曾中学校	各教科等	意欲的に学習に取り組む生徒の育成 ～関心・意欲を高める授業の工夫～



2013年度 地域型小中一貫教育モデル校

小学校	中学校	活動内容
鶴川第四小学校	真光寺中学校	小・中学校連携による、学習指導、生活指導に重点をおいた指導実践

2013年度学力向上モデル地区 ※新規事業

小学校	中学校	活動内容
本町田小学校 忠生第三小学校	町田第三中学校	民間教育機関と連携した共同研究を通して、小・中学校9年間を見通した学力向上を図る。 (共同研究の重点教科は国語、算数・数学)
町田第五小学校 南大谷小学校	南大谷中学校	
藤の台小学校 本町田東小学校	薬師中学校	
小山田小学校 小山田南小学校	小山田中学校	
小山ヶ丘小学校 相原小学校	堺中学校	

2013年度 学力向上パイロット校 ※新規事業

小学校	中学校	活動内容
南第一小学校 (国語)	町田第一中学校 (国語)	町田市立小・中学校の学力向上を図るために設置した学力向上推進委員会の提案に即した、指導法の検討・開発を行う。
町田第六小学校 (算数)	町田第二中学校 (数学)	

② 各種研究活動

○ 教育研究会

市立小・中学校の教員で組織されている研究会は、各教科・領域の研究を進めています。そして、この活動を強力に援助するための助成事業を行っています。

○ 校内研究

各小・中学校では、教員の資質向上及び各学校の課題解決のため、自主的に研究主題を設定して校内研究を進めています。この研究を集約するために研究推進校に応募する機会が多く、また、教育委員会でも奨励しています。

○ 各種委員会

教育委員会に各種委員会を設置し、町田市の教育の充実・発展を期して教育内容・方法に限らず、幅広い分野での研究を行っています。委員会には、「特別支援教育推進委員会」や「人権教育推進委員会」等があります。

○ 東京教師道場

東京教師道場は、経験豊かな教員が助言者となり、選ばれた若手教員（部員）の「授業力」の向上及び他の教員を指導する資質・能力の育成を図ることを目的に 2006 年 4 月に始まった東京都教育委員会の制度です。

授業研究や研究協議を通して、部員の授業力のみならず、助言者自らの資質・能力の向上も期待されています。部員は 2 年間にわたって継続的に研修を受け、将来の「授業力」のリーダーとなります。

町田市から 6 名の教員がリーダーとして、20 名の教員が部員として推薦され、授業をよりよいものに改善するための視点や具体的な方法を学び、積極的に研修を進めています。



学校保健は、健康診断やその他の検査を通して子どもたちの健康の保持・増進を図るという“保健管理”と、子どもたち自身に健康診断などの意義や目的を認識してもらい、自らが健康を守るという意識を育てていく“保健教育”を目的として実施しています。

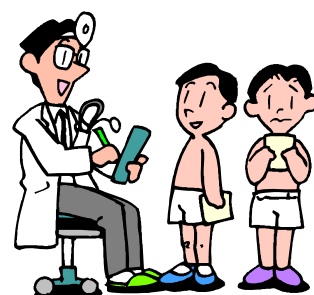
(1) 各種診断・検査

全児童・生徒を対象とした定期健康診断を毎年4～6月に実施しています。身体測定、内科、歯科、眼科、耳鼻咽喉科の検診に加え、心臓病、腎臓病、結核などの検診を実施し、病気の予防と早期発見に努めています。以下の結果表のデータは各検診実施時点のものです。

2012年度 身体計測平均値（市・都・全国平均値比較）

種別	性別	年 齢 項 目	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
			身長 (cm)	男	町田市平均	116.5	122.3	127.9	133.3	138.7	144.5
都平均	116.9	122.4			128.2	134.1	139.3	145.3	153.2	160.6	165.9
全国平均	116.5	122.4			128.2	133.6	138.9	145.0	152.4	159.5	165.1
女	町田市平均	115.5		121.3	127.1	133.2	139.9	146.6	151.9	155.6	156.8
	都平均	116.1		122.2	127.4	133.4	140.2	147.0	152.2	155.3	156.8
	全国平均	115.6		121.6	127.4	133.4	140.1	146.7	151.9	155.0	156.5
体重 (kg)	男	町田市平均	21.1	23.7	26.5	29.8	33.4	37.2	42.8	48.0	53.6
		都平均	21.3	23.8	26.7	30.5	34.4	38.3	44.5	50.3	54.6
		全国平均	21.3	24.0	27.1	30.5	34.0	38.2	44.0	49.0	54.2
	女	町田市平均	20.7	23.0	25.9	29.3	33.4	38.3	43.1	46.6	49.4
		都平均	20.9	23.6	26.1	29.5	34.0	38.7	43.3	47.4	49.4
		全国平均	20.9	23.5	26.3	29.9	34.0	38.9	43.7	47.4	49.9
座高 (cm)	男	町田市平均	64.6	67.5	70.0	72.5	74.9	77.3	80.4	84.1	87.8
		都平均	64.9	67.5	70.2	72.8	75.2	77.7	81.5	85.4	88.4
		全国平均	64.8	67.6	70.3	72.6	74.9	77.5	81.3	84.9	88.2
	女	町田市平均	64.1	66.9	69.6	72.6	75.6	79.0	81.7	83.6	84.7
		都平均	64.6	67.5	69.9	72.6	75.9	79.3	82.0	84.0	84.8
		全国平均	64.4	67.3	69.9	72.6	75.8	79.2	82.2	83.9	84.9

※都平均・全国平均は文部科学省実施「平成24年度学校保健統計調査」の結果より



2012年度 定期健康診断疾病状況

項 目			男		女		備考
			小	中	小	中	
在 籍 者 数			12,229	5,256	11,432	4,954	
受 診 者 数			12,079	5,157	11,392	4,858	
栄養 状態	(1) 栄 養 不 良		4	0	2	0	
	(2) 肥 満 傾 向		158	45	99	17	
脊柱 胸郭	(1) 脊柱側わん症・脊柱異常		26	28	37	37	
	(2) 胸 郭 異 常		21	10	4	2	
視力	裸眼 視力	裸眼視力測定者 (1)～(4)の合計	12,037	4,934	11,190	4,360	
		(1) 1.0以上	8,786	2,600	7,417	1,887	
		(2) 1.0未満 0.7以上	1,271	545	1,426	535	
		(3) 0.7未満 0.3以上	1,184	795	1,351	743	
		(4) 0.3未満	796	994	996	1,195	
	裸眼視力測定者のうち眼鏡・コンタクト装用者		799	914	1,067	1,228	
眼鏡・コンタクト装用のため矯正視力のみ測定者		160	245	212	481		
眼 疾患	受 診 者		12,137	5,138	11,380	4,822	
	(1) 伝染性眼疾患		4	0	3	0	
	(2) アレルギー性眼疾患		387	212	315	157	
	(3) その他の眼疾患		235	47	181	27	
聴力	受 診 者		8,009	3,382	7,582	3,223	
	難 聴		53	14	49	18	
耳鼻 咽喉 疾患	受 診 者		12,151	5,135	11,372	4,826	
	(1) 耳疾患		1,069	412	1,018	254	
	(2) アレルギー性鼻疾患 イ その他の鼻・副鼻腔疾患		1,445	861	892	542	
	(3) 口腔咽喉頭疾患		94	7	89	9	
皮膚 疾患	(1) 伝染性皮膚疾患		5	0	8	0	
	(2) アレルギー性皮膚疾患		546	214	521	183	
結核	受 診 者		12,216	5,190	11,410	4,888	
	(1) 結核患者		0	0	0	0	
	(2) 精密検査対象者		20	7	21	7	
心臓	受 診 者 (心電図検査)		1,920	1,725	1,826	1,638	
	(1) 心臓疾患		89	30	63	20	
	(2) 心電図異常		26	39	14	23	
検尿	受 診 者		12,205	5,180	11,409	4,819	
	(1) 尿蛋白検出		29	108	50	64	
	(2) 尿糖検出		7	5	10	3	
寄生 虫卵 保有	受 診 者		5,947	0	5,533	0	
	寄生虫卵保有者		6	0	7	0	
その 他	(1) 気管支喘息		921	344	595	200	
	(2) 腎臓疾患		15	10	14	8	
	(3) その他の疾病・異常		251	51	169	43	
歯科	(1) 歯科受診者		12,166	5,146	11,377	4,849	
	・要観 察歯	乳歯又は永 久歯のうち ア 処置完了者	3,382	1,238	3,014	1,270	
		イ 未処置歯のある者	2,939	1,042	2,557	982	
		ウ 永久歯のうち経験者	1,915	2,092	2,109	2,064	
		エ 乳歯又は永久歯に要観察歯のある者	1,197	922	1,333	996	
	(3) 歯肉 の状態	ア 歯周疾患	170	243	130	98	
		イ 歯周疾患要観察者	937	930	676	599	
	(4) 歯列・咬合の異常		340	242	368	222	
	(5) 顎関節の異常		2	3	1	9	
	(6) その他の歯・口腔の疾病・異常		261	10	196	7	
	(7) 永久歯の う歯の内容 (小学校第6学年及び 中学校第1学年のみ)	ア 未処置歯数 (D)	604	618	514	642	
イ う歯による喪失歯数 (M)		0	0	0	0		
ウ 処置歯数 (F)		726	1,010	971	1,216		

① 結核検診

2003年度より市立小・中学校の児童・生徒全員を対象に、問診票を使用して精密検査の対象者を選別し、必要な場合に重点的に精密検査を実施しています。

2012年度 結核検診状況

(単位：人)

区分	対象者	問診調査実施者	結核対策委員会要検討者数	精密検査対象者数		精密検査受検者数			結果 異常のあった者
				X線撮影	ツバクルン反応検査	X線撮影	ツバクルン反応検査	X線撮影	
小学校	23,672	23,638	118	40	1	40	1	0	0
中学校	10,258	10,200	28	14		14			0
合計	33,930	33,838	146	54	1	54	1	0	0

② 心臓検診

小学1年生と中学1年生全員と、校医が必要と認めた他学年の児童・生徒に心電図、心音図による検査を行っています。

2012年度 心臓検診状況

(単位：人(%))

区分	対象者	一次検診				二次検診	
		受診者数	異常なし	病院管理者数	要二次検診者	受診者数	要病院受診者数
小学校(1年生)	3,766	3,749	3,644	59	46 (1.2)	44	8
〃(その他)	19,906	52	42	5	1 (1.9)	1	0
小学校 小計	23,672	3,801	3,686	64	47 (1.2)	45	8
中学校(1年生)	3,440	3,415	3,322	19	72 (2.1)	66	9
〃(その他)	6,818	65	47	3	11 (16.9)	9	3
中学校 小計	10,258	3,480	3,369	22	83 (23.9)	75	12
合計	33,930	7,281	7,055	86	130 (1.8)	120	20

※ 要二次検診者率は一次検診受診者数に対するもの

③ 尿(腎臓)検査

児童・生徒全員に尿検査を実施しています。

2012年度 尿検査状況

(単位：人(%))

区分	対象者	一次検査		二次検査	
		被検査者	陽性者	被検査者	陽性者
小学校	23,672	23,640	329 (1.39)	300	136 (0.58)
中学校	10,258	10,139	497 (4.90)	462	135 (1.33)
合計	33,930	33,779	826 (2.45)	762	271 (0.80)

※ 陽性者率は一次被検査者数に対するもの

④ ぎょう虫検査

小学校の低学年（1年生～3年生）の児童に実施しています。

2012年度 ぎょう虫検査状況

（単位：人（％））

区分	一次検査			二次検査	
	対象者	被検査者	陽性者	被検査者	陽性者
小学校	11,496	11,494	13 (0.1)	11	1 (0.0)

※陽性者率は一次被検査者数に対するもの

⑤ 貧血検査

中学1年生の女子を対象に実施しています。

2012年度 貧血検査状況

（単位：人（％））

区分	対象者	被検査者	異常なし	要 経過観察 精密検査
中学校 1年女子	1,673	1,533	1,351	91 (5.9)
2年女子	1,695	57	33	16 (28.1)
3年女子	1,610	32	18	11 (34.4)
合計	4,978	1,622	1,402	118 (7.3)

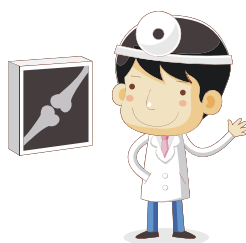
※要経過観察・精密検査の比率は被検査者数に対するもの

（2）学校環境衛生の確保

子どもたちが良好な環境の中で学習できるように、教室の照明等の検査、飲料水・プールの水質検査などを実施しています。

（3）町田市学校保健会

町田市学校保健会は、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長、養護教諭、栄養士によって構成されています。市立小・中学校における学校保健の研究及びその普及のため積極的な活動をしています。



(4) 日本スポーツ振興センター

日本スポーツ振興センターでは、学校安全の普及・充実を図るとともに、学校管理下における子どもたちの負傷、疾病などに対して給付を行う災害給付制度を設けています。町田市では、児童・生徒全員がこの制度に加入しており、その共済掛金を公費で負担しています。

2012年度 日本スポーツ振興センター加入及び医療費の給付状況

区分	加入状況 (人)	医療費の給付状況	
		給付件数 (件)	給付額 (円)
小学校	23,672	1,835	9,369,737
中学校	10,258	1,640	10,067,963
合計	33,930	3,475	19,437,700



町田市の学校給食は、1947年12月に町田小（現町田第一小）で週1回のみそ汁給食が始まりました。1955年から徐々に完全給食に移行し、1963年に鶴川地区に最初の共同調理所（1979年廃止）が設置されて、全小学校で完全給食が実施されるようになりました。現在、小学校42校で単独校方式の完全給食を実施しています。中学校においては、弁当併用外注方式により、給食を希望する生徒に対し業者が調理した給食を提供しています。また、2012年度から武蔵岡中学校は、大戸小学校との小中一貫校化（小中一貫ゆくのき学園）に伴い、自校調理による完全給食を実施しています。献立は、市の栄養士が、国・都で定める学校給食摂取基準及び食品構成に基づいて作成しています。

（1）学校給食の指導目標

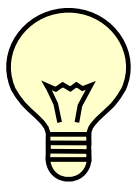
現在の学校給食は、学習指導要領で、特別活動の中の学級活動に位置付けられています。給食の指導にあたっては、食事の正しいあり方を体得させるとともに、食事を通して好ましい人間関係を育て、児童の心身を健全に発達させることを目標にしています。

（2）学校給食の栄養内容

栄養管理は、国の学校給食摂取基準をもとに町田市独自の食品構成によって行っています。献立は、安全なもの、自然なもの、手作りのものをモットーに各学校の栄養士が作成しています。

（3）学校給食の衛生管理

学校給食は、安全性の確保に特に注意し、保健所と学校薬剤師の協力を得て、衛生検査や調理員等の研修会等を開催しています。1973年度からは食品の細菌、添加物、農薬等の検査を実施しています。また、現在は給食室のドライ運用を進めています。



※ドライ運用とは・・・

給食調理施設の床に水や食品をこぼさずに、乾いた状態で調理や洗浄作業をおこなうことです。高温多湿による細菌やカビの繁殖を抑制できたり、床からの跳ね水による食品への食中毒菌の二次汚染を防いだりすることができます。

（4）学校給食施設の整備

給食施設の整備は、衛生管理の徹底、作業能率・安全性の向上を目標に実施しています。大型備品としては、食器洗浄機、食器消毒保管庫、牛乳保冷庫等を年次計画に基づいて更新しています。

2012 年度 主な学校給食施設の整備状況

学 校	整 備 内 容
山崎小学校	給食室改修工事による調理施設・機器の整備・買い替え
小川小学校	ガス立体自動炊飯器の整備
金井小学校	熱風消毒保管庫の整備
その他の小学校	大型保冷機器・高速度ミキサー・フードスライサー等の買い替え

(5) 町田市学校給食問題協議会

町田市学校給食問題協議会は、1983年4月に市民の直接請求に応じて設置されました。この協議会は、町田市の学校給食の望ましいあり方を確立するために、食事内容、食品の安全性、食生活のあり方、給食費等の諸問題を協議し、学校給食事業の適正かつ円滑な運営に寄与しています。

2012年度では「小学校給食における食物アレルギー対応について」諮問、7回にわたる協議を経て答申を受けました。町田市教育委員会では、この答申を受けて「小学校給食における食物アレルギーの手引き」を作成し、小学校給食における食物アレルギー対応を進めています。

小学校給食費保護者負担額 1食単価表示

学年 金額	1・2年生	3・4年生	5・6年生	中学生
月 額	3,600 円	3,800 円	4,000 円	300 円× 各月給食回数
1食単価	215 円	225 円	240 円	300 円

学校給食摂取基準

区 分	栄 養 量			
	児童(6～7歳)	児童(8～9歳)	児童(10～11歳)	児童(12～14歳)
エネルギー(Kcal)	530	640	750	820
たんぱく質(g) 範囲	20 16～26	24 18～32	28 22～38	30 25～40
脂 質(%)	学校給食による摂取エネルギー全体の25～30%			
ナトリウム(食塩相当量)(g)	2未満	2.5未満	2.5未満	3未満
カルシウム(mg) 目標値	300	350	400	450
鉄 (mg)	3	3	4	4
ビタミンA(μgRE) 範囲	150	170	200	300
ビタミンB1(mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2(mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC(mg)	20	20	25	35
食物繊維 (g)	4	5	6	6.5

2013年4月献立例 小学校 (抜粋)

	献立名	食品名			献立メモ
		赤 (血や肉を作る)	黄 (熱や力のもと)	緑 (体の調子を整える)	
15 月	五穀ごはん 豆腐の中華煮 芋入りナムル・くだもの 牛乳	牛乳・豆腐・豚肉	米・麦・きび・あわ・ ひえ・じゃが芋 ごま油・ごま 上白糖	人参・たけのこ・もやし 白菜・長葱・きゅうり にんにく・生姜・レソ ^ラ	「わかさぎのカラ マリネ」 三種類のビーマンで 彩りも鮮やかなマ リネです。
16 火	かしわパン 柿のアーモンドフライ ホイル野菜 きのことスープ ^ク くだもの 牛乳	牛乳・ホキ ひじき	パン・マヨネーズ しらたき・ごま油 パン粉・さとう	人参・たまねぎ・パセリ キャベツ・きゅうり だいこん・ゴボウ・長葱 エキタ ^ク ・エリンギ・シメ ^ジ レソ ^ラ	「若草団子」 白玉粉・上新粉 よもぎ・絹豆腐を 混ぜ、一つひとつ 心を込めて作り ます。
17 水	アスパラビラ ^ラ 田舎風豆スープ ^ク わかさぎのカラマリネ くだもの 牛乳	牛乳・鶏肉 わかさぎ インゲン豆 レンズ豆 ウィナー	米・油・じゃが芋 バター・でんぷん 上白糖・カシューナツ	人参・トマト・ピーマン パプリカ・ホールコーン 玉葱・ほうれん草・大根 生姜・黄桃 (缶)	「豆腐小判焼き えのきソース」 絞 ^リ 豆腐にむき えびや鶏ひき肉 などを加えてや めたものにな めたけのよう なえのきソース をかけます。
18 木	きつねうどん 竹輪の磯辺揚げ 野菜の昆布和え 牛乳 手作り若草団子	牛乳・油揚げ・豚肉 竹輪・祖のり・卵 塩昆布・豆腐 きな粉	うどん・小麦粉 油・白玉粉・上新粉 上白糖	人参・小松菜・よもぎ 長葱・玉葱・キャベツ きゅうり・大根・エキタ ^ク	
19 金	たけのこごはん 豆腐小判焼きえのきソース みそ汁 ごまあえ 牛乳	牛乳・鶏肉・油揚げ 豆腐・卵・みそ 塩昆布・むきえび じゃこ	米・上白糖・油 じゃがいも でんぷん	たけのこ・人参・キクラ ^ガ 大根・玉葱・キャベツ もやし・なめこ・小松菜	



19日(金)
のメニュー



食物繊維が取れるように、麦を少し入れます。歯ごたえもよくなってごはんの味がよくわかります。

芋入りナムルは子どもたちに大人気の料理です。じゃが芋は千切りにして揚げ、茹でた野菜と一緒に調味料と和えます。

豆腐の中華煮の豆腐は一度茹でて、中心温度を確認してから具と混ぜます。

2013年4月献立例 中学校 (抜粋)

	献立名	食品名			栄養価	
		血や肉を作る	熱や力のもと	体の調子を整える		
16 火	雑穀ごはん(梅干) 鮭の南部焼き 小松菜とたけのこの炒め物 新じゃが芋のそぼろあんかけ 切干大根のサラダ 果物(オレンジ) 牛乳	鮭 鶏肉もも ひき肉 (生)	牛乳 わかめ (乾燥、 水戻し)	精白米 押麦 黒米 きび あわ ひえ じゃがいも 砂糖 かたくり粉 ごま油 サラダ油 白ごま	ミニトマト こまつな にんじん だいこん レモン たけのこ 玉葱 えのきたけ オレンジ きゅうり グリーンピース 国産コーン 切干しだいこん	エネルギー 866kcal たんぱく質 34.5g 脂質 21.8g 食塩相当量 3.4g
17 水	ペーパーパン(ミルク&黒糖) フィッシュフライ& スパゲティソース カレーミート ひじきのサラダ 果物(みかん缶) 牛乳	しいら たまご ベーコン 豚ひき肉 だいず	牛乳 粉チー ズ ひじき	黒糖パン ミルクパン パン粉 スパゲティ じゃがいも サラダ油 有塩バター しそドレッシング	ブロッコリー にんじん こまつな 玉葱 えのきたけ グリーンピース きゅうり みかん缶 国産ホールコーン	エネルギー 808kcal たんぱく質 36.1g 脂質 25.9g 食塩相当量 3.8g



16日(火)
のメニュー



麦、ひえ、あわ、黒米などが入った雑穀ごはんです。食物繊維もたっぷり摂れます。

新じゃがいもを素揚げし、甘辛い挽肉あんをかけます。ごはんにも合います。

鮭にしょうゆ、みりんで下味を付けゴマをたっぷりまぶして焼きます。レモンをかけてさっぱり食べられます。

学校施設は、単に教育の場を提供するのみならず、児童・生徒の成長、発達そのものに深くかかわるものであり、豊かな人間性を育む環境として極めて重要です。既存の施設を良好に維持し、安全性、耐久性を確保することはもちろんのこと、新たな時代に向けて教育内容や方法が多様化する中で、それに対応した施設づくりを進めていかなければなりません。

(1) 学校施設の現状

1950年代後半の東京への人口集中に伴い、市域へも都市化の波が押し寄せ、1960年代から公団・公社をはじめとする大規模な宅地開発が進みました。その結果、児童・生徒数の急激な増加をもたらしたため、学校建設が市政の緊急かつ重要な課題となりました。こうして、既存の木造校舎の鉄筋化、体育館・プールの整備とあわせ、“新增改築の緊急時代”を迎えることになったのです。

1965年4月には、小学校16校、中学校6校であったものが、約20年の間に、小学校28校、中学校14校が新設されました。こうした集中的な学校建設は、施設の老朽化も一斉に進行することを意味しており、町田市の特徴の一つでもあります。

急激な増加をみせた児童・生徒数は、人口増加の鈍化や出生率の低下などにより、児童は1980年、生徒は1985年をピークに減少していましたが、児童数は2001年度から、生徒数は2006年度から再び増加に転じています。以前生じた余裕教室を再利用して対応していますが、それだけでは対応できず、校舎を増築する学校も出てきています。

(2) 学校施設の整備

耐震補強工事が2010年度に完了し、市立小中学校の耐震化率100%を達成いたしましたので、次の重点事業として、老朽化した施設の学習環境の改善を図ることを目的として、トイレ改修事業や防音事業を実施しております。また、空調設備につきましては現在行われている防音工事以外の全小・中学校普通教室に整備し、校庭芝生化事業も3校で実施いたしました。

今後は、建物の長寿命化や外壁、窓枠の落下防止、省エネを目指した施設改修工事を行い安全で、快適な学習環境の整備を進めていきます。



南成瀬小学校トイレ

2012 年度の主な整備実績

工事内容	小学校	中学校
トイレ改修事業	南成瀬小学校 南大谷小学校 南つくし野小学校 小山小学校	山崎中学校
普通教室空調機設置事業	小学校 35 校	
校庭芝生化事業	高ヶ坂小学校 南第四小学校 大戸小学校	
防音事業	南第三小学校（3年度目） 町田第五小学校（2年度目） 町田第三小学校（1年度目）	薬師中学校（2年度目）



大戸小学校校庭芝生

（3）学校新設事業・増改築事業

児童・生徒の増加による大規模校化を解消し、学校規模及び運営の適正化を図るため、学校新設事業を進めてまいりました。2005年4月に「小山ヶ丘小学校」、2009年4月に「図師小学校」、2010年4月に「小山中央小学校」が開校しました。これにより市立小学校数は42校となりました。

2012年4月には小山中学校が開校し、市立中学校数は20校となりました。敷地の段差を活かし、南側に保存緑地を擁した自然豊かな多摩丘陵の眺望と木々の緑の景観を楽しめる教室配置となっています。また、太陽光発電、中水利用を行うことで環境負荷の低減を図っています。

増改築事業の鶴川第一小学校は2014年度の着工を目指し、2012年度は基本設計、2013年度には実施設計を作成しています。

生涯學習



1. 生涯学習

生涯学習総務課

(1) 生涯学習審議会

教育委員会の附属機関として、2012年度より設置されています。生涯学習の振興及び社会教育に関する基本方針の立案、施策及び事業の評価について、教育委員会の諮問を受け、調査、審議し、答申をします。

委員は15人以内で、町田市社会教育委員が8人以内、生涯学習又は社会教育に関する関係機関の代表が5人以内、公募による市民が2人以内です。委員の任期は2年です。

(2) 社会教育委員

教育委員会への提言や社会教育に関する調査や審議を行います。また、青少年教育に関する特定の事項について社会教育関係団体や社会教育指導者へ助言と指導を与える職務もあります。委員の構成及び職務については、社会教育法に規定されています。

委員は8名以内で、任期は2年です。

これまで行ってきた答申・提言の一部を下表に掲載します。

社会教育委員の答申・提言

答申・提言名	日付	内容（骨子）
町田の地域活動を活性化させるための生涯学習プログラム～学校の特別教室を利用した生涯学習クラブの設立～ －提言－	2006. 4. 25	社会教育を取り巻く課題、市内の活動事例、事例を踏まえた生涯学習の方向の提示。学校の特別教室を活用した生涯学習プログラムの提言。
子ども行政一元化に向けた組織改正に関わる青少年教育について －提言－	2008. 2. 7	青少年教育施策を市長部局に移管するにあたり、施策の推進に向けた視点の提言。
今後の生涯学習施策について －提言－	2008. 4. 22	文化・スポーツおよび青少年教育施策を市長部局に移管するにあたり、施策の推進に向けた視点の提言。
町田市における生涯学習センターの機能、学習機会の提供のあり方について －答申－	2010. 3. 26	町田市の生涯学習センターの理念、機能と具体像の提示、それらの実現に向けた施策等の提案。
町田市生涯学習センターへの提言 －提言－	2012. 3. 27	「生涯学習」の再定義、町田市生涯学習センターの進むべき方向、まちづくりへの参画のためのプロジェクト、社会教育委員の役割の提言。

町田市には古代の遺跡をはじめ、先人の遺した多くの文化遺産があります。しかし、近年の宅地開発や土地区画整理により、遺跡や古い建造物などの歴史資料が失われ、また、生活様式の変化により、古くからの生活用具や伝承などの民俗資料も失われつつあります。これらの文化財は、先人の生活ぶりを正しく知るための手掛かりとなるものです。町田市では1960年、町田市文化財保護条例を制定し、失われつつある文化財の保護に努めるとともに、郷土の歴史・文化を未来へ継承するため、資料の収集、保存、展示、調査研究等を行っています。

(1) 自由民権資料館

明治10年代、全国各地で自由と権利を求めた運動が盛り上がり、薩長を中心とした明治藩閥政治に対して国会開設・憲法制定・地租軽減・自治などを要求し、その実現を目指した自由民権運動が展開されました。三多摩を含む神奈川県でも活発な動きがあり、なかでも町田市域は石阪昌孝や村野常右衛門、青木正太郎、細野喜代四郎ら有力な指導者を輩出しました。結社と呼ばれる組織がつけられ、政治学習運動が推し進められました。この運動のなかで、野津田村の村野常右衛門が私財を割き、1883（明治16）年2月に建てたのが「凌霜館（りょうそうかん）」という文武道場でした。

1984年11月にこの凌霜館跡地が子孫の方から市に寄付されたのを受け、市ではこのゆかりの地に自由民権運動を中心とした資料館を建てるとともに、隣接土地を所有する方の協力を得て、丘陵に続く貴重な緑を守っていくことになりました。1986年11月3日に開館し、1996年11月には増改築し、リニューアルオープンしました。常設展示「武相の民権／町田の民権」を行うとともに、意欲的に企画展示にも取り組んでいます。

① 施設概要

- 所在地 町田市野津田町897
- 電話 734・4508
- 構造 鉄筋コンクリート造、地下1階
地上2階建て
- 延床面積 911.15㎡

② 施設内容

- 展示施設 167.30㎡
- 収蔵施設 180.00㎡
- 閲覧室等 116.65㎡



自由民権資料館

③ 利用案内

- 利用時間 午前9時～午後4時30分
- 休館日 月曜日（祝休日、振替休日にあたる時は、その翌日）、
12月28日～翌年1月4日、特別休館日（館内燻蒸日など）

④ 資料の収集等

町田を中心としながら三多摩や神奈川県など明治10年代当時の活動範囲まで幅を拡げて 自由民権運動関係資料の収集に努めています。運動にかかわる直接の資料をはじめ、書簡、書籍、写真類、当時の新聞・雑誌、あるいは民権家の使ったゆかりの物などを収集、整理、保存、管理し、常設展やテーマを決めた企画展などを行います。

また、民権運動を対象とした論文や関連の文献なども、全国的な視点で幅広く集めています。そして、これらの資料や文献を充実させ、各地域の様々な情報を提供できる「文献センター」的な役割を果たすことを目指しています。さらに、資料館の前身の市史編さん室が収集した町田の歴史にかかわる資料、周辺地域の各自治体史や歴史書、市民活動の中から生み出された会誌・会報や記録類、ミニコミ・ローカル紙、自費出版物などの市民資料も同時に収集し、閲覧できる体制を整えています。



自由民権資料館閲覧室

2012年度 展覧会一覧

展覧会名	会期日数（日）	入館者数（人）
常設展示 「武相の民権／町田の民権」	296	5,665
企画展示 「絵図でみる町田 -Part 2-」	44	1,095
企画展示 「あるく郷土史家、天野佐一郎」	44	1,352
企画展示 「新指定文化財特別公開」	68	1,076
企画展示 「絵はがきに見る近代」	44	797

（2）考古資料室

当資料室は、市内の遺跡から発掘された遺物や調査の記録類の保管を主な目的として、1991年3月に竣工しました。

① 施設概要

- 所在 町田市下小山田町4016
- 電話 797・9661
- 構造 鉄筋コンクリート造、2階建て
- 延床面積 482.18㎡

② 施設内容

- 収蔵庫 219.8㎡
- 実習室 76.5㎡
- 撮影室 13.34㎡



考古資料室

○ 展示室 35.0㎡

③ 利用案内

○ 開館日

7・8月 土・日曜日・祝休日

7・8月以外 第2・4土・日曜日、祝休日（12月28日～翌年1月4日は休館）

○ 利用時間 午前10時～午後4時

（3）文化財の保護

文化財とは、人間と自然が遺した文化的な遺産であり、歴史上、学術上、芸術上など、様々な観点から優れた価値をもつ「有形の財」「無形の技・芸」です。

① 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、文化財の選定や文化財保護に関する教育委員会の諮問に応じて、調査、審議及び建議するもので、文化財保護条例により設置されています。文化財に関し広くかつ高い識見のある方10名以内で構成されることになっています。

② 埋蔵文化財の調査等

町田市域は遺跡の宝庫です。これまでに約1,000箇所の遺跡が確認されています。これらの遺跡は、開発によって常に破壊の危機にさらされています。開発に際しては、包蔵地についてはできる限り保存するように指導を行っていますが、これが不可能な場合は事前に調査、記録保存を行っています。

③ 指定文化財

町田市内には、多くの重要な文化財が残っています。それらのいくつかは、次ページ表のとおり、国や都そして市の指定文化財になっています。

町田市の指定文化財

区 分	名 称	所 在 地	指定年月日
国・重要文化財	旧永井家住宅	野津田町 3270 薬師池公園内	S53. 1. 21
都・有形文化財	妙福寺祖師堂	三輪町 811 妙福寺	S36. 1. 31
	無極和尚坐像	下小山田町 332 大泉寺	S36. 1. 31
	観世音菩薩立像	小山町 2524 福生寺	S36. 1. 31
	旧荻野家住宅	野津田町 3270 薬師池公園内	S49. 8. 1
	異形台付土器(2点)	本町田 3562 市立博物館内	S50. 2. 6
	旧多摩郡小野路村名主小島家文書	小野路町 950 小島資料館	H 5. 3. 22
	小野路組合農兵隊関係資料	小野路町 950 小島資料館	H12. 3. 6
市・有形文化財	十六羅漢図	小山町 3629 宝泉寺	S39. 11. 25
	長福寺山門・文珠堂・本堂格天井花丸絵画	相原町 2109 長福寺	S48. 3. 8
	清水寺観音堂・鐘楼・水屋	相原町 701 清水寺	S48. 3. 8
	青木家住宅	相原町 810	S52. 2. 23
	神蔵家住宅	金井 8-26-2	S52. 2. 24
	妙福寺本堂・鐘楼門・高麗門(総門)	三輪町 811 妙福寺	S59. 2. 24
	天神社本殿	南大谷 451 天神社	S59. 2. 24
	阿弥陀三尊像	原町田 3-5-12 勝楽寺	S60. 4. 17
	阿弥陀三尊像	本町田 3654 養運寺	S60. 4. 17
	阿弥陀如来坐像・地藏菩薩立像	相原町 3729 円林寺	S60. 4. 17
	釈迦如来坐像	小山町 3629 宝泉寺	S60. 4. 17
	菩薩立像脇侍像	小山町 2524 福生寺	S62. 11. 13
	誕生釈迦仏立像	成瀬 4464 東雲寺	S62. 11. 13
	聖徳太子立像	鶴間 1210 円成寺	S62. 11. 13
	薬師如来坐像	野津田町 3224 薬師堂	S62. 12. 11
	箭幹八幡宮隨身門	矢部町 2666 箭幹八幡宮	H 2. 2. 14
	熊野神社本殿	三輪町 1925-1 熊野神社	H 2. 2. 14
	村野常右衛門生家	小野路町 1256-1 他 野津田公園内	H 6. 7. 11
	能ヶ谷出土銭遺跡出土品一式	下小山田町 4016 考古資料室	H 9. 3. 25
	北条氏照朱印状 永禄 5 (1562) 年 7 月 5 日	個人所蔵	H21. 12. 22
	北条氏照朱印状 永禄 8 (1565) 年 3 月 20 日	個人所蔵	H21. 12. 22
	彫刻付大形石棒 (忠生遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	H23. 12. 16
	土偶一式 (忠生遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	H23. 12. 16
	深鉢形土器 (忠生遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	H23. 12. 16
	細野喜代四郎書斎 (処静小斎) 部材	* 移築のため部材の状態 で保管中	H23. 12. 16
	隆起線文土器 (なすな原遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	H24. 12. 14
	爪形文土器 (川島谷遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	H24. 12. 14
	南多摩郡各町村縮図 (127 枚一括)	野津田町 897 自由民権資料館	H24. 12. 14

市・無形民俗文化財	金井獅子舞	金井町八幡神社	S38. 10. 22
	丸山獅子舞	相原町諏訪神社	S38. 10. 22
	矢部八幡宮獅子舞	矢部町箭幹八幡宮	S38. 10. 22
	大戸囃子	相原町大戸八雲神社	S38. 10. 22
	三ツ目囃子	小山町三ツ目日枝神社	S38. 10. 22
国・史跡	高ヶ坂石器時代遺跡(牢場、稲荷山、八幡平)	高ヶ坂 1418-3 他	T15. 2. 24
都・史跡	田端環状積石遺構	小山町 3112-2, 3113-2	S46. 3. 29
	青木家屋敷	相原町 810 他	S55. 2. 21
	小山田 1 号遺跡	小山田桜台 2-16-32	S60. 3. 18
	本町田遺跡	本町田 3455-36 他	H 4. 3. 30
	西谷戸横穴墓群	三輪緑山 1-25-8	H 4. 3. 30
	下三輪玉田谷戸横穴墓群	三輪町 897	H20. 3. 26
市・史跡	(通称)代官屋敷	金井 8-26-2	S39. 11. 25
	木曾一里塚	木曾西 4-14	S44. 9. 2
	白坂横穴墓群	三輪町 1720-7 他	S50. 10. 27
	(通称)鎌倉井戸	山崎町 1050-1	S54. 9. 7
	白洲次郎・正子旧宅	能ヶ谷 7-3-2 他	H14. 11. 14
都・旧跡	相原かま跡	相原町陽田谷戸	T15. 4
	井出の沢古戦場	本町田菅原神社付近一帯	T15. 4
都・名勝	福王寺旧園地(薬師池公園)	野津田町 3270	H10. 3. 13
市・天然記念物	アカガシ群落	相原町 701 清水寺内	S39. 11. 25
	シダレザクラ	小山町 2507-1 小山市民センター内	S39. 11. 25
	シイ	小野路町 5451 田極氏方	S39. 11. 25

—— 指定文化財の紹介 ——



【国指定重要文化財 旧永井家住宅】
〒野津田町 3270 (薬師池公園内)



【国指定史跡 高ヶ坂石器時代遺跡】
〒高ヶ坂 1418-3 他



【東京都指定有形文化財 旧荻野家住宅】
〒野津田町 3270 (薬師池公園内)



【東京都指定史跡 田端環状積石遺構】
〒小山町 3112-2、3113-2



【東京都指定史跡 本町田遺跡】
〒本町田 3455-36 他

—— 指定文化財の紹介 ——



【町田市指定有形文化財
深鉢形土器（忠生遺跡出土）】
☎下小山田町 4016（考古資料室）



【町田市指定有形文化財 村野常右衛門生家】
☎小野路町 1256-1 他（野津田公園内）



【町田市指定有形文化財
土偶一式（忠生遺跡出土）】
☎下小山田町 4016（考古資料室）



【町田市指定有形文化財
能ヶ谷出土銭（約1万枚の古銭）】
☎下小山田町 4016（考古資料室）

3. 生涯学習センター

教育委員会では、2008年に策定された「町田市教育プラン」に基づき、「生涯学習情報の提供」、「学習機会の提供」等の生涯学習の推進施策を具現化するため、2012年4月1日から、市民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援するための教育機関として、公民館とまちだ市民大学HATSを総合化し、生涯学習センターを設置しました。

生涯学習センターは、グループ活動などへの支援や市民の文化・学習活動の機会提供、生涯学習推進計画の策定、生涯学習関係情報の収集と提供、生涯学習に関する相談業務、生涯学習ボランティアバンクの活用などを行います。

(1) 施設概要

- 所在 町田市原町田6-8-1 町田センタービル
- 構造 鉄骨鉄筋コンクリート、一部鉄筋コンクリート・鉄骨造地下2階・地上8階建ての内、6階～8階
- 延床面積 2,676.84㎡

(2) 施設貸出

生涯学習センターでは、まちだ中央公民館として以下の施設をご利用いただけます。

① 貸出施設概要

- ホール 定員158名
- ホール控室 定員10名 2室
- 学習室 定員30名 1室 定員21名 1室 定員18名 1室 定員15名 2室 定員12名 2室
- 調理実習室 定員37名
- 美術工芸室 定員30名
- 視聴覚室 定員36名
- プレイルーム 定員18名
- 音楽室 定員24名 1室 定員18名 1室
- 和室 定員45名 1室 定員24名 1室
- 保育室 定員20名 1室

② 利用案内

- 利用時間 午前9時～午後10時
- 休館日 第4月曜日（祝日、振替休日にあたる時は、その翌日）、
12月29日～翌年1月3日
- 使用できる方
原則、市内在住、在勤、在学の方で構成するサークル（5人以上）の方
- 申し込み
「町田市施設案内予約システム」により、抽選申し込み及び空き施設の予約ができます。

2012 年度貸出施設利用状況

会議室名	利用件数 (件)	利用人数 (人)
ホール	790	39,082
学習室 1・2	1,659	23,771
学習室 3・4	1,777	13,643
学習室 5・6・7	2,721	23,638
和室 1・2	1,353	12,588
音楽室 1・2	1,896	16,259
プレイルーム	957	9,705
調理実習室	646	9,712
美術工芸室	771	10,046
視聴覚室	725	11,706
保育室	341	4,421

(3) 学習活動の支援

近年では個人の生涯学習に対する関心も高まっています。市民の生涯にわたる学習要求に応えるため、生涯学習に関する情報を収集し、展示や『生涯学習 NAVI 好き! 学び!』の発行、ホームページの活用などをおして、情報を提供するとともに、それらの情報をもとに学習の相談に応じていきます。

① 学習相談

学習者(団体含む)の学習上の問題を解決するために、学習情報の提供や助言を行っています。学習者自らがテーマや方法を選んで学習活動を進めていけるように、学習者の問題や悩みを聞き、その解決に向けて援助すること、これから学習活動をする人のニーズを把握し、学習活動ができるようにすること、学習活動の質を高め、継続的なものに行うことなどを行います。

2012 年度学習相談件数 (8月～3月)

区 分	面接 (来館)	電 話	合 計
相談件数	101	757	176

② 情報・資料コーナー

生涯学習センターの6階に「情報・資料コーナー」を設置しています。このコーナーでは、各方面から送付される定期刊行物及び講座・催し物のチラシ、ポスターを15の分野に分けて配置、掲示し、町田市内に限らず、他の地域や学校等も含めたさまざまな生涯学習に関する情報を閲覧できるようになっています。

③ 生涯学習NAVI 好き！学び！

市民が生涯学習を行う際に役立てていただけるよう、町田市の講座・イベント情報誌『生涯学習NAVI 好き！学び！』を年6回発行し、年間を通じて情報を発信します。年6回のうち2回（4・5月号と10・11月号）は、生涯学習の事業を紹介する特集ページを加えて発行します。

市内の公共施設にて無料で配布しています。



『生涯学習NAVI 好き！学び！』

④ 生涯学習ボランティアバンク制度

市民がより充実した生涯学習活動が行えるよう、さまざまな知識や技術、経験を持ち、地域社会に役立てたいと考える市民又は団体と、身近な学習活動を通じて知識や技術を習得したいと希望する市民団体等の橋渡しをしています。

（４） 団体活動への援助

生涯学習センターでは、市民にさまざまな生涯学習に関する情報をお届けするとともに、市民団体の自主的な生涯学習活動がより活発に展開されるよう、次の制度を設けて援助を行っています。

① 社会教育関係団体事業費補助金

市民を対象に行う発表会・講演会、青少年健全育成に関する事業など、社会教育の振興を促進させると認められる事業を行う社会教育関係団体に対し、講師の謝礼、会場の借上料及び印刷費等の事業にかかる経費の一部を援助しています。

社会教育関係団体事業費補助金申請団体数・交付総額・交付団体数

区分	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
申請団体数	8	7	9	6	7
補助金交付総額(千円)	500	500	405	403	383
交付団体数	8	7	8	6	7

② 社会教育関係団体講師派遣制度

学習・文化活動を行うことを目的として主に町田市内で活動している団体が、会員以外にも広く参加を呼びかけ、講師を招いて実施する学習会・講演会に対し、その講師の謝礼を援助しています。

社会教育関係団体講師派遣制度謝礼支払額・申請団体数・実施団体数

区分	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
謝礼支払額（千円）	1,470	1,208	1,275	1,105	1,038
申請団体数	74	63	67	58	54
実施団体数	73	61	65	56	52

（５）学校施設「特別教室」の開放

市民の学習・団体活動等、地域活動の場として、開放区画のある次の学校の「特別教室」を開放し、学校教育に支障のない範囲で貸し出しています。

① 利用できる特別教室

- 本町田小学校
多目的室、ランチルーム
- 木曾境川小学校
理科室、図工室、音楽教室、家庭科室、ランチルーム
- 小山ヶ丘小学校
理科室、図工室、音楽室、第3音楽室、家庭科室
- 鶴川中学校
小ホール（階段教室）、ミーティングルーム
技術室及び家庭科室（夏季期間のみ可）

② 利用案内

- 利用時間
 - ・平日 午後 6 時30分～午後 9 時
 - ・土日祝日 午前 9 時～午後 9 時

※午前・午後・夜間の3区分での利用となり、継続利用は原則できません。

 - ・夏季期間（夏休み）の平日
 - 小学校 午後 1 時～午後 9 時
 - 鶴川中学校（技術室・家庭科室）午後 6 時30分～午後 9 時
- 休室日
毎週水曜日、年末年始、学校行事または教育委員会が指定する日

③ 利用の方法

利用する場合は、事前に団体登録が必要です。利用できる団体は、代表者が市内在住の20歳以上の方で、5人以上で構成される団体（半数以上が市内在住または在勤、在学者であること）です。団体登録は、団体構成員名簿を用意した上で、生涯学習センターで登録していただきます。利用申請受付は、利用希望の各小・中学開放校の管理人事務室において、決められた時間内の

みとなります。学校施設のため、活動内容によっては、利用できない場合もあります。

- ・ 翌月分の申込み

受付日時：毎月第1土曜日の午後1時（休室日の場合は第2土曜日）

※受付時に、重複がある場合は、抽選となります。

- ・ 空き状況での申込み

受付日時：利用日の7日前まで

平日

午後6時30分～午後7時30分、

土・日曜日、祝・休日

午後1時～午後2時

2012年度利用状況

学校	利用教室	延べ利用人数（人）
本町田小学校	多目的室 ランチルーム	1,279
木曾境川小学校	理科室 図工室 音楽室 家庭科室 ランチルーム	677
小山ヶ丘小学校	会議室 理科室 図工室 音楽室 第3音楽室 家庭科室	2,297
鶴川中学校	小ホール（階段教室） ミーティングルーム 技術室及び家庭科室	773

（6）各種講座等の開催

生涯学習センターでは講座、講演会、コンサート等を開催しています。また、市民企画による講座・学級、生涯学習センターまつりなど、さまざまな事業を実施しています。

① 講座型

市民の関心が高いテーマの講座や、より良い地域社会に向けた仲間づくりのための講座、日常生活のなかで生じる問題や、地域が抱える課題の解決を目的とした講座など、社会情勢の変化や市民の要望に応じて、さまざまな学習講座を実施しています。

② 講演会等

人権、平和、子育て、防災等、さまざまな課題について、広く市民を対象に、講演会を実施しています。また、ホールを使用してのコンサートや、夏休みに子どもを対象としたイベントを实

施しています。

③ 参加型

市民が企画する事業として、市民企画講座とまちコレ、生涯学習センターまつりがあります。

市民企画講座は、企画応募者（市民）を含む3人以上が運営委員となり、職員と協力して生活の改善や住みやすいまちづくりにつながる講座を企画・運営・実施するものです。

まちコレは、市内の専門学校や大学の学生に呼びかけ、学生が主体となって作りあげる“まちだコレクション”というファッションをテーマとしたイベントです。若者も集う生涯学習センターを目指します。

生涯学習センターまつりは、生涯学習センターを利用している多くの団体、サークルが、日頃の成果を発表し、交流する場として毎年実施しています。

このまつりは、企画・運営委員を公募し、参加団体、サークルが実行委員となって、共に運営しています。



第1回(2012年度)生涯学習センターまつり

(7) 家庭教育支援事業

家庭教育支援に関する事業は、従来から公民館事業（講座型、参加型）の一部として実施していましたが、地域の家庭教育を支援する仕組みの構築をめざして、一つの事業として捉え、実施していきます。

2013年度は、現役の子育て世帯の学習機会の場としての講座の開設、地域の家庭教育を支える担い手の育成を目的とした家庭教育支援学級の開級、及び子育て世代と家庭教育支援の担い手との交流の場の創出を行います。

(8) ことぶき大学

60歳以上の市民を対象に、“楽しく学んで豊かに生きる”をモットーとして学習や交流を深める講座を実施しています。1966年に始まって以来、高齢者の増加と多様な学習要望に応えるために制度や学習プログラムを変えながら現在に至っています。2013年度は、歴史・文学など、8コースを実施します。

(9) 障がい者青年学級

障がい者青年学級は、1974年から障がい者の学習の場の保障の視点から開設しているもので

“生きる力、働く力の獲得”を目標に学習活動、自治活動、仲間づくり、集団づくりを行っています。現在、180名を超える方々が参加し、公民館学級、土曜学級、ひかり学級という3つの学級に分かれて、ボランティアスタッフと共に活動を行っています。

(10) まちだ市民大学HATS

市民の生涯学習にかかわる条件整備の一環として、1993年6月に「まちだ市民大学HATS」を開校しました。

2013年度は通年の講座と前・後期に分けて連続講座を開催します。通年講座は「多摩丘陵の自然入門」。前期講座は「『こころ』と『からだ』の健康学」「まちだdeエコ・ツアー」「まちだ市民国際学」「町田の郷土史Ⅰ」「陶芸入門講座」「陶芸 電動ロクロ体験講座」「いのちと人権」。後期講座は「『こころ』と『からだ』の健康学」「まちだ市民環境講座」「まちだ市民国際学」「町田の郷土史Ⅱ」「陶芸入門講座」「陶芸 電動ロクロ体験講座」「現代人間事情」「まちだの福祉」です。連続での受講が難しい方や興味を持たれた方のために、公開講座（聴講可能な講座）も設けています。各講座とも、市民・研究者・学識経験者などからなるプログラム委員会での論議を基に企画実施しています。

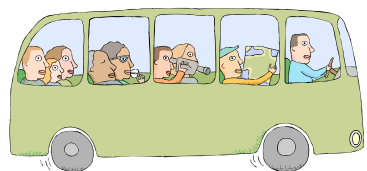
市民大学受講後に修了生が任意で学習サークルを立ち上げて学びを継続しています。2013年3月現在、52の修了生団体が活動しています。今後も、市民へのより多彩な学習機会の提供に努めます。



まちだdeエコ・ツアー



町田の郷土史Ⅰ（バス見学）



多摩丘陵の自然入門

(11) 相模原・町田大学地域コンソーシアム

「公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム（通称：さがまちコンソーシアム）」は、町田市と相模原市の行政と、2市を生活圏とする地域の大学、NPO法人、企業など、さまざまな主体が連携し、それぞれの特性を活かした協働を通じて、魅力あふれる地域社会を創造することを目的として2010年4月に設立されました。2013年4月現在、正会員は36団体です。

生涯学習センターでは、地域の大学等が持つ資源を最大限に活かし、多世代の参加を促す生涯学習機会の提供を実現するため、「さがまちカレッジ」（2013年4月より「さがまちコンソーシアム大学」から改称）を共催実施するなど連携しながら事業展開していきます。

(12) 町田市生涯学習センター運営協議会

町田市生涯学習センター運営協議会は、生涯学習センターが実施する事業について意見をいただくため、2012年度から設置された協議会です。学識経験者（4名以内）、家庭教育支援活動経験者（1名）、公募の市民（4名以内）、小学校・中学校の校長（各1名）、生涯学習・社会教育の活動経験者（4名以内）からなる15名以内の委員で構成されています。毎月定例会を開催し、講座・講演会等の事業の内容や成果について協議を行っています。

(13) 事業一覧 (2012年度)

2012年度 生涯学習センター 実施状況

分類	形態	事業名	回数	人数(延)	
公民館事業	参加型	市民企画講座			
		<ul style="list-style-type: none"> ワークショップデザイン 6 75 東日本大震災を忘れない 防災力UP講座 5 103 アートの力、アートの可能性 5 83 素敵な高齢期を生きる 3 67 自分を大切にしよう 4 53 知っとく納っとく 介護のイロハ2 4 89 心とからだを元気にするコミュニケーション 5 100 			
		自主学級			
		●学級(学習)活動 (各学級単位で月1~2回、テーマに沿っての学習)	10学級	1,227	
		<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育・子育て 男女共生 生涯学習の学び 	5学級		
			3学級		
			2学級		
		●開級記念講演会			
		<ul style="list-style-type: none"> 自主学級の学びに問われていること 2 40 			
		●成果発表会(センター1周年記念にて)	1	127	
		大学等共催事業			
		<ul style="list-style-type: none"> Fashion Magic Festival まちコレ 2013 1 370 			
		第1回生涯学習センターまつり	企画・運営委員会	10	—
		(10月19・20・20日)	実行委員会	4	57団体
			<ul style="list-style-type: none"> 展示 発表 模擬店 	3日	24団体
				3日	32団体
				3日	1団体
			来館者	3日	3,096



分類	形態	事業名	回数	人数(延)
公民館事業	講座型	親と子の交流ひろば		
		・ きしゃポップ	36	452
		・ パパきしゃ	12	72
		家庭教育		
		・ 乳幼児を持つ保護者のための講座	8	135
		・ 幼児を持つ保護者のための家庭教育学級	4	54
		・ 小学生を持つ保護者のための講座	7	194
		・ 中学生を持つ保護者のための講座 ～親子コミュニケーション	2	53
		・ 中学生を持つ保護者のための講座 ～思春期の親子関係の築き方編	2	42
		さがまちコンソーシアム共催事業(さがまちコンソーシアム大学町田市連携講座)		
		・ 正しく知ろう！放射性物質～医療への応用～	1	16
		・ 小学生のための英語ー楽しい英語の歌	1	4
		・ めざせ!!しぜんマスター☆～気になるあいつはどこにいる!?～【学生講師プログラム】	1	12
		・ 定年以降も好きな仕事で働く 10人を訪ねましたーその成功の法則とは	1	9
		・ 地域においてサクセスフル・エイジングを目指すためには？ーAging in Placeー	1	4
		・ 『色を楽しむ・言葉を選ぶー人生を左右する色と言葉の世界ー』	1	36
		・ 取り戻そう、健康と免疫力	1	32
		・ 「認知症」を正しく理解して、自分や周りの人に役立てよう	1	32
		・ 「環境に配慮した生活」を考える	1	7
		大学等共催事業		
		・ 和光大学共催「四つのエコロジー」	3	56
		・ 東京女学館大学共催「学び再入門」	3	69
		民間企業等共催事業		
		・ まちだの達人に学ぶ「初心者でも簡単！男の料理」	2	60
		その他講座等		
		・ 絵手紙講座	3	60
		・ 和太鼓1日体験講座	1	27
・ 科学教室	1	33		
・ 浴衣の着付け講座	1	11		

分類	形態	事業名	回数	人数(延)
公民館事業	講演会等	生涯学習センターオープニングイベント		
		・ 第1弾(オープニングミュージック、基調講演・意見交換、懇談会)	1	61
		・ 第2弾(卵の不思議(科学体験)、万華鏡作り、マジック、親子で歌おう、分別ゲーム等)	1	580
		・ 1周年記念(講演会、津軽三味線〜トークと演奏〜、男の手料理等)	1	264
		コンサート		
		・ 第7回 まちだフレッシュコンサート	1	126
		・ サタデーコンサートVol.57〜アンサンブル・リリ〜	1	140
		・ サタデーコンサートVol.58木管アンサンブルのタベ	1	141
		・ サタデーコンサートVol.59「若い演奏家によるコンサート」	1	122
		・ サタデーライブ「ハーモニカデュオBom Boa によるファミリーコンサート」	1	116
		・ サタデーライブ「新春ファミリーコンサート〜和の響き〜その楽しみ方」	1	144
		夏休み子どもフェア	1	1,500
		(シャボン玉づくり、万華鏡づくり、プラネタリウム、ねんどアート等)		
		平和祈念事業		
		・ かみしばいで届ける平和といのち	1	18
		・ 町田市民による被爆体験談	1	18
		・ すいとん試食会	1	50
		・ 被爆メッセージとライブ「ひろしまの夏」	1	97
		・ 観劇会〜「劇団風の子『子どもが少国民といわれたころ』」	1	68
		・ 堀絢子ひとり芝居「朝ちゃん」	1	69
		・ 山田雅人「かたりの世界」	1	60
		・ 戦時資料展・原爆資料展・DVD上映	9	324
		さがまちコンソーシアム共催事業		
		・ 町田ショートフィルムフェスティバル	1	140
		他部署共催事業		
		・ 介護予防月間オープニングイベント	1	437
		・ 第7回総合健康づくりフェアー2012	1	92
・ 防災講演会「大震災に備え 今 何をすべきか」	1	130		
大学等共催事業				
・ 昭和薬科大学共催「がんの仕組みと治療」	1	78		

分類	形態	事業名	回数	人数(延)
公民館事業	講演会等	民間企業等共催事業		
		・ 惑星探査機「はやぶさ2」	1	76
		・ 町田の縄文時代の魅力を語る	1	45
		その他講演会等		
		・ 親子星空教室	1	124
		・ プラネタリウム	2	74
		・ 生涯学習ボランティアバンク登録説明会・ボランティアに関する講演	1	45
・ 時事問題講座「iPS細胞と私たちの生命」	2	198		

分類	事業名	回数	人数(延)	
障がい者青年学級事業	●青年学級を語る会	公民館学級	1	40
		ひかり学級	1	25
		土曜学級	1	34
	●開級式	公民館学級	1	71
		ひかり学級	1	63
		土曜学級	1	48
	●学級活動			
	・ 公民館学級 原則として第1・3日曜日に月3回実施(センター)		12	924
	・ ひかり学級 原則として第1・3日曜日に月3回実施(ひかり療育園)		12	785
	・ 土曜学級 原則として第2・4土曜日に月3回実施(センター)		12	757
	●合宿	公民館学級	2	131
		ひかり学級	2	116
		土曜学級	2	118
	●成果発表会	公民館学級	1	85
		ひかり学級	1	70
		土曜学級	1	74
	●スポーツ大会(東京都)		1	16
●スポーツ大会(町田市)		1	19	
●生涯学習センターまつり参加		1	38	
●担当者会議		34	996	
●担当者調整会議		1	4	
●ニュース作り		17	51	
●学級活動総括		2	44	

分類	事業名	回数	人数(延)
ことぶき大学事業	・ 文学コース 日本の近代文学の流れと時代の背景	7	822
	・ 歴史コース 平清盛とその時代	7	907
	・ 美術コース 編集者からみた美術の味ー「日本近現代美術をめぐって」	7	856
	・ 音楽コース 大正から昭和の童謡と唱歌	7	932
	・ 中国の文化コース 互いの参照枠となる日中関係ー社会文化の視点を中心に	7	917
	・ 日本の伝統文化(箏)コース 日本の楽器「箏」を弾いてみましょう	7	161
	・ 健康コース 養生法としての気功体操・太極拳	7	242
	・ ねんどアートコース 柔らかく、手に付きにくく、軽いねんど工芸	7	124
	・ 折り紙コース 季節の花だよりシリーズ	7	113
	・ 吊るし雛コース つるし飾りを作りましょう	7	132
市民大学事業	通年講座		
	・ 多摩丘陵の自然入門	13	418
	・ まちだの福祉 ～あなたに合ったスタイルで福祉を学ぶ	14	148
	前期講座		
	・ 「こころ」と「からだ」の健康学 ～健やかに生きるには	10	414
	・ まちだ de エコ・ツアー ～ここからはじめるボランティア	11	133
	・ まちだ市民国際学 ～今、躍動する東南アジア	10	1,248
	・ 町田の郷土史 I ～縄文から幕末まで	12	404
	・ 陶芸入門講座	9	204
	・ 陶芸 電動ロクロ体験講座 ～地球にやさしいやきもののリサイクル	5	67
	・ 人間科学 ～現代の「生老病死」と向き合う	12	524
	後期講座		
	・ まちだ市民環境講座 ～地球環境危機と町田の暮らし	12	167
	・ 人間関係学 ～人間関係の多様性と向き合う	12	316
	・ 陶芸入門講座	9	167
	・ 陶芸 電動ロクロ体験講座 ～地球にやさしいやきもののリサイクル	5	66
	・ まちだ市民国際学 ～拡大・成長する新興国<BRICSを中心に>	10	974
	・ 町田の郷土史 II ～明治から現代まで	12	370
	・ 「こころ」と「からだ」の健康学 ～健やかに生きるには	10	435
	特別講座		
・ 今さら聞けない 老いじたく	5	181	
その他	「生涯学習NAVI 好き！学び！」（発行 6回）	6	—
	印刷機講習会（年9回）	9	17

4. 図書館

市立図書館の前身は、1953年ごろ町田町役場内に設置された図書室で、1956年9月に「町田町立図書館」となりました。開館当初は蔵書が1,000冊にも満たない閲覧中心の施設でした。1958年2月、市制施行に伴って館名を「町田市立図書館」と改め、更に1968年9月には中町2丁目に移転して、プレハブ建てながらも個人貸出しの図書館としてスタートしました。その後移動図書館「そよかぜ号」の巡回を1970年10月よりはじめ、1972年5月には建て替えにより新装オープンしています。また、1972年2月に「鶴川分館」（1977年10月に現在地に移転）、1974年6月に「金森分館」（2000年7月に現在地に移転）、1976年7月に「木曾山崎分館」、1983年9月には「堺分館」がそれぞれ開館しました。

1980年代後半から新しい図書館の建設を望む声が高まり、1990年11月に中央図書館が開館、CD、ビデオなどの貸出や館内視聴といった新しいサービスが始まりました。貸出返却をコンピュータで行う市内の中心的図書館の誕生です。これに伴って「町田市立町田図書館」は「さるびあ図書館」に、その他の分館もそれぞれ「図書館」に名称を変え、地域館として新たなスタートを切りました。1992年の7月には市立の図書館全館をコンピュータで結ぶオンライン化も完成しています。

その後、1999年4月からは祝日開館、平日の開館時間の延長及び地域館の夜間延長の実施、同年11月には貸出冊数制限の緩和を行いました。

また、2012年10月、小田急鶴川駅前の複合型文化施設「和光大学ポプリホール鶴川」内に「鶴川駅前図書館」が開館しました。地域の中心館として図書館のサービスを向上させ、情報拠点の役割を果たします。

市立図書館一覧

館名	所在地	電話	開館年月日	建物面積
中央図書館	原町田 3-2-9	728-8220	1990. 11. 30	5,262.00 m ²
さるびあ図書館	中町 2-13-23	722-3768	1972. 5. 22	1,234.32 m ²
鶴川駅前図書館	能ヶ谷 1-2-1	737-0263	2012. 10. 17	1,190.00 m ²
鶴川図書館	鶴川 6-7-2-1-101	735-5691	1972. 2. 15	259.75 m ²
金森図書館	金森東 3-5-1	710-1717	1974. 6. 3	1,494.56 m ²
木曾山崎図書館	山崎町 2160	793-6767	1976. 7. 15	320.60 m ²
堺図書館	相原町 795-1	774-2131	1983. 9. 25	429.00 m ²
町田市民文学館	原町田 4-16-17	739-3420	2006. 10. 27	2,156.27 m ²

開館時間と休館日

館名	開館時間		休館日
中央図書館	火・水・金	午前10時～午後8時	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日（祝休日の場合は開館） ・毎月第2木曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館） ・特別館内整理期間 ・年末年始
鶴川駅前図書館	木・土・日・祝休日	午前10時～午後5時	
さるびあ図書館	火・水・金	午前10時～午後6時	
鶴川図書館	木・土・日・祝休日	午前10時～午後5時	
金森図書館 木曾山崎図書館 堺図書館			
町田市民文学館	火～日、祝休日	午前10時～午後5時	

蔵書統計（図書資料・視聴覚資料）（2013年3月31日現在）

	一般図書	児童図書	地域資料	図書資料合計(冊)	視聴覚資料
中央	448,905	69,564	40,264	558,733	43,266
さるびあ	85,664	49,554	3,831	139,049	7
鶴川駅前	51,370	17,236	1,876	70,482	0
鶴川	30,187	21,336	1,587	53,110	0
金森	92,089	41,657	2,068	135,814	11
木曾山崎	41,011	24,322	1,882	67,215	9
堺	44,352	28,759	1,567	74,678	0
町田市民文学館	19,870	2,339	186	22,395	0

※視聴覚資料（CD、カセットテープ、LD、ビデオテープ、DVD）

（1）貸出サービス

① 個人貸出

町田市内在住・在勤・在学の方を対象に、利用券を発行し貸出を行っています。

利用登録後は、全館合わせて本・雑誌など1人10冊2週間（うち新刊扱いの雑誌は1人1冊1週間・貸出用レファレンス資料は1週間）、DVD・ビデオテープ・CD・カセットテープは合わせて1人3点1週間借りることができます。

個人登録者数（町田市）（2013年3月31日現在）

一般	児童	在学一般	在学児童	在勤	合計(人)
88,049	15,864	2,011	130	2,443	108,497

2012年度 図書資料・視聴覚資料 個人貸出冊数

	一般図書	地域資料	児童図書	雑誌	合計(冊)	視聴覚資料(点)
中央	967,945	3,857	186,920	61,094	1,219,816	206,928
さるびあ	259,004	401	124,120	31,429	414,954	0
鶴川駅前	181,602	796	91,446	6,842	280,686	0
鶴川	232,608	516	145,729	27,188	406,041	1
金森	472,645	828	282,802	56,150	812,425	0
木曾山崎	252,411	420	120,474	25,396	398,701	9
堺	106,531	156	77,770	10,619	195,076	0
さるびあ移動図書館	43,753	17	36,500	3,649	83,919	0
堺移動図書館	17,140	6	28,698	2,527	48,371	0
町田市民文学館	3,848	44	1,787	527	6,206	0
Web-OPAC※	200,816	692	49,799	12,366	263,673	0
合計	2,738,303	7,733	1,146,045	237,787	4,129,868	206,938

※ インターネットからの貸出延長数

② 団体貸出

図書館に利用登録がある地域文庫や読書会等を対象に、図書の団体貸出しを行っています。

2012年度 団体登録数

区分	種別	団体数	貸出冊数・期間
①学校・地域文庫	小学校・中学校	47	600冊・6ヶ月
	地域文庫	15	
②読み聞かせ団体・その他	保育園・幼稚園	24	300冊・3ヶ月
	読書会	54	
	学童保育クラブ	18	
	その他	26	
③庁内	市役所各課	46	50冊・1ヶ月
合計		230	

2012年度 図書資料 団体貸出冊数

	一般図書	児童図書	雑誌	合計(冊)
中央	827	3,371	46	4,244
さるびあ	261	5,758	62	6,081
鶴川駅前	32	105	0	137
鶴川	171	1,183	6	1,360
金森	842	2,862	117	3,821
木曾山崎	37	684	21	742
堺	302	651	1	954
さるびあ移動図書館	26	1,768	2	1,796
堺移動図書館	568	2,141	333	3,042
町田市民文学館	51	143	0	194
合計	3,117	18,666	588	22,371

③ 学校図書館支援貸出 (配本システム＝軽自動車メールカー運行による配本)

学校図書館の資料が不十分である現状の中で、図書館が学校図書館を支援するため、2008年6月から開始しました。さるびあ図書館が担当し、調べ学習等の資料を定期的に配本し、貸出すことで学校図書館をサポートしています。

2012年度 学校支援貸出冊数等

	小学校	中学校
登録学校数(校)	38	14
依頼学校数(校)	32	10
依頼件数(件)	134	36
貸出総冊数	4,539	1,261

④ 市民センター等における図書館資料(予約資料)受渡しサービス

近くに図書館がない地域の市民向けに、2010年9月から忠生市民センター、小山市民センター及び南町田駅前連絡所で図書館資料の予約資料受渡しサービスを開始しました。

2012年度 受渡し冊数一覧

場所	冊数
忠生市民センター	9,735
小山市民センター	3,843
南町田駅前連絡所	29,121

(2) 移動図書館サービス

図書館が身近にない地域に対して図書館サービスを継続的に提供するため、3台の移動図書館「そよかぜ号」が2週間に1回、66箇所のサービスステーション（さるびあ図書館から2台で42箇所、堺図書館から1台で24箇所）に巡回しています。



移動図書館車

2012年度 移動図書館利用者数・巡回数

	移動図書館利用者数	移動図書館巡回数
さるびあ	16,078	1,001
堺	8,955	564

(3) リクエストサービス

求める図書が見当たらないときは、1人10冊までリクエストをすることができます。対象は町田市内在住・在勤・在学の利用登録者で、申込み方法はリクエスト用紙によるカウンター受付のほか、館内利用者検索機、インターネットからも可能です。

リクエストを受けた図書が貸出中の場合は、返却後、受付順に貸出しています（リクエストの取り置きは、用意ができてから10日間）。図書館で所蔵していない図書の場合は、新たに購入したり、他の図書館から借り入れるなどして、なるべく早く貸出しができるようにしています。

2012年度 リクエスト件数

	カウンター	館内利用検索機	インターネット	合計 (件)
中央	34,181	17,459	128,308	179,948
さるびあ	14,153	6,331	59,206	79,690
鶴川駅前	5,039	4,374	27,245	36,658
鶴川	11,728	7,224	78,268	97,220
金森	19,574	14,515	115,402	149,491
木曽山崎	12,316	5,708	39,457	57,481
堺	3,638	2,625	13,047	19,310
さるびあ移動図書館	7,266	—	—	7,266
堺移動図書館	5,634	—	—	5,634
町田市民文学館	484	250	1,029	1,763
忠生市民センター	1,287	—	9,458	10,745
小山市民センター	138	—	4,073	4,211
南町田駅前連絡所	1,581	—	29,797	31,378
合計	117,019	58,486	505,290	680,795

(4) レファレンスサービス

図書館の資料や機能を活用して、利用者からのさまざまな調べものや探しものについてお手伝いするサービスです。中央図書館においては、専用カウンターを設け、各種有料データベースによる検索サービスも行っています。

2012年度 レファレンス受付件数（中央図書館のみ）

レファレンスカウンター 総受付件数（件）※	レファレンス （一般）	レファレンス （地域資料）
10,274	8,392	1,067

※レファレンスカウンター総受付件数には、貸出その他を含みます。

(5) 障がい者サービス

目の不自由な方に録音図書・点字図書の貸出、製作や、対面朗読を行っています。

また、来館が困難な方には、市民ボランティアのご協力により宅配貸出のサービスも行っています。設備としては各館に車いすで利用できるトイレやスロープ等があります。

2012年度 対面朗読

実施館	実利用者数	延べ件数	実朗読者数	朗読時間
中央・木曽山崎	14	433	39	939時間45分

2012年度 視覚障がい者への障がい者用資料の郵送貸出

録音（テープ）	録音（ダイジー）※	点字資料・絵本	合計（点）
1,018	1,299	218	2,535

※ デイジー…専用機器やパソコンソフトで再生するデジタル録音図書の名称。DAISYという規格に基づき、CD-Rに記録してあります。

2012年度 肢体不自由利用者への宅配貸出

	実利用者数	延べ利用者数	実宅配者数	貸出点数
中央	4	76	8	473
さるびあ	2	43	3	165
鶴川駅前	1	4	2	25
鶴川	2	44	1	207
金森	5	116	7	519
木曽山崎	2	50	4	393
堺	1	25	2	108
合計	17	358	27	1,890

(6) 視聴覚サービス

中央図書館では視聴覚資料の貸出しを行っています。館内ではCD・ビデオテープ・レーザーディスクなどの視聴（試聴）もできます。

また、持込みのノートパソコンが利用できるパソコン席を設けています。携帯電話会社3社のWifiスポットがあり、契約していればインターネットの利用も可能です。

(7) 児童サービス

本と子どもを結びつけるため各館とも児童コーナーの充実に努めており、いつも子どもたちでにぎわっています。子どもの新刊本リスト「みんなでよもうこどものほん」の発行や、おはなし会、乳幼児向けおはなし会、子ども映画会などの行事も行っています。

2012年度 児童向け事業

	おはなし会		乳幼児向けおはなし会		子ども映画会	
	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数
中央	84	1,234	48	985	11	213
さるびあ	27	458	21	685	—	—
鶴川駅前	17	756	5	227	—	—
鶴川	24	559	6	90	—	—
金森	50	1,317	12	299	—	—
木曾山崎	51	654	28	573	12	221
堺	25	296	12	78	13	144
合計	278	5,274	132	2,937	36	578

(8) ヤングアダルトサービス

中高生の年代を対象にしたサービスを行っています。ライトノベルや職業案内の本などが多くあります。ヤングアダルト新刊本案内「YA通信」を毎月発行していて、館内で配布するほか中学校、高等学校へも送っています。また、中央図書館のヤングアダルトコーナーには、利用者が自由に記載できる「わいわいノート」が置かれていて、とても人気があります。

(9) ホームページ上でのサービス

インターネットの普及に対応するため、2004年4月よりホームページ上での蔵書検索サービス、リクエスト受付、電子メールによる利用者への予約連絡サービスを実施しました。さらに、2010年2月からはインターネットによる貸出延長サービスも実施しています。

【総合トピックスのURL】

http://www.city.machida.tokyo.jp/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08library/library.html

【検索・予約のURL】 <http://www.library.city.machida.tokyo.jp/opac/index.html>

(10) 相互利用サービス

1998年12月に相模原市と、2007年10月に八王子市と、2008年4月に府中市・調布市・日野市・多摩市・稲城市と、さらに2012年4月に川崎市との間に相互利用協定が結ばれ、町田市民も前記各市の図書館が利用できるようになりました。

なお、相互利用市の市民からの資料予約は受け付けていません。

個人登録者数（相互利用市民）

2013年3月31日現在

相模原市	八王子市	日野市	多摩市	調布市	稲城市	府中市	川崎市	合計(人)
12,580	596	61	124	31	55	40	1,643	15,130

2012年度 相互利用貸出冊数

	図書・雑誌	視聴覚資料	ハンディキャップ資料	合計(冊)
相模原市	266,642	42,069	7	308,718
八王子市	16,008	929	0	16,937
稲城市	243	88	0	331
調布市	143	1	0	144
府中市	456	80	0	536
日野市	727	40	0	767
多摩市	913	104	0	1,017
川崎市	28,405	2,657	0	31,062
合計	313,537	45,968	7	359,512

(11) 行事

図書館では、以下のような行事を開催しています。

○ 講演会

参加者の知的興味を満足させるとともに、図書館の利用につながるような講演会を実施しています。

○ 映画会

平日の金曜日、中央図書館6階ホールで映画を上映しています。また、月1回2歳から就学前のお子様をお預かりする保育付き映画会も行っています。

○ 図書館入門講座等

図書館を使い慣れていない方に、図書館の上手な利用法を知っていただき、気軽に図書館を利用していただけるよう、本の並べ方や利用者用検索機の使い方、館内見学を内容とした講座を実施しています。

この他、調べ物に役立つレファレンス講座や、大学図書館の利用講座（和光大学共催）なども実施しています。

○ 展示会

中央図書館4・5階エスカレーターに沿ってあるショーケースや壁面に、個人やグループの作品（絵画・写真・工芸品）を展示しています。展示期間は、原則2週間です。年に1度、12月から1月に市広報やチラシなどで翌年度分の募集を行います。

2012年度 実施行事等一覧

行事名	回数(回)	参加者数(人)
講演会	8	760
映画会	47	4,798
図書館入門講座等	8	78
展示会	22	—



○ 第2回まちだとしょかん子どもまつりーほんはともだちー

2010年に開催された記念行事をきっかけにして、図書館に登録している団体のうち主に子どもに係る団体を中心に呼びかけを行った結果、「まちだとしょかん子どもまつり実行委員会」が10団体の参加で組織されました。主催の実行委員会は企画・広報を担当し、当日の運営を行いました。図書館は会場として、中央図書館ホールとおはなしの部屋及び、木曾山崎図書館おはなしの部屋を提供するとともに事務局を担当しました。実施期間は2013年3月28日から3月31日までの4日間で、16の催しに対し参加者は合計984人と盛況でした。

(12) 町田市立図書館協議会

図書館協議会は、図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、図書館の主催する事業及び図書館奉仕について、審議等を行っています。

(13) 町田市子ども読書活動推進計画

町田市では子どもと読書に関する施策の基本として、2004年12月に町田市子ども読書活動推進

計画を策定し 2005 年 4 月から 2010 年 3 月まで取組を行いました。それらの成果と課題を検証した上で、2010 年 3 月に「第二次町田市子ども読書活動推進計画」を策定し、2010 年 4 月から取組を行っています。

(14) 第二次町田市子ども読書活動推進会議

第二次町田市子ども読書活動推進会議は、第二次町田市子ども読書活動推進計画を効果的に推進するため 2011 年度に設置されました。委員は市民の代表 9 人と行政で関係する 4 課長、図書館長の 14 人で構成されています。市民と行政と一緒に委員として協議するのが特徴です。この会議では、第二次計画の進捗状況の検証に関すること、総合調整に関すること、第二次計画の推進に係る情報交換及び連携に関することを行っています。



町田市立図書館キャラクター「よむぼん」

5. 町田市民文学館

町田市民文学館ことばらんどは、1997年、故遠藤周作氏の蔵書・遺品の寄贈をきっかけにおこった「町田市に文学館を」の声に応え、2006年10月に開館しました。この間、小説家八木義徳氏や桜田常久氏、作詞家宮川哲夫氏の資料など、町田ゆかりの文学者の資料が次々と寄贈されました。これら後世に伝えるべき町田の文化遺産を収集し、保存・公開を行うことが当館の大きな目的であり、市民が文学を通し出会い、交流し、その成果を発表しあえる「市民の文学活動」の拠点となることを目指しています。

中心市街地に隣接する、かつては公民館として親しまれていた立地や、図書館との密接な連携も当館の特徴です。町田の文学資源を繋ぐネットワークの要として機能するとともに、展覧会や講演会を通じて文学の新たな魅力を伝え、「ことば」のもつ力との出会いをお手伝いします。

(1) 施設概要

- 所在 町田市原町田 4 - 16 - 17
- 電話 739・3420
- 構造 鉄筋コンクリート、地下2階、地上3階建て
- 延床面積 2,156.27 m²

(2) 施設内容

- 1階 文学サロン、資料閲覧室、市民研究員室、印刷室
- 2階 展示室、大会議室
- 3階 会議室（6室）、保育室



町田市民文学館

(3) 利用案内

- 開館時間 会議室・文学サロン 午前9時～午後10時
展示室・資料閲覧室 午前10時～午後5時
(展示室入室は午後4時30分まで)
- 休館日 月曜日（祝休日・振替休日のときは開館）、
毎月第2木曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）、
12月29日～翌年1月4日、特別整理日

(4) 各種機能

① 図書館機能

町田ゆかりの文学者の著作や研究書、市民著作、雑誌、文学全集、児童書、辞・事典類、全国

の文学館の情報ファイルなどを文学サロン、資料閲覧室で閲覧することができます。

さらに、市立図書館の利用券を使って資料の貸出し、リクエスト制度を利用することができます。その他、文学資料に関する相談（レファレンスサービス）にも積極的に対応しています。

※ 統計については、第3章「図書館」参照

② 資料の収集・保存・展示機能

○ 収集・保存

町田ゆかりの文学者の資料を中心に、文学資料の収集・保存をしています。

○ 調査研究

町田ゆかりの文学者の資料の調査研究及び情報の提供を行っています。市民の研究活動を学芸員が支援する「市民研究員制度」では、新たな3つのテーマで活動を行っています。

○ 展覧会

町田ゆかりの文学者を取り上げる展覧会を中心に、夏休み期間中の子どもたちも楽しめる展覧会を含め、年4回の展覧会とミニ展示を行っています。

2012年度 展覧会一覧

展覧会名	会期日数(日間)	入館者数(人)
『サラダ記念日』から25年 愛しき人への三十一文字 俵万智展	67	4,167
いき mono がたりー「フェアブル昆虫記」&「シートン動物記」の世界ー展	55	11,830
道尾秀介展ー小説の可能性	55	3,168
滑稽とペース 田河水泡 のらくろ一代記展	55	2,983
三浦しをん『まほろ駅前番外地』ドラマ放送記念まほろの<住人十色>展 (ミニ展示)	84	6,247



『サラダ記念日』から25年
愛しき人への三十一文字 俵万智展



滑稽とペース 田河水泡 のらくろ一代

③ 学習機能

「町田の文学」の魅力を発見し、「文学のおもしろさ」や「ことばの力」に触れることができる講座、講演会、おはなし会などを開催しています。

○ 講座等

乳幼児と保護者を対象に「ちちんぷいぷい」、小学生を対象に「子ども俳句教室」、「おとなのためのおはなし会」など“ことばを楽しむ”定期的な活動を行っています。連句講座や文学講座、児童文学講座など、市民の生活を豊かにし、生きる力の糧となる講座を開催しています。また講座終了後のサークル作りの援助も行っています。

○ 講演会

展示に関連したテーマでの講演会、ことばやさまざまな文学に関連したテーマでの講演会を開催し、“文学はおもしろい”のメッセージを発信します。

2012 年度実施 展示関連事業・学習事業一覧（一般対象）

※**展**=展示関連事業、**学**=学習事業

講演会	回数(回)	参加者数(人)
展 「短歌の変貌と俵万智」	1	72
展 「俵万智さんの短歌について」	1	76
展 「養老孟司の体験的『昆虫記』」	1	84
展 「道尾秀介ーミステリからはじまった進化の軌跡」	1	24
展 対談「三浦しをん×池田真紀子 特別対談」	1	90
展 「のらくろはなぜ今も面白いのか？」	1	74
展 「田河水泡と小林秀雄」	1	77
学 「翻訳ってなに？～他者のことばを生きる」	1	76
学 「絵本は私の夢だった」（雑学大学との共催事業）	1	86
学 「五十嵐濱藻の旅と作品」	1	73
学 「方丈記と災害」	1	82
計	11	814

講座	回数(回)	参加者数(人)
展 創作講座「万智さんの短歌とコラボでつくろう！」	1	24
展 創作講座「4コマ漫画をつくろう！」	1	17
学 近代文学講座「女性作家を読む～戦後から現代～」	8	147
学 文学講座「詩の誕生・詩の展開」「近代短歌の水脈」「子規から虚子へ」	6	337
学 連句講座「連句入門講座」	5	86
学 児童文学講座「英米少女小説を読みなおす」	5	245

学	実技講座「子どもに届ける声と言葉 パート2」	2	34
計		28	890

イベント		回数(回)	参加者数(人)
展	朗読会「～耳でたのしむ・道尾秀介の世界～」	1	31
展	朗読会「道尾秀介短編作品 朗読会」	1	34
展	「のらくろSPレコード鑑賞会」	3	23
展	落語「田河水泡の新作落語会」	1	78
展	文学散歩「まほろ散歩」	2	67
展	文学散歩「のらくろ探検隊！玉川学園を歩く」	1	28
展	文学散歩「のらくろ探検隊！深川を歩く」	1	15
展	展示解説	25	282
学	おとなのためのおはなし会	12	850
学	紙芝居・大人の時間	10	384
学	文学館まつり	1	451
学	百人一首カルタ会	1	11
学	太筆で書く！ダイナミック書初め大会	1	9
学	ちちんぷいぷい支援隊会議	10	159
計		70	2,422



紙芝居・大人の時間



2歳児あつまれ！四季をあそぼ！

2012年度実施 展示関連事業・学習事業一覧（子ども対象）

※**展**=展示関連事業、**学**=学習事業

講座		回数(回)	参加者数(人)
展	ワークショップ「つくってあそぼう！みそひともじ！」	1	8
展	ワークショップ「いきmonocaltaをつくろう」	2	28
展	ワークショップ「空想図鑑をつくろう」	1	25

展	ワークショップ「いきmonno絵巻をつくろう」	1	19
展	ワークショップ「この文字なにに見えるかな？」	2	37
展	おはなし会「ぬいぐるみのことばらんどおとまり会」	1	19
学	ちちんぷいぷい (0~1歳児親子)	32	802
学	2歳児あつまれ！四季をあそぼ！	4	122
学	3・4歳児あつまれ！	2	51
学	子ども俳句教室 春・秋 (小学生)	6	68
学	中・高生の春休み俳句教室	1	1
学	ワークショップ「演じてみよう！紙芝居」(中・高生)	1	6
学	創作講座「アートペーパーでつくる暑中見舞いとコラージュペインティング」(小・中学生)	1	20
学	創作講座「子ども年賀状教室」(小・中学生)	1	22
計		56	1,228

イベント		回数(回)	参加者数(人)
展	俵万智展オープニングイベント「ももんちゃんとおそぼう in ことばらんど」	1	119
展	俵万智展 おはなし会	5	33
展	いきmonnoがたり展オープニングイベント「いきmonnoパラダイス」	1	183
展	「紙芝居とアニメで楽しむ～いきmonnoがたりが いっぱい！」	2	215
学	「紙芝居の時間です」(乳幼児親子)	1	73
学	クリスマスおたのしみ会 (3歳～小学生)	1	60
学	初めての人の百人一首カルタ教室 (小・中学生)	1	26
学	まんぷく！お正月遊び (小学生)	1	14
学	太筆で書く！ダイナミック書初め大会 (小・中学生)	1	18
計		14	741

2012年度実施 市民研究員制度

市民研究会		回数(回)	参加者数(人)
五十嵐濱藻・梅夫研究会		11	66
「みんなで作ろう！まほろMAP 第2弾」		9	75
計		20	141

④ 施設貸出機能

町田市施設案内予約システムに登録できる団体でその活動内容が文学に関する研究・創作・読書会・朗読会等である場合、文学館を「ホームグラウンド」として登録することができます。

2012 年度利用実績

会議室使用回数	会議室利用人数	保育室利用回数	保育室利用人数
3,736 回	37,597 人	173 回	2,136 人

資料編



1. 町田市教育委員

年	教育委員氏名及び任期				教育長	委員長（互選） 氏名及び任期
1960	58. 2. 1 小菅 朴二 58. 3. 28	58. 2. 1	58. 2. 1 若林 順成 58. 3. 28	58. 2. 1	58. 2. 1 井上 桂一	58. 2. 1 平本 精則
	58. 3. 29 久保田 佐一 59. 3. 28 59. 3. 29		58. 3. 29 若林 健			
1965	田中 邦茂	平本 精則	64. 3. 28 64. 3. 29	66. 3. 28 66. 3. 29 花形 英一	65. 3. 28 65. 3. 29	平本 精則
	1970		70. 3. 28 70. 10. 19		72. 3. 28 72. 4. 1	
1975		71. 3. 28 72. 4. 1		76. 3. 31 76. 4. 1		70. 3. 28 70. 10. 19
	1980		80. 3. 31 80. 4. 1		82. 10. 18 82. 10. 27	
1985		84. 3. 31 84. 4. 1		88. 3. 31 88. 4. 1		88. 10. 26 89. 10. 27
	1990		90. 3. 31 90. 4. 1		92. 3. 31 92. 4. 1	
1995		96. 3. 31 96. 4. 1		98. 10. 26 98. 10. 27		98. 10. 18 98. 10. 27
	2000		00. 3. 31 00. 4. 1		02. 10. 26 02. 10. 28	
2005		02. 10. 26 02. 10. 28		08. 6. 30 08. 7. 1		08. 10. 26 98. 10. 27
	2010		12. 3. 31 12. 4. 1		14. 10. 27	
2015		16. 3. 31		16. 6. 30		16. 6. 30
	2000		00. 3. 31 00. 4. 1		02. 10. 26 02. 10. 28	
2005		02. 10. 26 02. 10. 28		08. 6. 30 08. 7. 1		08. 10. 26 98. 10. 27
	2010		12. 3. 31 12. 4. 1		14. 10. 27	
2015		16. 3. 31		16. 6. 30		16. 6. 30
	2005		02. 10. 26 02. 10. 28		08. 6. 30 08. 7. 1	
2010		12. 3. 31 12. 4. 1		14. 10. 27		14. 10. 27
	2015		16. 3. 31		16. 6. 30	
2005		02. 10. 26 02. 10. 28		08. 6. 30 08. 7. 1		08. 10. 26 98. 10. 27
	2010		12. 3. 31 12. 4. 1		14. 10. 27	
2015		16. 3. 31		16. 6. 30		16. 6. 30

2. 各種委員一覧

町田市生涯学習審議会委員（任期：2012. 5. 23～2014. 3. 31）

氏名	区分	氏名	区分
天 利 公 一	社会教育委員	岩 本 陽 児	生涯学習又は社会教育に関する関係機関の代表
野 澤 滋 享	〃	川 島 演	〃
槻 木 珠 美	〃	松 尾 昇 治	〃
川 田 三 郎	〃	宮 島 栄 一	〃
瓜 生 ふみ子	〃	山 城 讓 治	〃
森 口 克 弘	〃	浦 崎 道 教	公募による市民
藪 田 碩 哉	〃	北 垣 忠 久	〃

町田市社会教育委員（任期：2012. 4. 1～2014. 3. 31）

氏名	区分	氏名	区分
天 利 公 一※	学校教育関係者	瓜 生 ふみ子	社会教育関係者
野 澤 滋 享	家庭教育の向上に資する活動を行う者	森 口 克 弘	学識経験者
槻 木 珠 美	社会教育関係者	藪 田 碩 哉	〃
川 田 三 郎	社会教育関係者		

※任期2012. 5. 23～2014. 3. 31

町田市国史跡高ヶ坂石器時代遺跡保存管理計画策定検討委員会（任期 2012. 12. 1～2014. 3. 31）

氏 名	区 分	氏 名	区 分
山 本 暉 久	学識経験者	谷 川 章 雄	学識経験者
阿 部 朝 衛	学識経験者	小 島 政 孝	市 民
井 上 恭 一	市 民	稲 木 健 志	市 民

町田市生涯学習センター運営協議会委員（任期2012. 4. 1～2014. 3. 31）

氏 名	区 分	氏 名	区 分
石 川 清	学識経験を有する者	柳 沼 恵 一	公募による市民
岩 本 陽 児	〃	菅 谷 万里子	小学校校長会
辰 巳 厚 子	〃	並 木 修※1	中学校校長会
中 村 香	〃	天 利 公 一※2	中学校校長会
小 川 久 江	家庭教育支援活動の経験を有する者	川 島 演	生涯学習又は社会教育の活動の経験を有する者
黒 田 純 子	公募による市民	富 川 尚 子	〃
佐 合 昭 浩	〃	西 原 要四郎	〃
竹 葉 かほる	〃	押 村 宙 枝※3	〃

※1:任期2012. 5. 23～2013. 3. 31 ※2:任期2013. 5. 17～2014. 3. 31 ※3:任期2012. 9. 4～2014. 3. 31

町田市立図書館協議会委員（任期2011. 8. 1～2013. 7. 31）

氏 名	区 分	氏 名	区 分
富 田 直 人	学校教育関係者	玉 目 哲 廉	社会教育関係者
石 井 清 文	〃	竹 内 美 季	〃
市 川 美 奈	家庭教育の向上に資 する活動を行う者	山 口 洋	〃
水 越 規 容 子	社会教育関係者	沢 里 冬 子	学識経験者
久 保 礼 子	〃	松 尾 昇 治	〃

町田市文化財保護審議会委員（任期2011. 6. 1～2013. 5. 31）

氏 名	区 分	氏 名	区 分
阿 部 朝 衛	考 古 学	大 野 敏	建 築 史
池 上 裕 子	日本中世史・近世史	小 島 政 孝	郷 土 史
井 上 恭 一	郷 土 史	鶴 卷 孝 雄	日本近代史
内 野 秀 重	自 然 誌	八 木 橋 伸 浩	民 俗 学

■ 各委員一覧は、2013年5月1日現在のものです。



3. 小学校一覧

(2013年5月1日現在)

No.	学校名	所在地	電話	開校年月日	開校記念日	校長名	学級数	児童数	特別支援学級の児童数
1	町田第一	中町1-20-30	722・3105	明6.5.1	6月11日	宮島 徹	19(2・2)	597	知11 情10
2	町田第二	原町田4-26-40	722・3316	昭27.4.1	6月25日	菅谷万里子	13(2)	396	知9
3	町田第三	本町田1212	722・3329	昭27.4.1	6月10日	黒沢志津夫	16	496	
4	町田第四	森野2-21-28	722・3727	昭30.4.1	6月15日	丸 節子	18	603	(情)69
5	町田第五	玉川学園4-14-7	725・8178	昭38.4.1	6月1日	樋口 明	17(1)	535	知4
6	町田第六	南大谷1260	722・3659	昭40.4.1	6月1日	金武 素子	12(1)	360	肢8
7	南大谷	南大谷811-1	725・2551	昭49.4.1	6月10日	西岡 郁雄	17(3)	569	知24
8	藤の台	金井町3040-15	726・1005	昭48.4.1	6月1日	山下 勝弘	18(2)	578	知13
9	本町田東	本町田3350	722・8193	昭45.4.1	6月22日	宮崎倉太郎	12	345	(弱)6 (難)11 (言)41
10	本町田	本町田2032	721・5561	平14.4.1	6月24日	渡辺 恒彦	17(3)	506	知21
11	南第一	鶴間187	795・2274	明6.6.10	6月10日	佐野 友隆	17	555	
12	南第二	成瀬4797	727・0805	明6.6.1	6月1日	中村 雄一	13(2)	403	知12
13	南第三	金森東1-2-1	722・2663	昭33.4.1	6月2日	吉田 孔一	14	444	
14	南第四	金森東3-21-1	796・1326	昭43.4.1	5月21日	宇田 陽一	15(2・2)	503	知12 情9
15	つくし野	つくし野2-21-11	795・3295	昭47.4.1	5月27日	金子 謙	12	411	
16	小川	小川3-10-1	795・0002	昭50.4.1	6月9日	高野 和美	19	619	
17	成瀬台	成瀬台2-5-2	723・3001	昭50.4.1	6月10日	岩田恵美子	20	669	(情)45
18	鶴間	鶴間1083	796・1951	昭52.4.1	6月9日	小林 光市	17	525	
19	高ヶ坂	高ヶ坂729	725・4295	昭53.4.1	6月1日	原田 好美	12	364	
20	成瀬中央	成瀬2-8	728・6020	昭54.4.1	6月10日	大泉 永	6	201	
21	南成瀬	南成瀬3-6	726・1080	昭55.4.1	6月16日	大橋 明	18	539	(情)46
22	南つくし野	南つくし野2-4-8	796・1950	昭55.4.1	6月10日	秋元みさ子	22(4)	746	知27
23	鶴川第一	野津田町1290	735・1234	明41.4.1	10月6日	村上 貞司	23	788	

No.	学校名	所在地	電話	開校年月日	開校記念日	校長名	学級数	児童数	特別支援学級の児童数
24	鶴川第二	能ヶ谷 7-24-1	735・5498	昭39. 5. 1	5月1日	後藤 良秀	20 (2)	651	知 11
25	鶴川第三	鶴川 6-5	735・2127	昭43. 1. 8	10月2日	貝原 俊明	18	567	(情)50
26	鶴川第四	鶴川 3-22	735・2868	昭46. 4. 1	6月20日	山崎 聡	24 (3)	777	知 18
27	金 井	金井町 2612-183	735・0010	昭53. 4. 1	6月1日	石井 清文	18 (2)	595	知 15
28	大 蔵	大蔵町 286	734・2321	昭55. 4. 1	6月16日	麻生 豊	25	849	
29	三 輪	三輪町 330-1	044・988・5214	昭57. 4. 1	6月7日	増川 知子	17	559	
30	忠 生	忠生 3-10-2	791・1021	大元. 9. 1	6月13日	池田 雅志	19 (3)	638	知 20
31	小 山 田	上小山田町 614	797・1824	昭27. 5. 20	5月20日	富田 逸夫	17	510	
32	忠生第三	木曾東 3-11-3	791・0721	昭37. 4. 1	6月12日	古澤 厚人	17	537	(情)35
33	山 崎	忠生 2-15-26	793・2004	昭55. 4. 1	6月10日	最上 稔久	12 (1)	362	肢 6 (難) 7
34	小山田南	小山田桜台 2-7	797・4541	昭59. 4. 1	5月30日	松本 啓吾	19 (3)	581	知 18
35	木曾境川	木曾西 1-9-1	791・2086	平13. 4. 1	11月1日	宇賀神礼子	14 (2)	440	知 15
36	七 国 山	山崎町 1314-2	791・2171	平15. 4. 1	6月23日	山本 弘明	21 (4)	702	知 30
37	函 師	函師町 239-19	789・6361	平21. 4. 1	1月30日	西久保律子	19	551	(情)48
38	小 山	小山町 944	797・2733	明 6. 5. 1	5月1日	篠田 康昌	26 (2)	841	知 13
39	小山ヶ丘	小山ヶ丘 5-37	770・6251	平17. 4. 1	11月12日	室屋 憲一	24 (1)	794	知 7
40	小山中央	小山ヶ丘 3-7-1	798・0670	平22. 4. 1	1月29日	岡部ひとみ	25 (1)	833	知 8 (情) 65
41	相 原	相原町 1673	771・2341	明 7. 7. 20	6月20日	小林 憲市	18 (2)	577	知 10
42	大 戸	相原町 3765-3	782・9091	昭58. 4. 1	6月6日	守屋 裕一	6	143	

1. 学級数欄のカッコ内の数字は特別支援学級数で、外数です。

2. 特別支援学級欄の表示は次のとおりです。

「知」→特別支援学級（知的障がい） 「情」→特別支援学級（情緒障がい） 「肢」→特別支援学級（肢体不自由）

「難」→特別支援学級（難聴） 「言」→特別支援学級（言語障がい） 「弱」→特別支援学級（弱視）

・カッコ書きは通級学級です。

・数字は児童数です。

4. 中学校一覧

(2013年 5月 1日現在)

No.	学校名	所在地	電話	開校年月日	開校記念日	校長名	学級数	生徒数	特別支援学級の生徒数
1	町田第一	中町 1-27-5	722・2420	昭 22. 4. 1	5月 26日	天利 公一	21(4・2)	772	知 33 肢 9
2	町田第二	南大谷 1327	722・1101	昭 32. 4. 1	5月 6日	富田 直人	15	542	(難) 5 (情) 53
3	町田第三	本町田 1853	722・6095	昭 43. 4. 1	5月 27日	永関 和雄	12	432	(情) 16
4	南大谷	南大谷 985-1	723・5567	昭 50. 4. 1	5月 27日	千田 実	12(3)	421	知 18
5	南	金森 3-27-1	796・2248	昭 22. 4. 1	5月 1日	有賀 章	20(3)	768	知 17
6	つくし野	南つくし野 2-14-2	795・0323	昭 50. 9. 1	9月 30日	山口 好司	24(4)	854	知 29
7	成瀬台	成瀬台 2-5-1	728・6030	昭 54. 4. 1	5月 26日	石上 昌弘	13(2)	470	知 15
8	南成瀬	南成瀬 7-7-1	729・3441	昭 57. 4. 1	6月 1日	吉川 篤	15	561	
9	鶴川	小野路町 1905-1	735・2405	昭 22. 4. 1	5月 1日	花田 英樹	15(2)	525	知 12
10	鶴川第二	鶴川 6-4	734・4343	昭 48. 4. 1	6月 1日	栗野 正石	21	811	
11	葉師	金井 1-20-1	725・5002	昭 46. 4. 1	6月 1日	布施 洋輔	11(3)	367	知 17
12	真光寺	真光寺 3-8-1	734・4605	昭 55. 4. 1	5月 1日	戸塚 吉彦	10	344	
13	金井	金井 6-15-1	734・0259	昭 59. 4. 1	6月 1日	武内 愛樹	14	465	
14	忠生	忠生 3-14-1	791・0821	昭 22. 4. 1	5月 1日	大石 龍	17(3)	593	知 22
15	山崎	山崎町 1445	793・1021	昭 54. 4. 1	6月 2日	萩原 和彦	10(3)	332	知 17
16	木曾	木曾西 2-4-9	792・3081	昭 58. 4. 1	6月 6日	岩田 敏行	9	329	
17	小山田	小山田桜台 1-12	797・4545	昭 59. 4. 1	6月 25日	橋本 雅彦	16	559	
18	小山	小山ヶ丘 1-2-4	798・1251	平 24. 4. 1	1月 11日	大川 武司	14	510	(情) 22
19	堺	相原町 752	771・2348	昭 22. 4. 1	5月 1日	比良田健一	19(1)	663	知 8
20	武蔵岡	相原町 3865	782・9155	昭 58. 4. 1	6月 6日	守屋 裕一	3	80	

1. 学級数欄のカッコ内の数字は特別支援学級数で、外数です。

2. 特別支援学級欄の表示は次のとおりです。

「知」→特別支援学級（知的障がい）

「情」→特別支援学級（情緒障がい）

「肢」→特別支援学級（肢体不自由）

「難」→特別支援学級（難聴）

・カッコ書きは通級学級です。

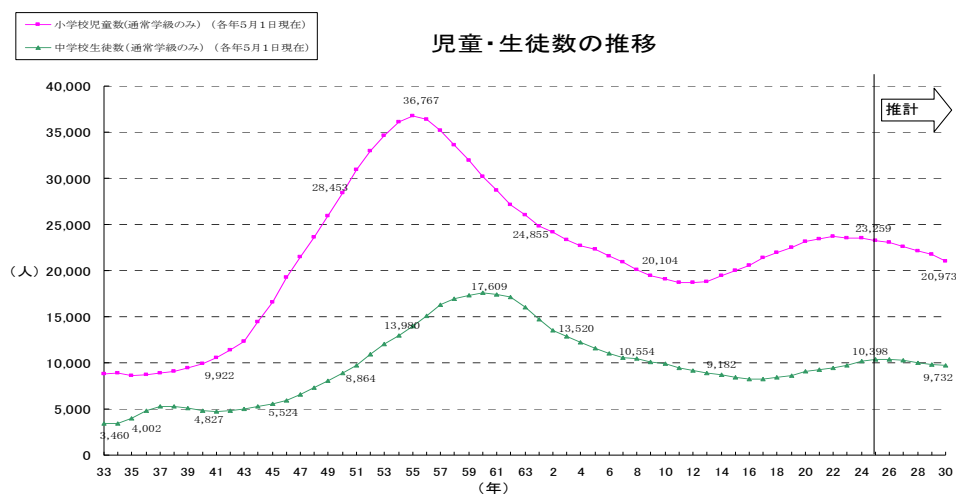
・数字は生徒数です。

5. 児童・生徒・学級数の推移

学級数、児童数、生徒数欄のカッコ内の数は特別支援学級で、外数です。

(各年5月1日現在)

年度	小学校			中学校			合計		
	学校数	学級数	児童数	学校数	学級数	生徒数	学校数	学級数	児童・生徒数
平元	44	721 (29)	24,855 (116)	20	370 (14)	14,763 (87)	64	1,091 (43)	39,618 (203)
2	44	719 (30)	24,162 (113)	20	355 (13)	13,520 (67)	64	1,074 (43)	37,682 (180)
3	44	711 (30)	23,376 (120)	20	350 (13)	12,912 (63)	64	1,061 (43)	36,288 (183)
4	44	698 (30)	22,699 (123)	20	333 (14)	12,221 (61)	64	1,031 (44)	34,920 (184)
5	44	681 (31)	22,171 (130)	20	313 (12)	11,512 (62)	64	994 (43)	33,683 (192)
6	44	672 (35)	21,605 (123)	20	303 (12)	11,047 (62)	64	975 (47)	32,652 (185)
7	44	655 (36)	20,968 (119)	20	291 (16)	10,554 (66)	64	946 (52)	31,522 (185)
8	44	638 (36)	20,104 (139)	20	291 (16)	10,420 (68)	64	929 (52)	30,524 (207)
9	44	613 (38)	19,444 (145)	20	281 (15)	10,110 (64)	64	894 (53)	29,554 (209)
10	44	613 (36)	19,062 (152)	20	275 (15)	9,892 (67)	64	888 (51)	28,954 (219)
11	44	604 (37)	18,747 (146)	20	262 (17)	9,471 (77)	64	866 (54)	28,218 (223)
12	44	600 (38)	18,675 (160)	20	257 (21)	9,182 (86)	64	857 (59)	27,857 (246)
13	43	603 (39)	18,831 (160)	20	252 (20)	8,893 (93)	63	855 (59)	27,724 (253)
14	41	616 (31)	19,411 (167)	20	247 (15)	8,725 (85)	61	863 (46)	28,136 (252)
15	39	628 (36)	20,013 (199)	20	241 (15)	8,453 (81)	59	869 (51)	28,466 (280)
16	39	639 (37)	20,582 (222)	20	240 (16)	8,287 (98)	59	879 (53)	28,869 (320)
17	40	656 (41)	21,418 (246)	20	236 (17)	8,215 (104)	60	892 (58)	29,633 (350)
18	40	669 (44)	21,973 (268)	20	242 (22)	8,393 (125)	60	911 (66)	30,366 (393)
19	40	686 (51)	22,572 (299)	20	244 (20)	8,660 (120)	60	930 (71)	31,232 (419)
20	40	696 (48)	23,111 (302)	20	255 (23)	9,091 (148)	60	951 (71)	32,202 (450)
21	41	710 (48)	23,398 (312)	20	259 (27)	9,235 (179)	61	969 (75)	32,633 (491)
22	42	715 (51)	23,687 (320)	20	265 (30)	9,444 (209)	62	980 (81)	33,131 (529)
23	42	720 (51)	23,554 (314)	19	272 (34)	9,732 (221)	61	992 (85)	33,286 (535)
24	42	735 (51)	23,407 (318)	20	281 (31)	10,076 (205)	62	1,016 (82)	33,483 (523)
25	42	726 (52)	23,259 (331)	20	291 (30)	10,398 (197)	62	1,017 (82)	33,656 (528)



6. 学校施設一覽

2013年5月1日現在

小学校	体育館		プール		校地面積	校舎面積 ^{m²}			教室数	
	年月	面積	年月	面積		鉄筋	鉄骨外	合計	普通	特別
町田第一小学校	平 14. 9	1,259 m ²	平 14. 9	25m×10m	12,570	4,979	37	5,016	23	12
町田第二小学校	昭 48. 3	668 m ²	昭 44. 7	25m×10m	9,923	4,330	74	4,404	15	12
町田第三小学校	昭 49. 11	684 m ²	昭 46. 7	25m×10m	13,892	4,823	419	5,242	17	13
町田第四小学校	昭 49. 6	691 m ²	昭 44. 7	25m×10m	15,677	5,490	85	5,575	19	20
町田第五小学校	昭 48. 3	681 m ²	昭 44. 7	25m×9m	12,426	5,314	46	5,360	19	19
町田第六小学校	昭 47. 3	701 m ²	昭 44. 7	25m×10m	15,702	5,559	105	5,664	15	14
南大谷小学校	昭 51. 9	706 m ²	昭 49. 7	25m×10m	14,099	5,258	119	5,377	22	9
藤の台小学校	昭 49. 11	726 m ²	昭 48. 7	25m×10m	13,322	5,835	92	5,927	22	16
本町田東小学校	昭 49. 5	736 m ²	昭 46. 7	25m×10m	16,771	5,706	17	5,723	12	18
※ ¹ 本町田小学校	(昭 53. 6)	659 m ²	(昭 52. 6)	25m×10m	17,509	5,746	172	5,918	19	18
南第一小学校	昭 46. 2	675 m ²	昭 57. 3	25m×10m	13,650	5,910	68	5,978	17	15
南第二小学校	昭 53. 7	743 m ²	昭 54. 3	25m×10m	16,500	5,970	62	6,032	15	14
南第三小学校	昭 49. 9	723 m ²	昭 52. 6	25m×10m	11,063	4,964	96	5,060	14	21
南第四小学校	昭 48. 10	678 m ²	昭 44. 7	25m×10m	15,825	5,323	331	5,654	18	19
つくし野小学校	昭 48. 3	668 m ²	昭 46. 7	25m×10m	15,197	4,156	106	4,262	12	13
小川小学校	昭 52. 8	703 m ²	昭 50. 7	25m×10m	16,076	5,776	51	5,827	19	16
成瀬台小学校	昭 52. 7	703 m ²	昭 50. 6	25m×10m	16,513	6,483	95	6,578	20	19
鶴間小学校	昭 53. 7	710 m ²	昭 52. 6	25m×10m	19,910	5,115	186	5,301	17	9
高ヶ坂小学校	昭 54. 5	683 m ²	昭 53. 6	25m×10m	18,639	3,656	948	4,604	12	11
成瀬中央小学校	昭 55. 3	682 m ²	昭 54. 6	25m×10m	16,509	4,720	169	4,889	6	13
南成瀬小学校	昭 55. 5	780 m ²	昭 55. 6	25m×10m	16,228	6,139	13	6,152	18	18
南つくし野小学校	昭 55. 3	694 m ²	昭 55. 5	25m×10m	14,653	6,448	13	6,461	27	11
鶴川第一小学校	昭 47. 3	668 m ²	昭 44. 8	25m×10m	19,362	4,577	121	4,698	21	8
鶴川第二小学校	昭 48. 2	668 m ²	昭 41. 6	25m×10m	21,571	5,442	1110	6,552	23	15
鶴川第三小学校	昭 49. 11	724 m ²	昭 44. 8	25m×10m	19,828	7,070	27	7,097	18	30
鶴川第四小学校	昭 49. 12	724 m ²	昭 46. 7	25m×10m	19,829	6,634	91	6,725	27	19
金井小学校	昭 53. 5	708 m ²	昭 53. 7	25m×10m	16,072	5,361	71	5,432	20	10
大蔵小学校	昭 55. 3	695 m ²	昭 55. 7	25m×10m	19,223	5,458	1119	6,577	25	13
三輪小学校	昭 57. 7	725 m ²	昭 57. 7	25m×10m	13,812	5,026	0	5,026	17	11
※ ² 忠生小学校	昭 47. 3	668 m ²	昭 45. 9	25m×10m	14,228	5,246	1391	6,637	24	13
小山田小学校	昭 55. 11	888 m ²	昭 55. 10	25m×10m	18,617	4,157	782	4,939	17	8
忠生第三小学校	昭 51. 6	689 m ²	昭 44. 7	25m×10m	13,138	5,586	82	5,668	17	22
山崎小学校	昭 55. 3	732 m ²	昭 55. 6	25m×10m	16,299	5,236	141	5,377	13	17
小山田南小学校	昭 59. 3	710 m ²	昭 59. 5	25m×10m	17,833	6,321	670	6,991	22	15

※ ¹ 木曾境川小学校	(昭53.5)	681 m ²	(昭52.6)	25m×10m	16,735	5,501	225	5,726	15	16
※ ¹ 七国山小学校	(昭51.3)	653 m ²	(昭51.6)	25m×10m	22,772	4,928	1345	6,273	25	11
小学校	体育館		プール		校地面積	校舎面積m ²			教室数	
	年月	面積	年月	面積		鉄筋	鉄骨外	合計	普通	特別
函師小学校	平21.3	1,161 m ²	平21.3	25m×11.4m	20,542	7,043	0	7,043	20	20
小山小学校	昭51.9	714 m ²	昭53.6	25m×10m	20,716	6,433	120	6,553	28	12
小山ヶ丘小学校	平17.3	1,045 m ²	平17.3	25m×10m	15,743	8,402	0	8,402	27	18
小山中央小学校	平22.2	1,101 m ²	平22.2	25m×11.2m	29,125	8,236	0	8,236	24	18
相原小学校	昭48.3	668 m ²	昭61.5	25m×10m	13,246	6,145	33	6,178	21	15
※ ³ 大戸小学校	昭58.4	753 m ²	昭58.5	25m×10m	26,738	5,476	0	5,476	9	19

※¹ は学校適正規模適正配置事業に伴う統合校で、()内は旧施設完成年月となります。

※² 忠生第一小学校は、2011年9月1日より、忠生小学校に校名変更しました。

※³ 大戸小学校は小中一貫校(大戸小学校と武蔵岡中学校=ゆくのき学園)に整備したため、大戸小学校内にある教室数には中学校使用分も含まれます。

中学校	体育館		プール		校地面積	校舎面積m ²			教室数	
	年月	面積	年月	面積		鉄筋	鉄骨外	合計	普通	特別
町田第一中学校	平4.8	1,366 m ²	平4.8	25m×11m	15,113	6,749	1,369	8,118	24	22
町田第二中学校	昭57.3	976 m ²	昭43.8	25m×11m	17,684	6,562	208	6,770	15	26
町田第三中学校	昭47.3	702 m ²	昭44.12	25m×11m	14,196	5,470	78	5,548	12	23
南大谷中学校	昭51.7	944 m ²	昭50.6	25m×11m	19,026	6,263	164	6,427	16	17
南中学校	平11.2	1,924 m ²	平11.2	25m×11m	24,928	7,099	94	7,193	22	21
つくし野中学校	昭51.6	983 m ²	昭51.7	25m×11m	16,527	7,676	150	7,826	29	19
成瀬台中学校	昭54.5	992 m ²	昭54.6	25m×11m	16,502	8,231	143	8,374	16	26
南成瀬中学校	昭57.3	1,084 m ²	昭57.3	25m×11m	19,962	6,680	0	6,680	15	23
鶴川中学校	平14.1	1,293 m ²	平14.1	25m×11m	19,656	10,821	0	10,821	16	27
鶴川第二中学校	昭48.10	772 m ²	昭48.8	25m×11m	16,520	7,490	146	7,636	21	19
薬師中学校	昭47.3	710 m ²	昭46.7	25m×11m	20,048	6,539	83	6,622	14	22
真光寺中学校	昭55.5	947 m ²	昭55.6	25m×11m	17,940	6,179	148	6,327	10	17
金井中学校	昭59.5	1,048 m ²	昭59.5	25m×11m	20,323	5,385	32	5,417	14	13
忠生中学校	平5.8	2,206 m ²	平5.8	25m×11m	22,021	7,966	86	8,052	15	24
山崎中学校	昭54.5	1,005 m ²	昭54.6	25m×11m	22,042	6,813	160	6,973	15	21
木曾中学校	昭58.3	1,031 m ²	昭58.5	25m×11m	21,599	6,455	0	6,455	9	21
小山田中学校	昭59.3	1,085 m ²	昭59.3	25m×11m	21,274	5,312	949	6,261	16	19
小山中学校	平24.2	1,231 m ²	平24.2	25m×13m	26,148	9,361	0	9,361	24	26
堺中学校	平20.2	1,234 m ²	平20.2	25m×11m	14,907	7,600	66	7,666	21	18
武蔵岡中学校	昭58.5	904 m ²	昭58.5	25m×11m	29,574	3,981	0	3,981	0	17

7. 学校施設新增改築のあゆみ

※建築面積とは保有面積のことであり、数値は建築時のものです。

学校名	1期			2期			3期			4期			5期			
	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室
町田第一小学校	昭44.7	給(140) 3,947㎡	26	4	平14.9	1,032㎡	0	3								
町田第二小学校	昭40.3	1,819㎡	12	3	昭45.8	給(144) 1,600㎡	9	1	昭47.9	370㎡	訪問学級		昭55.8	911㎡	4	2
町田第三小学校	昭41.3	747㎡	4	2	昭43.7	571㎡	6	0	昭45.10	給(146) 1,782㎡	10	1	昭49.11	1,857㎡	7	4
町田第四小学校	昭46.5	1,244㎡	11	0	昭47.9	給(200) 1,236㎡	5	0	昭48.1	1,826㎡	11	4	昭49.6	1,198㎡	5	3
町田第五小学校	昭42.3	630㎡	6	0	昭45.6	604㎡	3	3	昭51.8	2,907㎡	12	3	昭52.12	給(271) 1,139㎡	6	2
町田第六小学校	昭40.3	1,819㎡	12	3	昭41.12	659㎡	3	0	昭42.9	給(151) 451㎡	5	0	昭44.6	941㎡	8	0
南大谷小学校	昭48.12	給(293) 3,820㎡	20	4	昭51.9	1,438㎡	5	3								
藤の台小学校	昭48.3	給(347) 4,007㎡	22	5	昭49.11	1,578㎡	7	4	昭51.6	370㎡	4	0				
本町東小学校	昭45.7	2,349㎡	12	3	昭46.3	1,311㎡	9	1	昭48.7	1,368㎡	11	0	昭49.5	678㎡	0	4
本町田小学校	平15.3	給(344) 5,918㎡	18	11												
南第一小学校	昭41.3	1,820㎡	10	4	昭44.2	507㎡	6	0	昭45.8	909㎡	8	0	昭54.9	給(265) 2,626㎡	4	4
南第二小学校	昭53.7	給(307) 6,018㎡	25	6												
南第三小学校	昭46.3	1,185㎡	11	0	昭47.8	給(204) 488㎡	3	0	昭48.5	889㎡	5	1	昭49.9	2,402㎡	8	5
南第四小学校	昭42.2	766㎡	4	2	昭42.10	1,260㎡	11	0	昭44.10	給(144) 960㎡	4	1	昭48.3	1,385㎡	7	2
つくし野小学校	昭46.3	1,147㎡	6	1	昭47.3	給(163) 1,511㎡	6	2	昭49.10	1,711㎡	11	3				
小川小学校	昭50.3	3,025㎡	13	3	昭51.6	1,029㎡	7	0	昭52.8	666㎡	0	4	昭53.8	1,149㎡	8	3
成瀬台小学校	昭50.3	2,771㎡	11	3	昭51.5	1,846㎡	11	1	昭52.7	666㎡	0	4	昭53.8	1,413㎡	15	0
鶴間小学校	昭52.3	3,814㎡	15	5	昭53.7	1,554㎡	6	0	昭62.2	給(223)						
高ヶ坂小学校	昭53.5	3,799㎡	12	5	昭55.3	給(181)			平3.3	424㎡	0	1				
成瀬中央小学校	昭54.5	給(333) 5,088㎡	20	5												
南成瀬小学校	昭55.5	給(255) 6,127㎡	25	9												
南つくし野小学校	昭55.5	給(254) 6,461㎡	26	8												

学校名	1期				2期				3期				4期				5期			
	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室
鶴川第一小学校	昭41.3	1,603㎡	12	3	昭41.5	866㎡	6	0	昭45.3	619㎡	3	1	昭50.7	1,234㎡	6	2	昭55.3	給(241)		
鶴川第二小学校	昭48.10	1,738㎡	13	1	昭49.11	1,875㎡	10	2	昭51.6	1,730㎡	3	3	昭60.3	給(212)			平20.3	1,119㎡	4	2
鶴川第三小学校	昭42.9	2,268㎡	12	2	昭44.11	874㎡	8	0	昭47.3	1,858㎡	7	4	昭49.11	1,983㎡	8	6	昭54.3	給(321)		
鶴川第四小学校	昭46.3	3,308㎡	20	3	昭48.3	給(238) 1,665㎡	8	3	昭49.12	666㎡	0	4	昭50.6	1,178㎡	8	0				
金井小学校	昭53.3	給(293) 5,432㎡	24	5																
大蔵小学校	昭55.5	給(252) 5,554㎡	25	5	平17.11	132㎡	0	1	平19.3	443㎡	4	2	平19.3	891㎡	4	2				
三輪小学校	昭57.7	給(256) 4,349㎡	15	6	平4.2	662㎡	4	1												
忠生小学校	昭42.1	1,406㎡	14	0	昭43.7	1,245㎡	4	2	昭45.6	781㎡	5	1	昭48.7	1,803㎡	6	4	昭57.3	給(179)		
小山田小学校	昭55.11	給(220) 4,157㎡	11	5	昭63.3	179㎡	2	0	平18.3	498㎡	2	2								
忠生第三小学校	昭49.11	2,626㎡	20	0	昭52.12	給(250) 2,882㎡	10	7												
山崎小学校	昭55.5	給(257) 5,377㎡	21	6																
小山田南小学校	昭59.3	給(244) 4,845㎡	18	5	昭60.3	1,688㎡	9	2	昭62.3	406㎡	2	1								
木曾境川小学校	平14.3	給(428) 6,407㎡	13	11																
七国山小学校	平16.3	給(395) 6,273㎡	20	9																
図師小学校	平21.3	給(394) 7,043㎡	17	19																
小山小学校	昭51.9	給(257) 5,237㎡	23	6	昭57.3	1,303㎡	8	2												
小山ヶ丘小学校	平17.3	給(505) 8,402㎡	26	15																
小山中央小学校	平22.2	給(485) 8,236㎡	22	17																
相原小学校	昭44.3	900㎡	8	0	昭46.3	488㎡	6	0	昭51.6	2,192㎡	10	4	昭52.12	給(389) 2,439㎡	6	3				
大戸小学校	昭58.5	給(251) 4,967㎡	18	6	平5.12	473㎡	2	0												

学校名	6期			
	年月	建築面積	普通教室	特別教室
南第四小学校	平15.3	給(88) 167㎡		
忠生小学校	平16.3	給(93) 1,338㎡	6	2

学校名	1期				2期				3期				4期				5期			
	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室
町田第一中学校	昭37.8	1,987㎡	10	3	昭39.3	1,440㎡	9	3	昭45.7	1,320㎡	9	0	昭48.10	1,666㎡	0	8	昭51.8	514㎡	訪問学級	
町田第二中学校	昭47.12	1,445㎡	9	1	昭49.1	2,041㎡	14	3	昭50.12	3,052㎡	1	13								
町田第三中学校	昭43.3	2,981㎡	12	8	昭46.3	749㎡	6	0	昭47.3	683㎡	0	4	昭49.5	1,021㎡	6	2				
南大谷中学校	昭50.3	4,289㎡	18	7	昭51.7	784㎡	0	4	昭51.9	1,344㎡	7	0								
南中学校	昭43.8	762㎡	9	0	昭46.3	1,226㎡	6	2	昭47.3	2,116㎡	13	1	昭52.9	2,605㎡	4	9				
つくし野中学校	昭50.7	4,643㎡	17	8	昭53.8	2,164㎡	10	4	昭61.1	1,010㎡	3	3								
成瀬台中学校	昭54.5	5,987㎡	23	10	昭56.5	1,242㎡	10	1	昭61.5	1,145㎡	0	5								
南成瀬中学校	昭57.3	6,700㎡	30	9																
鶴川中学校	平13.1	5,369㎡	13	18																
鶴川第二中学校	昭48.3	3,123㎡	15	3	昭48.10	818㎡	0	4	昭50.7	1,355㎡	8	2	昭57.3	2,269㎡	7	4				
薬師中学校	昭46.3	3,378㎡	12	7	昭47.3	692㎡	0	4	昭50.7	1,026㎡	7	1	昭55.3	1,492㎡	12	0				
真光寺中学校	昭55.5	6,327㎡	21	10																
金井中学校	昭59.5	5,403㎡	15	9																
忠生中学校	昭48.7	2,146㎡	11	4	昭49.11	4,439㎡	12	10	昭56.5	1,225㎡	10	0								
山崎中学校	昭54.5	6,103㎡	22	9	昭62.3	870㎡	0	3												
木曾中学校	昭58.5	6,487㎡	20	10																
小山田中学校	昭59.3	4,499㎡	13	8	昭60.3	748㎡	3	2	昭62.3	397㎡	0	2	昭63.3	207㎡	2	0	昭7.2	345㎡	1	1
小山中学校	平24.2	9,361㎡	24	26																
堺中学校	昭47.11	1,437㎡	12	0	昭48.8	2,096㎡	6	7	昭55.5	2,308㎡	4	3	昭50.2	292㎡	格教室	昭20.2	3,031㎡	校舍棟及び体育館棟		
武蔵岡中学校	昭58.5	3,133㎡	9	5	平4.1	848㎡		2												

8. 小・中学校配置図

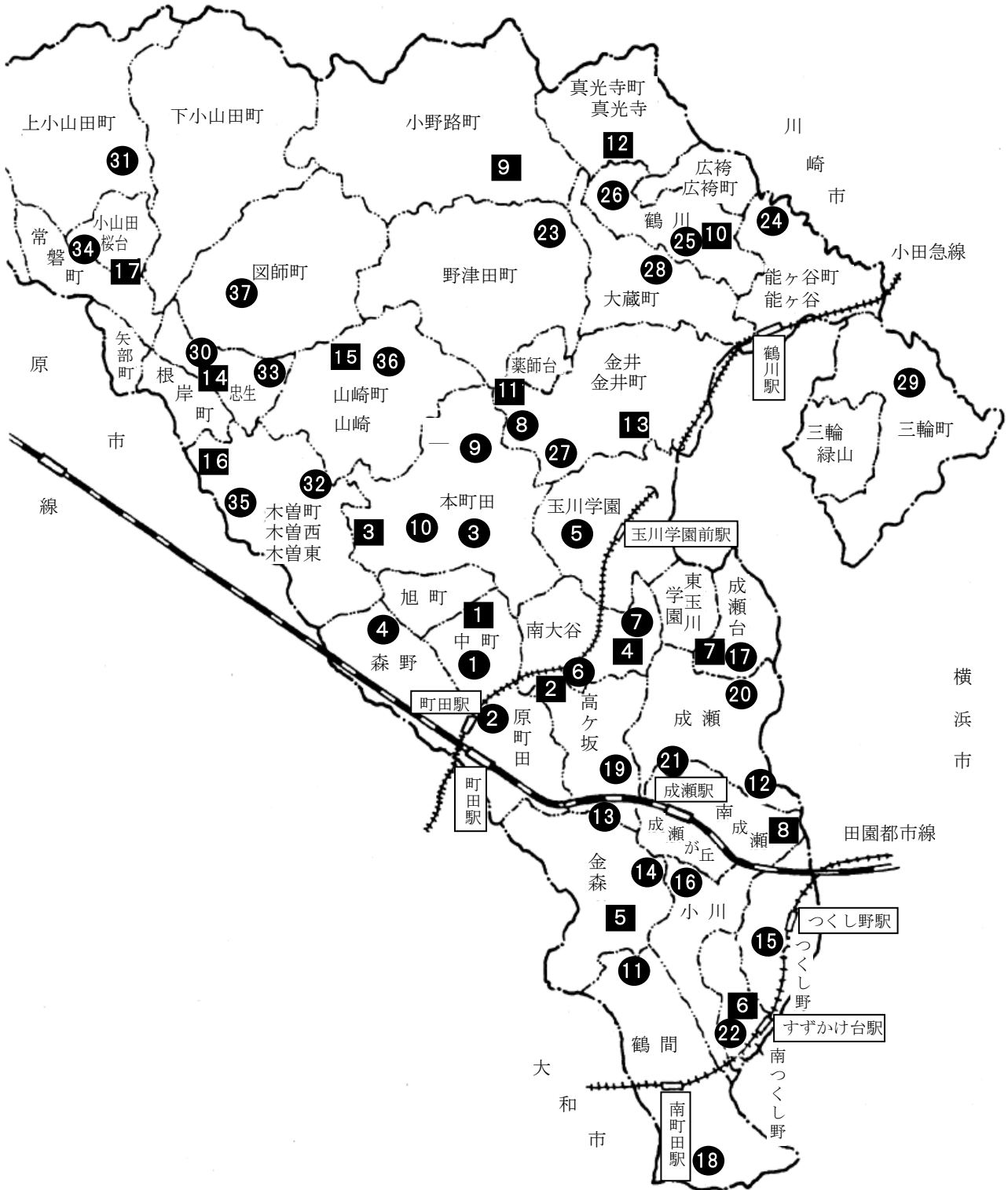


記号	小学校	記号	小学校
1	町田第一小学校	22	南つくし野小学校
2	町田第二小学校	23	鶴川第一小学校
3	町田第三小学校	24	鶴川第二小学校
4	町田第四小学校	25	鶴川第三小学校
5	町田第五小学校	26	鶴川第四小学校
6	町田第六小学校	27	金井小学校
7	南大谷小学校	28	大蔵小学校
8	藤の台小学校	29	三輪小学校
9	本町田東小学校	30	忠生小学校
10	本町田小学校	31	小山田小学校
11	南第一小学校	32	忠生第三小学校
12	南第二小学校	33	山崎小学校
13	南第三小学校	34	小山田南小学校
14	南第四小学校	35	木曾境川小学校
15	つくし野小学校	36	七国山小学校
16	小川小学校	37	函師小学校
17	成瀬台小学校	38	小山小学校
18	鶴間小学校	39	小山ヶ丘小学校
19	高ヶ坂小学校	40	小山中央小学校
20	成瀬中央小学校	41	相原小学校
21	南成瀬小学校	42	大戸小学校

記号	中学校
1	町田第一中学校
2	町田第二中学校
3	町田第三中学校
4	南大谷中学校
5	南中学校
6	つくし野中学校
7	成瀬台中学校
8	南成瀬中学校
9	鶴川中学校
10	鶴川第二中学校
11	薬師中学校
12	真光寺中学校
13	金井中学校
14	忠生中学校
15	山崎中学校
16	木曾中学校
17	小山田中学校
18	小山中学校
19	堺中学校
20	武蔵岡中学校

※2012年4月1日 大戸小学校と武蔵岡中学校が「小中一貫ゆくのき学園」として開校

多摩市

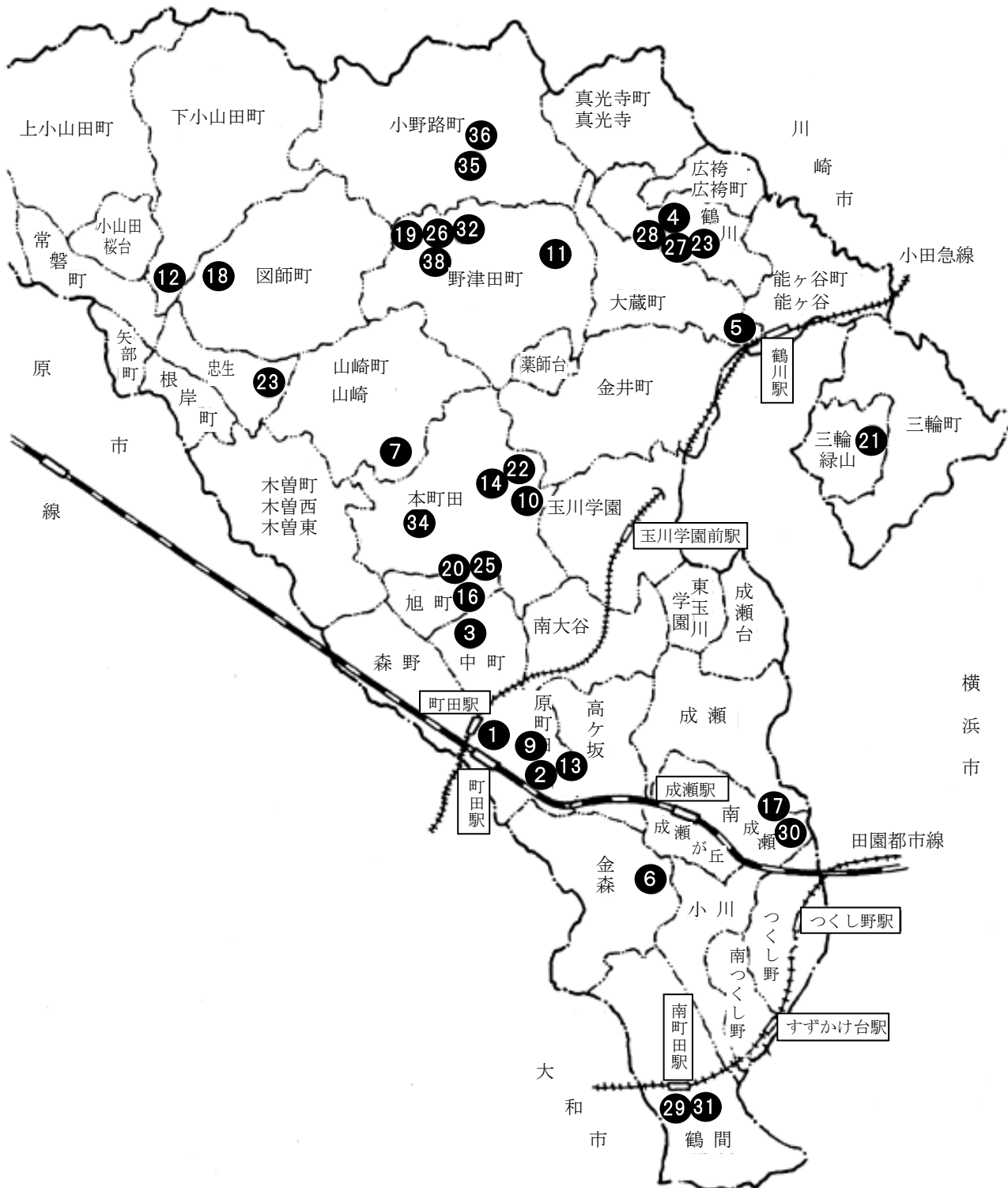


9. 社会教育施設配置図



記号	社会教育施設等	記号	社会教育施設等
①	生涯学習センター	②①	町田市民球場
②	中央図書館	②②	三輪みどり山球場
③	さるびあ図書館	②③	藤の台球場
④	鶴川図書館	②④	鶴川球場
⑤	鶴川駅前図書館	②⑤	忠生公園ソフトボール場
⑥	金森図書館	②⑥	町田中央公園テニスコート
⑦	木曾山崎図書館	②⑦	野津田公園テニスコート
⑧	堺図書館	②⑧	鶴川中央公園テニスコート
⑨	町田市民文学館ことばらんど	②⑨	鶴川第二テニスコート
⑩	市立博物館	③①	鶴間公園テニスコート
⑪	自由民権資料館	③②	成瀬クリーンセンターテニスコート
⑫	考古資料館	③③	鶴間公園運動広場
⑬	国際版画美術館	③④	上の原グラウンド
⑭	ひなた村	③⑤	相原中央グラウンド
⑮	大地沢青少年センター	③⑥	木曾山崎グラウンド
⑯	サン町田旭体育館	③⑦	小野路グラウンド
⑰	総合体育館	③⑧	小野路球場
⑱	室内プール	④①	相原中央テニスコート
⑲	陸上競技場	④②	野津田球場 野津田公園多目的広場

多摩市



10. 年表

明治

年	月	項目
1871 (明治 4)	2	小野郷学開校 (華嚴院、万松寺、大泉寺、南仙堂を輪番隔月)
1872 (明治 5)	8	学制発布
1873 (明治 6)	3	小野郷学解体
	4~5	市域に19の小学舎開校 小野学舎 (小野路)、智新学舎 (野津田)、有隣学舎 (上小山田)、又新学舎 (下小山田)、向明学舎 (函師)、励精学舎 (真光寺)、育英学舎 (大蔵)、研精学舎 (三輪)、新民学舎 (小山)、誠教学舎 (小山)、開曠学舎 (鶴間)、成高学舎 (成瀬)、共研学舎 (金井)、昭明学舎 (本町田)、真敬学舎 (南大谷)、日新学舎 (原町田)、誠意学舎 (木曾)、孝養学舎 (山崎)、相原学舎 (相原)
1874 (明治 7)		この年、大戸学舎開
1875 (明治 8)	6	県の指令により小学舎を学校と改称。村立の学校は村名に改定 (小野学舎が小野路学校、智新学舎が野津田学校、又新学舎が小山田学校、共研学舎が金井学校、昭明学舎が本町田学校、真敬学舎が大谷学校に改称)
1876 (明治 9)	7	小山田学校校舎新築
	8	誠教学舎が誠敬学校と改称、中村に校舎新築
1877 (明治 10)	4	大戸学校が奈良谷に移築
	7	有隣学校校舎新築
	10	金井学校校舎新築
		この年、研精学校が岡上学校と合併
1878 (明治 11)	3	成高学校が東雲寺火災により観性寺に移転
	5	橋本政直らが学習結社「責善社」を設立
	12	向明学校校舎新築
1879 (明治 12)	10	野津田学校校舎新築
1880 (明治 13)	2	研精学校から能ヶ谷学校が独立
	7	私立学校養英館が相原村に開業
		この年、細野喜代四郎・井上光治らが学習結社「琢磨会」を結成
		この年、成高学校は高ヶ坂学校が分立し、成瀬学校と改称
		この年、本町田学校が陶化学校と改称
1881 (明治 14)	1	石阪昌孝らが中心となり「武相懇親会」を開催
	11	石阪昌孝らが政治結社「融貫社」を設立
1882 (明治 15)	4	誠敬学校が小山学校と改称
	5	相原学校が中村に校舎新築 (通称八丹学校)
	7	政治結社「融貫社」が学習結社「融貫社講学会」に組織変更
1883 (明治 16)	2	野津田村に文武道場「凌霜館」が設立
		この年、研精学校校舎新築
		この年、日新学校校舎が浄運寺前に新築
1887 (明治 20)	10	開曠学校校舎が現南一小の地に新築
1889 (明治 22)	4	市制、町村制の施行により市域は5村 (町田村、南村、鶴川村、忠生村、堺村)
1890 (明治 23)	3	下小山田を中心に玉南青年会が設立
1891 (明治 24)	1	小山田、高ヶ坂の青年会が結成
1892 (明治 25)	3	成瀬青年会結成
	4	鶴川村井上村長が学校の一新を図るため校名を変更。一部を統合のうえ、第一鶴川尋常小学校から第五鶴川尋常小学校の5校とする
		相原学校、新民学校等が補習科を設置
		大戸学校が大戸尋常小学校と改称
1893 (明治 26)	4	南、北、西多摩三郡を東京府へ移す
1895 (明治 28)	2	鶴川高等小学校開校
	8	向明小学校に高等小学校併置
		鶴川村教育会設立
1899 (明治 32)		この年、小川青年会結成
1900 (明治 33)	12	高ヶ坂尋常小学校設立
1901 (明治 34)	4	相原尋常小学校に高等科併設
	5	小山尋常小学校に高等科併設
		この年、南部4ヶ村教育会設立
1902 (明治 35)	3	鶴川実業補習学校が発足
1903 (明治 36)	3	日新・陶化・大谷小学校が統合されて町田尋常高等小学校となる
	5	新民学校と小山尋常高等小学校が合併
1904 (明治 37)	4	小山尋常高等小学校校舎新築
1908 (明治 41)	4	鶴川村で第一・第二・第三・第四・第五鶴川尋常小学校と鶴川高等小学校が統廃合され、鶴川尋常高等小学校となり、小野路、三輪に分教場を設置
		大戸尋常小学校と相原尋常高等小学校が合併し、大戸分教場を設置
	5	開曠学校が南村尋常高等小学校と改称
1909 (明治 42)	6	現相原小の地に相原尋常小学校の新校舎完成

大正

年	月	項目
1912 (大正元)	9	忠生村で向明・小山田・有隣・誠意学校が統廃合され、忠生尋常高等小学校となり、小山田分教場を設置
1913 (大正2)	9	南第一農業補習夜学校、南第二農業補習夜学校が発足
1914 (大正3)	10	町田農業補習学校が発足 この年、函師青年会、本町田青年会が発足
1916 (大正5)	5	堺村青年団が創立
1917 (大正6)	1	忠生尋常小学校に忠生実業補習学校併設
1920 (大正9)	12	南第一農業補習夜学校が南第一実業補習学校、南第二農業補習夜学校が南第二実業補習学校と改称
1922 (大正11)	1	忠生村小山田の同人結社「紅潮社」が同人誌『紅潮』を創刊
1923 (大正12)	3	相原尋常小学校に高等科2年、相原実業補習学校を併設
	9	関東大震災で相原尋常小学校校舎が大破
1924 (大正13)	1	忠生実業補習学校が農業公民学校となる
1925 (大正14)	10	高ヶ坂遺跡の発掘開始
1926 (大正15)	2	高ヶ坂遺跡が国史跡に指定
	2~5	相原、南村、鶴川等各小学校併設の実業補習学校が農業公民学校と改称
	6~7	各小学校に青年訓練所を併設

昭和

年	月	項目
1927 (昭和2)		この年、町田尋常高等小学校に青年訓練所を兼ねた町田農公民学校が併設
1929 (昭和4)	4	玉川学園開校 私立町田女学校開校 原町田幼稚園創設
1930 (昭和5)	5	町田高等女学校が町田女学校に併設
1932 (昭和7)	3	町田女学校廃止
1935 (昭和10)	10	青年学校令公布により、市域の各農業公民学校、青年訓練所が青年学校となる
1939 (昭和14)	9	鶴川村に私立南多摩農村図書館が開設
1941 (昭和16)	4	市域の小学校が国民学校と改称
1942 (昭和17)	3	南村に翼賛青少年団が発会
1943 (昭和18)	1	この年、玉川学園内に興亜工業大学が開校 南村で南多摩郡教育会第三支部教育報国挺身隊が結成
1944 (昭和19)	8	この年、南国民学校で学校給食開始 市域の各村で品川区の鈴ヶ森、伊藤、立会国民学校の学童集団疎開を受け入れる この年、南村女子挺身隊結成
1945 (昭和20)	3	玉川工業専門学校開校
	5	焼夷弾を受け、学童集団疎開寮の妙延寺、万松寺焼失
	9	市域の各国民学校で始業式
	10	市域の集団疎开学童の大部分が帰京
1946 (昭和21)	5	私立桜美林学園開校
	9	南多摩青年文化連盟発会 町田図書館設置委員会設立
1947 (昭和22)	3	南多摩郡教育研究会(町田市教育研究会の前身)創立 私立町田高等女学校が町田町に移管 市域で6・3制による新制中学校が設置され、男女共学による開校式(町田第一中、南中、鶴川中、忠生中、堺中)
1948 (昭和23)	12	町田小(現町田第一小)で学校給食(みそ汁)開始
	3	町田町立町田高等女学校が東京都に移管
	4	都立町田高等学校設立
	6	南中、町田小にPTA結成
	11	市域の教育事務は南多摩教育出張所の所管に
1949 (昭和24)	5	町田第一中にPTA結成
1950 (昭和25)	5	町田町長、社会教育委員会共催で憲法記念講演会
	6	町議会の議決により町田町公民館を正式に設置
	7	堺中にPTA結成
	10	町田少年補導協会結成
	11	第2回都教育委員選挙(町田町での投票率60%) 南村が社会教育委員会を設置
1951 (昭和26)	10	町田町社会教育委員制度発足

1952 (昭和 27)	11	郷土芸能「三ツ目ばやし」文部省芸術祭郷土芸能コンクールに出演
	4	町田第二小、町田第三小開校
	5	忠生第二小が独立開校（現小山田小）
	11	市域各町村に公選制教育委員会発足
		町田町公民館条例施行
1953 (昭和 28)	8	原町田に児童館完成
1954 (昭和 29)	3	町田町役場内に図書室開設
	4	町田町と南村が合併
	10	『鶴川風土記』刊行
1955 (昭和 30)	4	町田第四小開校
	6	町田郷土研究会が「井手の沢古戦場の碑」を本町田菅原神社境内に建立
		町田第四小で完全給食開始
1956 (昭和 31)	2	鶴川村婦人会発足
	9	町田町立図書館創設
	10	市域の各町村で新教育委員会（任命制）発足
1957 (昭和 32)	4	町田第二中開校
	10	八木重吉詩碑完成
1958 (昭和 33)	2	市制施行（町田町、鶴川村、忠生村、堺村の1町3か村が合併）
		町田市教育委員会設置
	3	町田市連合青年団発足
	4	南第三小開校
		町田市婦人連絡協議会結成
	10	市青少年問題協議会条例制定
		市社会教育委員設置
		市章制定
	11	第1回小学校音楽会（市教委、小教研共催）
		町田市小学校PTA（市P協）発足
1959 (昭和 34)	4	小学校科学教育センター設置
		町田第二小に「知恵遅れ学級」開設
	8	市営プール開設
1960 (昭和 35)	1	ボーイスカウト町田第1団結成
	4	小学校3年生用社会科副読本『わたしたちの町田』創刊
	6	町田第一小玉川分校（現町田第五小）開校
	7	市体育指導委員設置
		市青少年委員設置
	12	町田市文化財保護条例制定
1961 (昭和 36)	3	町田市文化財専門委員会発足
	4	町田第一中に障がい学級設置
		私立鶴川高等学校開校
	6	市青少年対策地区委員会設置
1962 (昭和 37)	2	交通安全都市宣言
	4	忠生第三小が独立開校
		中学校科学教育センター設置
		堺中小山分教場廃止
	5	緑のおばさん通学路に立つ
1963 (昭和 38)	3	鶴川地区給食共同調理所開設
	4	町田第五小開校
		教育相談室開設
		都立町田工業高等学校開校
	5	町田市歌、町田首頭できる
	8	鶴川の遺跡発掘調査開始
	11	『忠生村誌』刊行
1964 (昭和 39)	4	鶴川第二小開校
		都立町田青年の家開所
	8	鶴川団地造成に伴う遺跡発掘調査開始（翌年4月まで）
		忠生中に学校プール第1号が完成
1965 (昭和 40)	1	児童詩集『町田の子』創刊
	4	町田第六小開校
		市立体育館落成
	8	南地区学校プールが南中に完成
1966 (昭和 41)	11	第1回市民歩こう会
	5	青少年健全育成都市宣言
		鶴川第一小新校舎落成、移転
	8	堺地区学校プールが堺中に完成
		鶴川地区学校プールが鶴川第二小に完成
		愛の鐘第1号が市役所屋上に設置
1967 (昭和 42)	11	高ヶ坂石器時代遺跡復元
	3	第1回町田市社会教育大会開催
	4	南第三小金森分校（現南第四小）開校

1968 (昭和 43)	7	町田地区学校プールが町田第一中に完成 本町田団地造成に伴う遺跡発掘調査開始 (翌年 4 月まで)
	9	鶴川第三小開校
	11	鶴川中新校舎落成、移転
	3	相原小大戸分校閉校
	4	南第四小、忠生第四小、忠生第五小、町田第三中開校 市教委配属指導主事が 2 人制 教育委員会事務局に青少年課設置
1969 (昭和 44)	5	市民憲章制定 玉川学園地区が都下 2 番目の文教地区に指定
	11	小野路町に私立小島資料館開館
	4	忠生第六小開校
1970 (昭和 45)	5	田端遺跡保存工事完成
	7	学童保育クラブが市内 2 か所に開設
1971 (昭和 46)	1	市役所新庁舎オープン
	4	緑ヶ丘小、本町田東小開校
	10	移動図書館車「そよかぜ号」運行開始
	12	町田市学校保健会設立
1972 (昭和 47)	4	南第一小つくし野分校、鶴川第四小、薬師中開校 障がい者のためのスクールバスがスタート 教育委員会事務局に施設課設置 教育委員会事務局にスポーツ課設置 都立忠生高等学校開校 本町田遺跡公園開園
	7	町田第三小ほか 5 校にプール完成 (全小・中学校に配置)
	9	移動図書館車「そよかぜ 2 号」スタート
	11	第 1 回町田市学校保健大会開催
	2	市立図書館鶴川分館オープン
	4	つくし野小が独立開校 日向山公園テニスコート、中央公園バレーボールコート開設
	5	市立図書館本館新築完成 D51 型蒸気機関車が市立図書館本館わき (現すみれ会館横) に展示公開
	6	町田市学校給食協議会発足
	10	市子ども会育成会事務連絡協議会発足 移動図書館車「そよかぜ 3 号」スタート
	12	町田第二中防音校舎完成
1973 (昭和 48)	3	市少年相談員設置
	4	本町田西小、藤の台小、鶴川第二中開校 都立町田養護学校開校 都立町田青年の家が市へ移管、青少年施設「ひなた村」としてオープン
	5	相原小温室プール開き
	6	町田第二小に肢体不自由児の訪問学級開級 南第一小、南第二小、小山小開校百周年
	7	移動スポーツ車スタート 青少年施設「ひなた村」が活動開始
	9	みんなの祭り「23 万人の個展」
1974 (昭和 49)	11	郷土資料館 (現市立博物館) 開館
	2	第 1 回子どもマラソン大会開催
	3	旧荻野家住宅が薬師池公園に移築 『町田市史』 (上巻) 刊行
	4	南大谷小開校 町田第一小開校百周年
	6	市立図書館金森分館オープン
1975 (昭和 50)	11	相原小開校百周年
	2	堺中武道館完成
	3	旧永井家住宅を薬師池公園に移築
	4	小川小、成瀬台小、南大谷中、本町田中開校 教育委員会事務局が 2 部制に 都立野津田高等学校開校 都立町田養護学校が野津田町に移転
	6	教育相談室に言語相談部門開設 図書館で「声の図書」貸し出し開始
	9	つくし野中開校
	12	『堺村誌』刊行
1976 (昭和 51)	2	町田第四小に「ことばの教室」開級
	3	『町田市史』 (下巻) 刊行
	4	忠生第七小開校 郷土資料館が「町田市立博物館」と改称
		日本大学第三高等学校開校

1977 (昭和 52)	5	自然休暇村(長野県川上村)入村式
	7	市立図書館木曾山崎分館オープン
	8	桜美林高等学校が第58回全国高等学校野球選手権大会で優勝
	10	小山小新校舎落成、移転
1978 (昭和 53)	3	鶴川中の給食が中止
	4	鶴間小、原小、木曾小開校
		町田第一中に肢体不自由学級の校舎完成
		教育相談室が教育相談所と改称
		都立町田養護学校に高等部設置
		町田市文化連盟発足
	7	自然休暇村のキャビン使用開始
	8	全国選抜リトルリーグ野球大会で町田リトルリーグ優勝
	10	市立図書館鶴川分館が移転オープン (この年で、中学校の校舎鉄筋化率、体育館保有率、小・中学校のプール保有率100%)
	1979 (昭和 54)	1
4		高ヶ坂小、金井小開校
		都立成瀬高等学校開校
		学校給食に米飯給食導入
		東京女学館短大が町田に移転
8		大地沢青少年センターが通年施設としてオープン
1980 (昭和 55)	10	町田市民ホールが落成
	12	町田市公民館新装オープン
	3	鶴川共同調理所廃止
	4	成瀬中央小、成瀬台中、山崎中開校
1981 (昭和 56)	9	少年サッカー場オープン
	4	南成瀬小、南つくし野小、大蔵小、山崎小、真光寺中開校
	11	都立小川高等学校開校
1982 (昭和 57)	11	小山田小新校舎完成(木造校舎解消)
	7	第1回町田市障がい学級、養護学校連合マラソン大会開催
	7	薬師中水泳部が都大会で優勝
1983 (昭和 58)	8	F C町田が第5回全日本少年サッカー大会で優勝
	12	第1回公民館まつり
1984 (昭和 59)	4	三輪小、南成瀬中が開校
	2	忠生中事件起きる
	4	大戸小、木曾中、武蔵岡中開校
		都立山崎高等学校開校
	8	地域教育相談所開設
	9	市立図書館堺分館開館
	4	小山田南小、金井中、小山田中開校
		木倉入谷戸遺跡から和銅開珎出土
1985 (昭和 60)		法政大学多摩キャンパス、東京家政学院大学多摩キャンパス開校
	5	小山田遺跡が特殊樹脂加工を施して公園としてオープン
	11	町田ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ誕生
	2	忠生中が『学校再建の歩み』刊行
	8	第1次町田市教育交流視察訪中団
1986 (昭和 61)	11	民権の森に「自由民権の碑」建立
	12	教育研究所が原小内にオープン
	3	関東地方最古の仏像が東雲寺で発見
	8	第2次町田市教育交流視察訪中団
1987 (昭和 62)	10	塩川文相が忠生中視察
	11	町田市立自由民権資料館オープン
	4	町田市立国際版画美術館オープン
1988 (昭和 63)	6	市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足
	5	ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン
	8	町田市中学生中国訪問団
	12	『町田市教育史』(上巻)刊行

平成

年	月	項目
1989 (平成元)	7	自然休暇村本館オープン
		教育広報『まちだの教育』創刊
		教育委員会事務局が森野分庁舎へ移転
	8	忠生第五小で余裕教室を一般開放
	9	忠生少年野球場オープン
	第1回町田薪能	

1990 (平成 2)	10 1 3 4 10 11 12	市立室内プールオープン 自然休暇村に大型望遠鏡設置 『町田市教育史』(下巻)刊行 室内プール入場者 10 万人 国際版画美術館にハイビジョンギャラリー 市立陸上競技場オープン 市立総合体育館オープン 市立中央図書館オープン 町田市市民大学構想検討委員会が答申
1991 (平成 3)	6 7 8	大地沢青少年センター本館オープン 国際版画美術館に110インチのハイビジョン 室内プール利用者が 100 万人を突破
1992 (平成 4)	11 3	町田市公民館が文部大臣表彰 本町田遺跡、西谷戸横穴墓群が東京都指定史跡に 『町田市教育史』(資料編)刊行
1993 (平成 5)	7 8 9 11 1 6 7	市立図書館全館がオンライン化 ニュージーランドへ第 1 回中学生海外派遣団 町田第一中体育館・温水プール落成 子ども議会が開会(小学 6 年生) ニュージーランドの中学生来訪 まちだ市民大学 H A T S が開校 ひなた村新装オープン
1994 (平成 6)	9 2 7 10 11	忠生中体育館・プール落成 町田第四小内にまちだ市民大学の活動拠点が完成 「町田市余裕教室活用計画案策定委員会」報告書まとまる 青少年課発足 市立小・中学校の余裕教室の活用による高齢者福祉施設設置事業において、町田市がパイロット自治体に指定
1995 (平成 7)	1 4	鶴間小が「学校給食優良学校文部大臣表彰」を受賞 大地沢青少年センターにて町田市のジュニアリーダーと韓国の青少年が国際交流
1996 (平成 8)	3 5 8	学校週 5 日制を月 2 回実施(毎月第 4 土曜日) 鶴川第二小が東京都学校給食優良学校として表彰される 町田市子どもセンター建設計画検討委員会が答申 青少年健全育成都市宣言 30 周年記念事業スタート 子ども憲章実行委員会が子どもたちの手による「子ども憲章」を発表 堺中女子バスケットボール部が全国大会優勝 成瀬台中女子バドミントン部、ダブルスで全国大会準優勝
1997 (平成 9)	11 6 10	自由民権資料館新装オープン 南中学ラグビー部が関東大会で優勝 鶴川第二小が「学校給食優良学校文部大臣表彰」を受賞
1998 (平成 10)	4	つくし野小の余裕教室を活用した高齢者福祉施設「つくし野デイサービスセンター」が開所
1999 (平成 11)	12 3 4	町田市立学校適正規模適正配置等審議会が答申 南中体育館・温水プール落成 鶴川第四小の余裕教室を活用した高齢者福祉施設「デイサービス鶴川」が開所
2000 (平成 12)	5 1 4	「町田市子どもセンター“ばあん”」がオープン 「南大谷子どもクラブ」がオープン 教育部が学校教育部に、文化部が生涯学習部に名称変更 市教委配属指導主事が 4 人制
2001 (平成 13)	7 3 4 7	金森図書館が移転新築オープン 『わたしとわたしたち一人権と民権を考えるー』刊行 忠生第四小と木曾小を統合、「木曾境川小学校」が開校 サン町田旭体育館オープン
2002 (平成 14)	8 10 1 4	日本大学第三高等学校が第 83 回全国高等学校野球選手権大会で優勝 子ども議会が開会(中学生) 新しい成人式「二十祭まちだ」を開催 鶴川中新校舎、体育館、温水プール落成 鶴川中が新校舎に移転
2003 (平成 15)	4 3 4	木曾境川小が本校舎に移転 本町田西小、緑ヶ丘小、原小を統合、「本町田小学校」が開校 教育研究所が旧忠生第四小に移転 学校週 5 日制が完全実施 小・中学校全校に「学校運営協議会」設置 市民大学 H A T S が森野分庁舎に移転 子どもセンター“ばあん”来館者 20 万人 学生教育ボランティア制度開始 まちだ中央公民館(町田センタービル 6 階～8 階)オープン 町田第一小体育館、プール、増築校舎完成 「町田市立小・中学校選択制度検討委員会」報告書答申 本町田小が本校舎に移転

2004 (平成 16)	<p>忠生第五小・忠生第六小・忠生第七小を統合、「七国山小学校」が開校 小・中学校全校に「主幹」職の教員配置される 青少年課・学務課一部業務（私立幼稚園等保護者補助金等）を子ども生活部（子ども総務課・児童青少年課）へ組織移管替え 指導課事務見直しに伴い4係（事務・指導・教職員・就学相談）が3係（管理・教職員・就学相談）制に</p> <p>7 小山ヶ丘小学校建設に着手 3 「町田市立中学校給食実施計画」履行を答申 4 七国山小が本校舎に移転（学校適正規模適正配置事業に伴う小学校3校統合終了） 「町田市立小・中学校選択制度」開始 指導課教育センター係発足（旧教育研究所と旧教育相談所組織を改組） 教育センターに指導主事（市費負担）を新たに1人配属</p>
2005 (平成 17)	<p>6 町田市教育センター改装オープン 7 町田市立文学館着工 4 「小山ヶ丘小学校」が開校 小・中学校全校で「教頭」から「副校長」に名称変更 小学1年生の「生活指導補助者」91名を31校に派遣 成瀬台小に「通級指導情緒障がい学級」を開設 小・中学校「授業力」向上プログラム～9年目までの全教職員対象 『発掘された町田の遺跡』全面改訂（前回1977年発行以来） 教育総務課の3係（総務・経理・企画調整）を新たに3係（総務・事務・学校環境整備）に再編 上の原グラウンドオープン 相原中央グラウンドオープン</p>
2006 (平成 18)	<p>9 中学校給食を弁当併用外注方式により4校（忠生中・小山田中・堺中・武蔵丘中）で開始 中学校2年生職場体験授業を実施 1 小・中学校に学校サポーター導入 3 小・中学校と教育センターを結ぶ学校ネットワークを整備 インターネットでオーストラリアの小学生と国際交流 4 体育施設及び自然休暇村の管理、運営を指定管理者へ移行 田端環状積石遺構を復元 小野路球場・グラウンドオープン 木曾山崎グラウンドオープン 相原中央テニスコートオープン</p>
2007 (平成 19)	<p>5 中学校給食4校で追加実施（南中・つくし野中・成瀬台中・南成瀬中） 10 町田市民文学館ことばらんどオープン 4 組織改正により、施設課の一部業務を営繕課へ移管 特別支援教育開始 学校支援ボランティア開始 5 中学校給食4校で追加実施（鶴川中・真光寺中・薬師中・鶴川第二中） 6 eラーニング実施 8 野津田球場オープン 10 八王子市と図書館の相互利用開始 12 図師小学校建設に着手</p>
2008 (平成 20)	<p>『武相自由民権史料集』（全6巻）刊行 3 堺中学校体育館・プール改築・増築校舎完成 4 組織改正により、スポーツ課・博物館・国際版画美術館を文化スポーツ振興部へ、ひなた村・大地沢青少年センターを子ども生活部へ移管 組織改正により、社会教育課を生涯学習課に名称変更し、一部業務を文化振興課に移管 学校環境整備係（教育総務課）を学校施設管理センター（施設課）へ所管替え 都立町田養護学校の学校名称が「都立町田の丘学園」に変更 小中一貫教育「町田っ子カリキュラム」が開始 京王沿線七市の図書館の相互利用開始</p>
2009 (平成 21)	<p>5 中学校給食3校で追加実施（町田第一中・町田第三中・南大谷中） 6 中学校給食1校で追加実施（町田第二中） さるびあ図書館を基点に学校図書館支援貸出事業スタート 8 「町田市の教育に関する市民意識調査」実施 10 「町田市学校支援実行委員会」設立 11 小山中央小学校建設に着手 2 町田市教育プランを策定 町田市民文学館来館者10万人 3 『町田市立小・中学校校歌集』発行 4 保健給食課を新設し、学務課の一部業務を移管 「図師小学校」が開校</p>
2010 (平成 22)	<p>5 中学校給食4校で追加実施（本町田中・金井中・山崎中・木曾中）し、全中学校で給食を実施 6 モデル校に学校支援地域理事を設置。その学校を「スクールボード校」としてスタート 3 第1回中学生「東京駅伝」大会において男女とも優勝 4 「小山中央小学校」が開校</p>

2011 (平成 23)	9	忠生センター、小山市民センター、南町田駅前連絡所で図書館資料の予約資料受渡しサービスを開始
	10	小山中学校建設に着工
	11	「フェスタぶらりライブラリーin まちだ」開催 (中央図書館)
	3	本町田中学校閉校
	8	日本大学第三高等学校が第 93 回全国高等学校野球選手権大会で優勝 中学校普通教室のエアコン設置
2012 (平成 24)	9	忠生第一小学校が忠生小学校に名称変更
	10	鶴川二中合唱団が「第 78 回 NHK 全国学校音楽コンクール全国大会」で優良賞、「第 64 回全日本合唱コンクール全国大会中学校部門 (混声合唱の部)」で金賞受賞
	11	「2011 年度町田市子ども教育委員会」を開催
	4	大戸小学校と武蔵岡中学校が「小中一貫ゆくのき学園」として開校 「小山中学校」が開校 生涯学習センターオープン
	7	市役所移転
2013 (平成 25)	10	鶴川駅前の複合型文化施設「町田市文化施設和光大学ポブリホール鶴川」内に、鶴川駅前図書館がオープン
	3	鶴川二中合唱団が「こども音楽コンクール中学校合唱部門」で文部科学大臣奨励賞受賞 第 4 回中学生「東京駅伝」大会において男女総合優勝
	4	組織改正により、教育センターが指導課から独立し課相当となる



町田市教育センター

1 1. 問い合わせ先一覧

※市外局番 042-

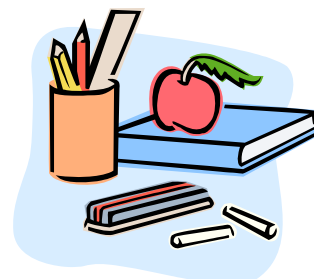
教育委員会



教育総務課	森野 2-2-22 (10階)	724-2172
施設課	森野 2-2-22 (10階)	724-2174
学務課	森野 2-2-22 (10階)	724-2176
保健給食課	森野 2-2-22 (10階)	724-2177
指導課	森野 2-2-22 (10階)	724-2154
教育センター	木曾東 3-1-3	793-2481
生涯学習総務課 (総務係)	森野 2-2-22 (10階)	724-2181
生涯学習総務課 (文化財係)	森野 2-2-22 (10階)	724-2554

文化施設

自由民権資料館	野津田町 897	734-4508
考古資料室	下小山田町 4016	797-9661
生涯学習センター	原町田 6-8-1	728-0071
中央図書館	原町田 3-2-9	728-8220
さるびあ図書館	中町 2-13-23	722-3768
鶴川図書館	鶴川 6-7-2-1-101	735-5691
鶴川駅前図書館	能ヶ谷 1-2-1 (和光大学ポブリホール鶴川2階)	737-0263
金森図書館	金森 1021	710-1717
木曾山崎図書館	山崎町 2160	793-6767
堺図書館	相原町 795-1	774-2131
町田市民文学館ことばらんど	原町田 4-16-17	739-3420
国際版画美術館	原町田 4-28-1	726-2771
博物館	本町田 3562	726-1531



12. 私立学校等一覧

区分	学校名	住所	電話
私立小学校	玉川学園小学部	玉川学園 6-1-1	739-8613
	和光鶴川小学校	真光寺町 1282-1	736-0036
私立中学校	桜美林中学校	常盤町 3758	797-2668
	玉川学園中等部	玉川学園 6-1-1	739-8593
	日本大学第三中学校	函師町 2375	793-2123
	和光中学校	真光寺町 1291	734-3402
都立高等学校	町田高等学校	中町 4-25-3	722-2201
	町田総合高等学校	木曾西 3-5-1	791-7980
	野津田高等学校	野津田町 2001	734-2311
	成瀬高等学校	成瀬 1222-1	725-1533
	小川高等学校	小川 2-1002-1	796-9301
	町田工業高等学校	忠生 1-20-2	791-1035
	山崎高等学校	山崎町 1453-1	792-2891
私立高等学校・ 私立高等専門学校	桜美林高等学校	常盤町 3758	797-2667
	玉川学園高等部	玉川学園 6-1-1	739-8533
	明泉学園鶴川高等学校	三輪町 122	044-988-1126
	日本大学第三高等学校	函師町 2375	793-2123
	和光高等学校	真光寺町 1291	734-3403
	サレジオ工業高等専門学校	小山ヶ丘 4-6-8	775-3020
大学・短期大学	桜美林大学・同短期大学部	常盤町 3758	797-2661
	国士舘大学	広袴 1-1-1	735-3111
	昭和薬科大学	東玉川学園 3-3165	721-1511
	玉川大学	玉川学園 6-1-1	739-8111
	鶴川女子短期大学	三輪町 1135	044-988-1128
	東京家政学院大学	相原町 2600	782-9811
	東京女学館大学	鶴間 1105	796-1145
	法政大学	相原町 4342	783-2091
	和光大学	金井町 2160	044-988-1431
特別支援学校等	都立町田の丘学園	野津田町 2003	737-0570
	私立日本聾話学校	野津田町 1942	735-2361

13. 町田市子ども憲章

みんな自分に素直に生き、
そしてお互いを認め合うそんな社会へ…

それは、みんながそれぞれの生き方を追うことができるということ。
そして、他の誰とも違うかけがえのないわたしが、
まわりのすべてのものとともに、生きるということ。

人間尊重社会の実現

すべての人には平等な権利がある。でも、自分勝手に行動するだけではいけない。
——相手の立場になって気持ちを理解し、お互いを認め合える社会をつくっていきます。

自主性の確立

「自分から」。それがいちばん大切なこと。人にやってもらえばかりではだめなんだ。
いつも楽しくなるよう
——自分の道は自分で切り開いていきます。

個性の尊重

人はみんな一人ひとり違う。みんなと違っててもこわくない。当たり前のことなんだ。
だから、
——それぞれが持っている自分らしさを大切にします。

命の大切さ

いのちがあるのは人間だけではない。動物にも植物にもいのちがある。だから、
——みんなで助け合って生きていきます。

学ぶ心の大切さ

経験から学ぶことは、自分の可能性を広げる。むだなことなんてない。だから、
——ものごとに前向きに取り組んでいきます。

友情の大切さ

世界中のどんな人でも、友だちはかけがえのないもの。いつも気持ちがわかり合える、
そんな仲間。だから、
——仲間を大切に続けます。

夢を追う気持ち

現実にとらわれなくともいい。わずかな可能性でも、
——自分の夢をもち続けます。

町田の教育 2013

発行 2013年(平成25年)9月
編集・発行 町田市教育委員会
学校教育部 教育総務課
町田市森野 2-2-22
電話 042・724・2172

刊行物番号

13-36

[庁内印刷]